

BladeSymphony

Virtage Navigator ユーザーズガイド
操作リファレンス編

Revision 3.75

HITACHI

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 他社ソフトウェアのインストール作業は、お客様責任で行っていただきますようお願いいたします。ただし、弊社が止むを得ないと判断する理由により、お客様から事前の書面によるインストール作業の代行依頼がある場合のみ、弊社が了承することを条件として作業を代行いたします。

登録商標と商標について

Adobe、Adobeロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

著作権について

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved, Copyright (C) 2010, 2016, Hitachi, Ltd.

BladeSymphony Virtage Navigator

本資料は、BladeSymphony Virtage Navigator V03-07/A に対応している操作リファレンス編です。

なお、本資料での「」は参照を表しています。

目次

1	ログイン.....	2
2	Main ウィンドウメニューバー	3
3	Profile	12
4	LPAR 設定.....	15
5	モニタリング.....	54
6	構成ビューア.....	139
7	LPAR マイグレーション	149
8	ファームウェア更新.....	176
9	Remote LPAR Control.....	184
10	ソリューション.....	189
11	メッセージ一覧.....	194
11.1	共通メッセージ	195
11.2	LPAR 設定用メッセージ	202
11.3	モニタリング用メッセージ.....	222
11.4	ファームウェア更新用メッセージ.....	223
11.5	ソリューション用メッセージ.....	224
11.6	LPAR マイグレーション用メッセージ	230
11.7	Remote LPAR Control 用メッセージ	254
12	変更来歴.....	257



注意

V03-07 の Virtage Navigator をご使用の場合は、BS520X サーバブレード B2 モデルの 4 ブレード SMP 構成と、BS2500 高性能サーバブレード A2/E2 モデルの 4 ブレード SMP 構成では、いずれの機能も非サポートです。V03-07/A 以降の Virtage Navigator では、サポートしています。

1 ログイン

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Login ウィンドウ		○	V01-00
2	User ID テキストボックス	ユーザ ID を入力	○	V01-00
3	Password テキストボックス	パスワードを入力	○	V01-00
4	Login ボタン	本ウィンドウを閉じ、Main ウィンドウを開く	○	V01-00

2 Main ウィンドウメニューバー

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ(メニューバー)		○	V01-00
2	File(F) メニュー	Exit(X) Alt+X メニューを開く	○	V01-00
3	Exit(X) Alt+X メニュー	Virtage Navigator を終了	○	V01-00
4	Setting(S) メニュー	Option(O) Alt+O メニューを開く	○	V01-00
5	Option(O) Alt+O メニュー	Option ウィンドウを開く	○	V01-00
6	Security Alt+S メニュー	Security Setting ウィンドウを開く	○	V03-06
7	Operation Mode	操作モードを設定	○	V03-02
8	Normal Alt+N メニュー	通常操作モードに設定する	○	V03-02
9	Reference Alt+R メニュー	参照モードに設定する	○	V03-02
10	Help(H) メニュー	About(A) Alt+A メニューを開く	○	V01-00
11	Get Technical Information(T) Alt+T メニュー	Virtage Navigator の技術情報を採取する	○	V02-00
12	Trouble メニュー	Trouble (Single)ウィンドウ、Trouble (Multi)ウィンドウ、またはTrouble (Packet)ウィンドウの選択	○	V03-06
13	Single(D) Alt+D メニュー	Trouble ウィンドウ (Single)を開く	○	V03-04
14	Multi(M) Alt+M メニュー	Trouble ウィンドウ (Multi)を開く	○	V03-04
15	Packet(L) Alt+L メニュー	Trouble ウィンドウ (Packet)を開く	○	V03-06
16	About(A) Alt+A メニュー	Version Information ウィンドウを開く	○	V01-00

17	Option ウィンドウ		○	V01-00
18	HVM メニュー		○	V01-00
19	HVM Connection メニュー		○	V01-00
20	TimeOut Limit テキストボックス	HVM 接続時のタイムアウト時間を設定(単位:秒) デフォルト設定は 15 秒	○	V01-00
21	Communication IP Address コンボボックス	HVM 接続 IP アドレスの指定 デフォルト設定は “Not set” (指定しない)	○	V01-00
22	SVP メニュー		○	V02-00
23	SVP Connection メニュー		○	V02-00
24	TimeOut Limit テキストボックス	SVP 接続時のタイムアウト時間を設定(単位:秒) デフォルト設定は 15 秒	○	V02-00
25	Migration Service メニュー		○	V01-00
26	Migration Service Status メニュー		○	V01-00
27	Status	Migration Service の状態を表示	○	V01-00
28	Error Message テキストボックス	【Status が Error の場合】 メッセージを表示	○	V01-00
29	Stop ボタン	Migration Service を停止	×	V01-00
30	Restart ボタン	Migration Service を再開	×	V01-00
31	Migration Service Configuration メニュー		○	V01-00
32	Migration Service Port テキストボックス	Migration Service のポートを設定 デフォルト設定は 23400	○	V01-00

33	Migration Option メニュー		○	V01-00
34	OS Shutdown Setting メニュー		○	V01-00
35	TimeOut Limit テキストボックス	リモートシャットダウンのタイムアウト時間を設定(単位:分) デフォルト設定は 5 分	○	V01-00
36	Storage Login Setting メニュー		○	V03-01
37	TimeOut Limit テキストボックス	Storage ログインのタイムアウト時間を設定 (単位: 秒) デフォルト設定は 60 秒	○	V03-01
38	Login Delay Time テキストボックス	FC ログイン後の待機時間を設定 (単位: 秒) デフォルト設定は 3 秒	○	V03-02
39	Logout Delay Time テキストボックス	FC ログアウト後の待機時間を設定 (単位: 秒) デフォルト設定は 3 秒	○	V03-02
40	Retry Count テキストボックス	SCSI コマンドをリトライする数 (単位: 回) デフォルト設定は 0 回	○	V03-02
41	Retry Interval テキストボックス	SCSI コマンドをリトライする際の間隔 (単位: 秒) デフォルト設定は 10 秒	○	V03-02
42	Memory Transfer メニュー		○	V03-02
43	TimeOut Limit テキストボックス	メモリ転送タイムアウト時間を設定 (単位: 秒) デフォルト設定は 900 秒	○	V03-02
44	VRAM Transfer チェックボックス	VRAM データを転送する/しないの設定 デフォルト設定チェックあり	○	V03-02
45	Storage Navigator Modular Setting メニュー		○	V03-01
46	TimeOut Limit テキストボックス	Hitachi Storage Navigator Modular 2 CLI との接続タイムアウト時間を設定 (単位: 秒) デフォルト設定は 30 秒	○	V03-01
47	Path テキストボックス	Hitachi Storage Navigator Modular 2 CLI の格納場所を指定	○	V03-01
48	Open ボタン	サブウィンドウ(フォルダーの参照ウィンドウ)を開く	○	V03-01
49	フォルダの参照ウィンドウ		○	V03-01
50	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-01

51	Performance メニュー		○	V01-00
52	Processor Resources メニュー		○	V01-00
53	Auto ラジオボタン	Virtage Navigator が使用するプロセッサを動的に変更する Virtage Navigator ラジオボタンを有効にする Other Application ラジオボタンを有効にする	○	V01-00
54	Virtage Navigator (Default) ラジオボタン	Virtage Navigator の動作を優先する (デフォルト)	○	V01-00
55	Other Application ラジオボタン	Virtage Navigator 以外のアプリケーションやサービスの動作を優先する	○	V01-00
56	Specify the processor count ラジオボタン	Virtage Navigator が使用するプロセッサをプロセッサの個数で指定 コンボボックスを有効にする	○	V01-00
57	コンボボックス	使用するプロセッサの個数を指定 デフォルト設定は 1	○	V01-00
58	Specify the processor number ラジオボタン	Virtage Navigator が使用するプロセッサをプロセッサ番号で指定 リストボックスを有効にする	○	V01-00
59	リストボックス	使用するプロセッサ番号を指定	○	V01-00

60	Other メニュー		○	V01-00
61	SSH Component Setting メニュー		○	V01-00
62	Path テキストボックス	plink.exe の格納場所を指定 デフォルト設定は¥VirNavi¥bin	○	V01-00
63	Open ボタン	サブウインドウ(ファイルを開くウインドウ)を開く	○	V01-00
64	ファイルを開くウインドウ		○	V01-00
65	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00
66	Terminal Application Setting メニュー		○	V02-00
67	Path テキストボックス	ttermpro.exe の格納場所を指定	○	V02-00
68	Open ボタン	サブウインドウ(ファイルを開くウインドウ)を開く	○	V02-00
69	ファイルを開くウインドウ		○	V02-00
70	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-00
71	R-KVM Application (ReClient) メニュー		○	V02-00
72	Path テキストボックス	リモートコンソールアプリケーションのインストールパスを表示する	○	V02-00
73	Version テキストボックス	リモートコンソールアプリケーションのバージョンを表示する	○	V02-00
74	Authentication Information File Setting メニュー		○	V03-06
75	Path テキストボックス	認証情報ファイルの格納場所を表示する	○	V03-06
76	Open ボタン	サブウインドウ(ファイルを開くウインドウ)を開く	○	V03-06
77	ファイルを開くウインドウ		○	V03-06
78	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-06
79	Apply ボタン	設定を保存	×	V01-00
80	OK ボタン	設定を保存して、本ウインドウを閉じる	×	V01-00
81	Cancel ボタン	設定を保存せず、本ウインドウを閉じる	○	V01-00

82	Security Setting ウィンドウ		○	V03-06
83	Virtage Navigator Security Settings メニュー		○	V03-06
84	HVM IP Address 列	接続対象の HVM の IP アドレスを表示します。	○	V03-06
85	Protocol 列	接続対象の HVM との通信で使用するプロトコルを指定します。	○	V03-06
86	Verification 列	接続対象の HVM との通信で TLS プロトコルを使用する場合に、証明書を検証するかどうかを指定します。	○	V03-06
87	Login User Name 列	接続対象の HVM にログインする際に使用するユーザアカウントを指定します。	○	V03-06
88	Login Password 列	接続対象の HVM にログインする際に使用するユーザアカウント用のパスワードを指定します。	○	V03-06
89	Connection Test 列	接続対象の HVM との通信テストを実施します。また、通信テストの状況が示されます。	○	V03-06
90	HVM Security Settings メニュー		○	V03-06
91	I/F Name 列	HVM の通信対象を表示します。	○	V03-06
92	Level 列	通信のセキュリティ強度を表示します。	○	V03-06
93	Verification 列	サーバ証明書の検証の無効/有効を示します。	○	V03-06
94	Authentication 列	ユーザ認証の無効/有効を示します。	○	V03-06
95	Save ボタン	設定を保存します。	○	V03-06
96	Close ボタン	本ウィンドウを閉じます。	○	V03-06

97	Trouble (Single) ウィンドウ		○	V02-04/A
98	Setting フレーム		○	V02-04/A
99	GetHVMPerfMon チェックボックス	【チェックあり】HVM 統計情報採取を行う 【チェックなし】HVM 統計情報採取を行わない	○	V02-04/A
100	Different file each date. ラジオボタン	日付ごとにファイルに出力（デフォルト）	○	V03-04
101	All data to One File. ラジオボタン	全データを1つのファイルに出力	○	V03-04
102	GetHVMDump チェックボックス	【チェックあり】HVM ダンプ採取を行う 【チェックなし】HVM ダンプ採取を行わない	○	V02-04/A
103	HVM IP Address コンボボックス	対象 HVM の IP Address を選択する	○	V02-04/A
104	Count テキストボックス	実行回数を設定する	○	V02-04/A
105	Interval テキストボックス	実行間隔を設定する	○	V02-04/A
106	Folder Path テキストボックス	出力先フォルダパスを表示する	○	V02-04/A
107	Select ボタン	出力先フォルダパスを選択する	○	V02-04/A
108	Selected Drive Size テキストボックス	出力先のディスクサイズを表示する	○	V02-04/A
109	Selected Drive Free Size テキストボックス	出力先の空きディスクサイズを表示する	○	V02-04/A
110	Limit Data Size テキストボックス	実行結果の限界サイズを設定する	○	V02-04/A
111	Start ボタン	HVM 統計情報、HVM ダンプ採取を開始する	○	V02-04/A
112	Stop ボタン	HVM 統計情報、HVM ダンプ採取を停止する	○	V02-04/A
113	Status メニュー		○	V02-04/A
114	Start Time	HVM 統計情報、HVM ダンプ採取を開始した時間を表示する	○	V02-04/A
115	Status	ステータスを表示する Run: 実行中 Stop: 停止中 Error: 採取失敗	○	V02-04/A
116	Time	経過時間を表示する	○	V02-04/A
117	Count	実行回数を表示する	○	V02-04/A
118	Data Size	採取サイズを表示する	○	V02-04/A
119	Max Time	一回あたりの最大時間を表示する	○	V02-04/A

120	Trouble (Multi) ウィンドウ		○	V03-04
121	GetHVMPerfMon チェックボックス	【チェックあり】HVM 統計情報採取を行う 【チェックなし】HVM 統計情報採取を行わない	○	V03-04
122	Different file each date. ラジオボタン	日付ごとにファイルに出力（デフォルト）	○	V03-04
123	All data to One File. ラジオボタン	全データを1つのファイルに出力	○	V03-04
124	GetHVMDump チェックボックス	【チェックあり】HVM ダンプ採取を行う 【チェックなし】HVM ダンプ採取を行わない	○	V03-04
125	Folder Path テキストボックス	出力先フォルダパスを表示する	○	V03-04
126	Select ボタン	出力先フォルダパスを選択する	○	V03-04
127	Limit Data Size テキストボックス	実行結果の限界サイズを設定する	○	V03-04
128	Selected Drive Size テキストボックス	出力先のディスクサイズを表示する	○	V03-04
129	Selected Drive Free Size テキストボックス	出力先の空きディスクサイズを表示する	○	V03-04
130	HVM List フレーム		○	V03-04
131	チェックボックス	PerfMon Setting グループボックス、Dump Setting グループボックス、Action グループ ボックスの操作の対象 HVM を選択する 【チェックあり】操作対象 HVM 【チェックなし】操作対象外 HVM	○	V03-04
132	HVM ID	対象 HVM の HVM ID を表示する	○	V03-04
133	HVM IP	対象 HVM の HVM IP アドレスを表示する	○	V03-04
134	PerfMon Status	HVM 統計情報採取の状態を表示する	○	V03-04
135	Dump Status	HVM ダンプ採取の状態を表示する	○	V03-04
136	PerfMon Count	HVM 統計情報を採取する回数を設定する	○	V03-04
137	PerfMon Interval (s)	HVM 統計情報を採取する間隔を設定する	○	V03-04
138	Dump Count	HVM ダンプを採取する回数を設定する	○	V03-04
139	Dump Interval (s)	HVM ダンプを採取する間隔を設定する	○	V03-04
140	Start	HVM 統計情報と HVM ダンプ、またはそのどちらかの採取を始める	○	V03-04
141	Stop	HVM 統計情報と HVM ダンプ、またはそのどちらかの採取を止める	○	V03-04
142	PerfMon Setting フレーム		○	V03-04
143	Set Count ボタン	HVM 統計情報を採取する回数を設定する	○	V03-04
144	Set Interval ボタン	HVM 統計情報を採取する間隔を設定する	○	V03-04
145	Dump Setting フレーム		○	V03-04
146	Set Count ボタン	HVM ダンプを採取する回数を設定する	○	V03-04
147	Set Interval ボタン	HVM ダンプを採取する間隔を設定する	○	V03-04
148	Trouble Action フレーム		○	V03-04
149	Start ボタン	HVM 統計情報と HVM ダンプ、またはそのどちらかの採取を始める	○	V03-04
150	Stop ボタン	HVM 統計情報と HVM ダンプ、またはそのどちらかの採取を止める	○	V03-04

151	Trouble (Packet) ウィンドウ		○	V03-06
152	Setting フレーム		○	V03-06
153	HVM IP Address:	パケットキャプチャの対象 HVM の IP アドレスを選択する	○	V03-06
154	NIC:	パケットキャプチャの対象ネットワークセグメントを選択する	○	V03-06
155	LPAR:	パケットキャプチャの対象 LPAR 番号を選択する	○	V03-06
156	VNIC#:	パケットキャプチャの対象 VNIC System No. を選択する	○	V03-06
157	Folder Path: テキストボックス	パケットキャプチャしたデータの格納フォルダを表示する	○	V03-06
158	Select ボタン	パケットキャプチャしたデータの格納フォルダを選択する	○	V03-06
159	Filtering Setting フレーム		○	V03-06
160	データグリッドビュー		○	V03-06
161	Filtering Factor 列	フィルタリング要素を選択する	○	V03-06
162	Target 列	送信元データと送信先データのどちらのパケットをキャプチャするのかを指定する	○	V03-06
163	Value 列	フィルタリング要素の値を入力する	○	V03-06
164	Operation 列	論理演算子を選択する	○	V03-06
165	Create ボタン	フィルタリング条件を作成する	○	V03-06
166	Clear ボタン	作成済、作成中のすべてのフィルタリング条件を削除する	○	V03-06
167	テキストボックス	作成済のフィルタリング条件を表示する	○	V03-06
168	Start ボタン	パケットキャプチャを開始する	○	V03-06
169	Stop ボタン	パケットキャプチャを停止する	○	V03-06
170	Status メニュー		○	V03-06
171	Status	ステータスを表示する Run: 実行中 Stop: 停止中 Error: 採取失敗	○	V03-06
172	Time	パケットキャプチャを開始してからの経過時間を表示する	○	V03-06
173	Start Time	パケットキャプチャを開始した時間を表示する	○	V03-06
174	Stop Time	パケットキャプチャを終了した時間を表示する	○	V03-06
175	Data Size (MB)	採取サイズを表示する	○	V03-06
176	Version Information ウィンドウ		○	V01-00
177	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

3 Profile

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (Profile タブ)		○	V01-00
2	Menu フレーム		○	V01-00
3	Add ボタン	Configuration Registration ウィンドウを開く	×	V01-00
4	Delete ボタン	サブウィンドウ (Delete HVM ウィンドウ) を開く	×	V01-00
5	Delete HVM ウィンドウ (Main ウィンドウの Delete ボタンクリック時に開くウィンドウ)		×	V01-00
6	OK ボタン	サブウィンドウ (Delete HVM ウィンドウ) を開く	×	V01-00
7	キャンセルボタン	選択した機器の削除を取り止める	×	V01-00
8	Delete HVM ウィンドウ (Delete HVM ウィンドウの OK ボタンクリック時に開くウィンドウ)		×	V01-00
9	OK ボタン	選択した機器を削除	×	V01-00
10	キャンセルボタン	選択した機器の削除を取り止める	×	V01-00
11	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 登録した HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	○	V01-00
12	System Configuration フレーム		○	V01-00
13	ツリービュー	(1) 詳細情報を表示する項目 (Chassis、HVM) を 選択 (選択した項目の詳細情報はリストに表示) (2) 削除対象の HVM を選択	○	V01-00
14	リスト	ツリービューで選択した項目の詳細情報を表示	○	V01-00

15	Configuration Registration ウィンドウ		×	V03-06
16	Machinery Choice フレーム		×	V01-00
17	Machinery コンボボックス	探索する機器の種類を選択 (現在サポートしているのは、HVM のみ)	×	V01-00
18	Target Information フレーム		×	V03-06
19	IP Address フレーム		×	V03-06
20	Range of Targets チェック ボックス	【チェックあり】 IP アドレスを範囲指定できる 【チェックなし】 IP アドレスは1つのみにする	×	V03-06
21	From テキストボックス	探索範囲の始まりの IP アドレスを指定	×	V01-00
22	To テキストボックス	探索範囲の終わりの IP アドレスを指定	×	V01-00
23	Protocol フレーム		×	V03-06
24	TLS チェックボックス	TLS プロトコルを使用して HVM を探索	×	V03-06
25	TCP チェックボックス	TCP プロトコルを使用して HVM を探索	×	V03-06
26	UDP チェックボックス	UDP プロトコルを使用して HVM を探索	×	V03-06
27	Verification チェックボッ クス	対象 HVM を探索する際に、証明書の検証を実施す るかどうかを指定	×	V03-06
28	Login フレーム		×	V03-06
29	User Authentication チェ ックボックス	対象 HVM を探索する際に、ユーザ認証を実施する かどうかを指定	×	V03-06
30	User Name: テキストボック ス	ユーザ認証の際に、使用するユーザ名を指定	×	V03-06
31	Password: テキストボック ス	ユーザ認証の際に使用するユーザ名用のパスワ ードを指定	×	V03-06
32	TimeOut Limit: テキストボックス	HVM に発行する1つのコマンドに対して設定する タイムアウト時間を入力(単位: 秒) デフォルト設定は 10 秒	×	V03-06
33	Search ボタン	機器を探索 検知した機器は、Machinery List リストに表示 【範囲指定した IP アドレスを探索している最 中】 サブウィンドウ (Searching the IP address ウィ ンドウ) を開く	×	V01-00
34	Searching the IP address ウィンドウ		×	V01-00
35	Cancel ボタン	機器探索を中止	×	V01-00
36	Machinery List リスト		×	V01-00
37	チェックボックス	登録する機器を選択 デフォルトでは、チェックあり	×	V01-00
38	Add ボタン	Machinery List で選択した機器を登録 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開 く	×	V01-00
39	Confirmation ウィンドウ		×	V01-00
40	OK ボタン	選択した機器を登録 サブウィンドウ (Registering the HVM ウィンド ウ) を開く	×	V01-00
41	キャンセルボタン	選択した機器の登録を取り止める	×	V01-00
42	Registering the HVM ウィンドウ		×	V01-00

43		Cancel ボタン	選択した機器の登録を中止	×	V01-00
44		Close ボタン	【Machinery List に HVM がある場合】 サブウインドウ (Confirmation ウインドウ) を開く 【Machinery List に HVM がない場合】 機器登録を終了する	×	V01-00
45		Confirmation ウインドウ		×	V01-00
46		OK ボタン	機器登録を終了する	×	V01-00
47		キャンセルボタン	本ウインドウを閉じる (機器登録を継続する)	×	V01-00

4 LPAR 設定

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (LPAR Configuration タブ)		○	V02-00
2	System List フレーム		○	V02-00
3	コンボボックス	LPAR 設定対象のシステム構成を選択する 選択したシステムの構成を HVM Select フレーム内のツリービューに表示する	○	V02-00
4	Edit ボタン	System Edit ウィンドウを開く	×	V02-00
5	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 登録した HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	○	V02-00
6	HVM Select フレーム		○	V02-00
7	ツリービュー	LPAR 設定対象の項目 (Chassis、HVM) を選択する	○	V02-00
8	Initial Setup ボタン	Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
9	Make LPAR ボタン	Make LPAR ウィンドウを開く	×	V02-00
10	HVM Console ボタン	HVM Console ウィンドウを開く	○	V02-00
11	Related Console ボタン	Related Console ウィンドウを開く	○	V02-00
12	Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
13	Start Initial Setup 操作メニュー		×	V02-00
14	Next ボタン	Select Chassis 操作フレームに進む	×	V02-00
15	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
16	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
17	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
18	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

19	Select Chassis 操作メニュー		×	V02-00
20	Chassis Select メニュー		×	V02-00
21	Input SVP Information ラジオボタン	SVP Information を指定可能にする	×	V02-00
22	Select SVP by Chassis ID ラジオボタン	既登録の Chassis 情報を SVP Information に 表示する (SVP 情報は指定不可になる)	×	V02-00
23	コンボボックス	既登録の Chassis 情報を選択する (Select SVP by Chassis ID ラジオボタンが 選択されている場合に活性化する)	×	V02-00
24	Delete ボタン	既登録の Chassis 情報を削除する (Select SVP by Chassis ID ラジオボタンが 選択されている場合に活性化する)	×	V02-00
25	SVP Information メニュー		×	V02-00
26	IP Address テキストボックス	Chassis の IP Address を指定する	×	V02-00
27	User ID テキストボックス	Chassis の User ID を指定する	×	V02-00
28	Password テキストボックス	Chassis の Password を指定する	×	V02-00
29	Back ボタン	Start Initial Setup 操作フレームに戻る	×	V02-00
30	Next ボタン	Chassis Detection ウィンドウを開く	×	V02-00
31	Select Chassis ウィンドウ		×	V02-00
32	OK ボタン	Chassis Detection ウィンドウを開く	×	V02-00
33	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
34	Chassis Detection ウィンドウ		×	V02-00
35	OK ボタン	Select Partition 操作フレームに進む	×	V02-00
36	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
37	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
38	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
39	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

40	Select Partition 操作メニュー		×	V02-00
41	Partition 一覧	Partition を選択する	×	V02-00
42	Information メニュー		×	V02-00
43	Partition Number	選択された Partition Number を表示する	×	V02-00
44	Power Status	選択された Partition の電源状態を表示する	×	V02-00
45	Mode	選択された Partition の OS Mode を表示する	×	V02-00
46	HVM メニュー		×	V02-00
47	HVM ID	HVM ID を表示する	×	V02-00
48	IP Address	HVM の IP Address を表示する	×	V02-00
49	Firmware Version メニュー		×	V02-00
50	SVP	SVP の Firmware Version を表示する	×	V02-00
51	HVM	HVM の Firmware Version を表示する	×	V02-00
52	BMC	BMC の Firmware Version を表示する	×	V02-00
53	BIOS/EFI	BIOS/EFI の Firmware Version を表示する	×	V02-00
54	Refresh ボタン	選択可能な Partition 一覧を更新する	×	V02-00
55	Back ボタン	Select Chassis 操作フレームに戻る	×	V02-00
56	Next ボタン	Select Partition ウィンドウを開く	×	V02-00
57	Select Partition ウィンドウ		×	V02-00
58	OK ボタン	HVM Setting 操作フレームに進む	×	V02-00
59	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
60	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
61	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
62	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
63	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

64	HVM Setting 操作メニュー		×	V02-00
65	Management LAN Settings メニュー		×	V02-00
66	HVM IP Address テキストボックス	HVM の IP Address を指定する	×	V02-00
67	Subnet Mask テキストボックス	Subnet Mask を指定する	×	V02-00
68	Default Gateway テキストボックス	Default Gateway を指定する	×	V02-00
69	VNIC System No メニュー		×	V02-00
70	VNIC System No. テキストボックス	VNIC System No. を指定する	×	V02-00
71	アイコン	Note for VNIC System No ウィンドウを開く	×	V02-00
72	Note for VNIC System No ウィンドウ		×	V02-00
73	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
74	HVM ID メニュー		×	V02-00
75	HVM ID テキストボックス	HVM ID を指定する	×	V02-00
76	アイコン	Note for HVM ID ウィンドウを開く	×	V02-00
77	Note for HVM ID ウィンドウ		×	V02-00
78	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
79	CLI IP Address メニュー		×	V02-01
80	CLIx IP Address テキストボックス	CLI1~HVM CLI8 の IP Address を指定する	×	V02-01
81	Back ボタン	Select Partition 操作フレームに戻る	×	V02-00
82	Next ボタン	HVM Setting ウィンドウを開く	×	V02-00
83	HVM Setting ウィンドウ		×	V02-00
84	OK ボタン	Settings & Power ON 操作フレームに進む	×	V02-00
85	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
86	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
87	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
88	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
89	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

90	Settings & Power ON 操作メニュー		×	V02-00
91	Chassis メニュー		×	V02-00
92	IP Address	Chassis の IP Address を表示する	×	V02-00
93	Partition メニュー		×	V02-00
94	Partition #	Partition Number を表示する	×	V02-00
95	OS Mode	Partition の OS Mode を表示する	×	V02-00
96	HVM メニュー		×	V02-00
97	IP Address	HVM の IP Address を表示する	×	V02-00
98	Subnet Mask	Subnet Mask を表示する	×	V02-00
99	Default Gateway	Default Gateway を表示する	×	V02-00
100	VNIC System No	VNIC System No. を表示する	×	V02-00
101	HVM ID	HVM ID を表示する	×	V02-00
102	Back ボタン	HVM Setting 操作フレームに戻る	×	V02-00
103	Next ボタン	Wait for HVM Ready 操作フレームに進む	×	V02-00
104	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
105	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
106	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
107	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
108	Wait for HVM Ready 操作メニュー		×	V02-00
109	Chassis メニュー		×	V02-00
110	IP Address	Chassis の IP Address を表示する	×	V02-00
111	Partition メニュー		×	V02-00
112	Partition #	Partition Number を表示する	×	V02-00
113	HVM メニュー		×	V02-00
114	HVM ID	HVM ID を表示する	×	V02-00
115	IP Address	HVM の IP Address を表示する	×	V02-00
116	アイコン	Help ウィンドウを開く	×	V02-00
117	Help ウィンドウ		×	V02-00
118	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
119	System Console(web) ボタン	System Console(web)に接続するための入力ウィンドウを開く	×	V02-00
120	System Console(Telnet) ボタン	Wait for HVM Ready ウィンドウを開く	×	V02-00
121	Wait for HVM Ready ウィンドウ		×	V02-00
122	OK ボタン	本ウィンドウを閉じ、System Console(Telnet)に接続するための入力ウィンドウを開く	×	V02-00
123	R-KVM Console ボタン	Wait for HVM Ready ウィンドウを開く	×	V02-00
124	Wait for HVM Ready ウィンドウ		×	V02-00
125	OK ボタン	本ウィンドウを閉じ、R-KVM Console に接続するための入力ウィンドウを開く	×	V02-00
126	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
127	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
128	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
129	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

130		Register to Profile 操作メニュー		×	V02-00
131		Chassis メニュー		×	V02-00
132		IP Address	Chassis の IP Address を表示する	×	V02-00
133		Partition メニュー		×	V02-00
134		Partition #	Partition Number を表示する	×	V02-00
135		HVM メニュー		×	V02-00
136		HVM ID	HVM ID を表示する	×	V02-00
137		IP Address	HVM の IP Address を表示する	×	V02-00
138		Next ボタン	Make LPAR 操作フレームに進む	×	V02-00
139		Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
140		Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
141		OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
142		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

143	Make LPAR 操作メニュー		×	V02-00
144	LPAR count	Make LPAR ウィンドウの「LPAR count」の説明をご参照ください	×	V02-00
145	How to make LPARs	Make LPAR ウィンドウの「How to make LPARs」の説明をご参照ください	×	V02-00
146	Processor count	Make LPAR ウィンドウの「Processor count」の説明をご参照ください	×	V02-00
147	Memory size [GB]	Make LPAR ウィンドウの「Memory size [GB]」の説明をご参照ください	×	V02-00
148	NIC card count	Make LPAR ウィンドウの「NIC card count」の説明をご参照ください	×	V02-00
149	HBA card count	Make LPAR ウィンドウの「HBA card count」の説明をご参照ください	×	V02-00
150	Confirm	Make LPAR ウィンドウの「Confirm」の説明をご参照ください	×	V02-00
151	System Parameter メニュー	Make LPAR ウィンドウの「System Parameter フレーム」の説明をご参照ください	×	V02-00
152	LPAR Condition メニュー	Make LPAR ウィンドウの「LPAR Condition フレーム」の説明をご参照ください	×	V02-00
153	Processor Condition メニュー	Make LPAR ウィンドウの「Processor Condition フレーム」の説明をご参照ください	×	V02-00
154	Memory Condition メニュー	Make LPAR ウィンドウの「Memory Condition フレーム」の説明をご参照ください	×	V02-00
155	NIC Condition メニュー	Make LPAR ウィンドウの「NIC Condition フレーム」の説明をご参照ください	×	V02-00
156	HBA Condition メニュー	Make LPAR ウィンドウの「HBA Condition フレーム」の説明をご参照ください	×	V02-00
157	Update ボタン	HVM 構成情報を更新する	×	V02-00
158	Next ボタン	LPAR Operation 操作フレームに進む	×	V02-00
159	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
160	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
161	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
162	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

163	LPAR Operation 操作メニュー		×	V02-00
164	LPAR 一覧	LPAR を選択する	×	V02-00
165	Activate ボタン	Activate ウィンドウを開く	×	V02-00
166	Activate ウィンドウ		×	V02-00
167	OK ボタン	LPAR を Activate し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
168	Deactivate ボタン	Deactivate ウィンドウを開く	×	V02-00
169	Deactivate ウィンドウ		×	V02-00
170	OK ボタン	LPAR を Deactivate し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
171	R-KVM Console ボタン	USB Attach/Detach ウィンドウを開く	×	V02-00
172	USB Attach/Detach ウィンドウ		×	V02-00
173	OK ボタン	USB を Attach/Detach し、本ウィンドウを閉じ、R-KVM に接続するための入力ウィンドウを開く	×	V02-00
174	Cancel ボタン	USB を Attach/Detach せず、本ウィンドウを閉じ、USB Attach/Detach ウィンドウを開く	×	V02-00
175	USB Attach/Detach ウィンドウ		×	V02-00
176	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
177	Information メニュー		×	V02-00
178	LPAR #	LPAR Number を表示する	×	V02-00
179	Power Status	LPAR の Power Status を表示する	×	V02-00
180	Memory Size	LPAR の Memory Size を表示する	×	V02-00
181	Processor	LPAR の Processor Mode と Processor 数を表示する	×	V02-00
182	USB メニュー		×	V02-00
183	USB 一覧	LPAR が使用している USB の一覧を表示する	×	V02-00
184	HBA メニュー		×	V02-00
185	HBA 一覧	LPAR が使用している HBA の一覧を表示する	×	V02-00
186	NIC メニュー		×	V02-00
187	NIC 一覧	LPAR が使用している NIC の一覧を表示する	×	V02-00
188	Update ボタン	HVM 構成情報を更新する	×	V02-00
189	Save ボタン	Save HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
190	Save HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
191	OK ボタン	HVM 構成情報を保存し、本ウィンドウを閉じ、Save HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
192	Save HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
193	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
194	Cancel ボタン	HVM 構成情報を保存せず、本ウィンドウを閉じ、Save HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
195	Save HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
196	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
197	Back ボタン	Make LPAR 操作フレームに戻る	×	V02-00
198	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
199	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
200	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
201	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

202	Make LPAR ウィンドウ		×	V02-00
203	コンボボックス	表示するウィンドウ (Make LPAR ウィンドウ/ HVM Console ウィンドウ/Related Console ウィンドウ) を選択する	×	V02-00
204	HVM Information フレーム		×	V02-00
205	HVM ID	HVM ID を表示する	×	V02-00
206	HVM IP	HVM の IP Address を表示する	×	V02-00
207	Update (U) ボタン	HVM 構成情報を更新する	×	V02-00
208	Make LPAR フレーム		×	V02-00
209	LPAR count		×	V02-00
210	コンボボックス	作成する LPAR 数を指定する	×	V02-00
211	How to make LPARs		×	V02-00
212	Use default parameter ラジオボタン	以下項目に規定値を表示する (以下項目が指定不可になる) ・ プロセッサ数:2 ・ メモリ容量:1GB ・ NIC カードの枚数:1 枚 ・ HBA カードの枚数:1 枚	×	V02-00
213	Use custom parameter ラジオボタン	プロセッサ数、メモリ容量、NIC カードの枚数、HBA カードの枚数を指定可能にする	×	V02-00
214	Processor count		×	V02-00
215	コンボボックス	プロセッサ数を指定する	×	V02-00
216	Memory size [GB]		×	V02-00
217	コンボボックス	メモリ容量を指定する	×	V02-00
218	NIC card count		×	V02-00
219	コンボボックス	NIC カードの枚数を指定する	×	V02-00
220	HBA count		×	V02-01
221	Port ラジオボタン	HBA ポート数を指定する	×	V02-01
222	Card ラジオボタン	HBA カード数を指定する	×	V02-01
223	コンボボックス	HBA カードの枚数を指定する	×	V02-00
224	Confirm		×	V02-00
225	LPAR 設定一覧	指定した LPAR 数、プロセッサ数、メモリ容量、NIC カードの枚数 HBA カードの枚数を表示する	×	V02-00
226	Create LPARs		×	V02-00
227	Create ボタン	LPAR を作成する	×	V02-00
228	Save HVM Configuration		×	V02-00
229	Save ボタン	Save Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
230	Save Configuration ウィンドウ		×	V02-00
231	OK ボタン	HVM 構成情報を保存し、本ウィンドウを閉じ Save Configuration Finish ウィンドウを開く	×	V02-00
232	Save Configuration Finish ウィンドウ		×	V02-00
233	OK ボタン	HVM 構成情報の保存を中断し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
234	Cancel ボタン	HVM 構成情報を保存せず、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

235			System Parameter メニュー	×	V02-00
236			LPAR メニュー	×	V02-00
237		Defined	LPAR 定義数を表示する	×	V02-00
238		Remain	LPAR 未定義数(定義可能最大数 - 定義数)を表示する	×	V02-00
239			Processor メニュー	×	V02-00
240		Total	共有プロセッサ定義数と占有プロセッサ定義数の合計を表示する	×	V02-00
241		Share Proc	共有プロセッサ定義数を表示する	×	V02-00
242		Dedicate Proc	占有プロセッサ定義数を表示する	×	V02-00
243			Memory メニュー	×	V02-00
244		User Total	使用メモリの総容量を表示する	×	V02-00
245		Assign Total	定義メモリの総容量を表示する	×	V02-00
246		Remain	未使用メモリの容量を表示する	×	V02-00
247			LPAR Condition メニュー	×	V02-00
248			Processor Condition メニュー	×	V02-00
249			Memory Condition メニュー	×	V02-00
250			NIC Condition メニュー	×	V02-00
251			HBA Condition メニュー	×	V02-00

252	HVM Console ウィンドウ		○	V02-00
253	コンボボックス	Make LPAR ウィンドウの「コンボボックス」の説明をご参照ください	○	V02-00
254	HVM Information フレーム	Make LPAR ウィンドウの「HVM Information フレーム」の説明をご参照ください	○	V02-00
255	Update (U) ボタン	Make LPAR ウィンドウの「Update ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
256	HVM Console 選択操作メニュー		○	V02-00
257	HVM Menu ボタン	Menu フレームに移行する	○	V02-00
258	コンボボックス	表示するスクリーンを選択する	○	V02-00
259	<< Prev. ボタン	登録スクリーン順序が1つ前のスクリーンを表示する 登録スクリーン順序は以下のとおり (00) HVM Main Menu (01) Logical Partition Configuration (02) Logical Processor Configuration (03) Physical Processor Configuration (04) PCI Device Information (05) PCI Device Assignment (06) VNIC Assignment (07) Shared FC Assignment (08) Allocated FC Information (09) System Configuration (10) System Service State (11) Date and Time (12) HVM Options (15) HVM System Logs (16) Firmware Version Information (17) Boot Setting	○	V02-01
260	Next >>ボタン	登録スクリーン順序が1つ後のスクリーンを表示する 登録スクリーン順序は「<< Prev. ボタン」をご参照ください	○	V02-00

261	スクリーン		○	V02-00
262	Menu スクリーン		○	V02-00
263	Menu フレーム		○	V02-00
264	Logical Partition Configuration	LPAR の名称やプロセッサ数、メモリ容量などを設定します	○	V02-00
265	Logical Processor Configuration	各 LPAR に対して論理プロセッサの設定を行います	○	V02-00
266	Physical Processor Configuration	物理プロセッサの構成や状態を表示します	○	V02-00
267	PCI Device Information	PCI デバイスの情報を表示します	○	V02-00
268	PCI Device Assignment	各 LPAR に対して PCI デバイスの割り当てを行います	○	V02-00
269	VNIC Assignment	各 LPAR に対して仮想 NIC の割り当てを行います	○	V02-00
270	Shared FC Assignment	各 LPAR に対して共有モードの FC アダプタの割り当てを行います	○	V02-00
271	Allocated FC Information	実装されている FC アダプタの構成情報を表示します	○	V02-00
272	System Configuration	HVM システムの構成設定を行います	○	V02-00
273	System Service State	HVM システムのサービス状態を示します	○	V02-00
274	Date And Time	HVM システムや LPAR の時刻を設定します	○	V02-04/A
275	HVM Options	HVM オプション機能を設定します	○	V02-00
276	HVM System Logs	HVM で発生した様々なイベントを表示します	○	V02-00
277	Firmware Version Information	各コンポーネントのファームウェアバージョンを表示します	○	V02-00
278	Boot Setting	各 LPAR の Boot 設定を行います。	○	V02-01
279	Active LPAR ボタン	Activate LPAR ウィンドウを開く	×	V02-00
280	Activate LPAR ウィンドウ		×	V02-00
281	LPAR Select フレーム		×	V02-00
282	選択可能 LPAR 一覧	選択 (Activate) 可能な LPAR 一覧から Activate する LPAR を選択する	×	V02-00
283	OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
284	HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
285	OK ボタン	LPAR を Activate し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
286	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
287	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
288	Deactive LPAR ボタン	Deactivate LPAR ウィンドウを開く	×	V02-00

289			Deactivate LPAR ウィンドウ	×	V02-00	
290			LPAR Select フレーム	×	V02-00	
291			選択可能 LPAR 一覧	選択 (Deactivate) 可能な LPAR 一覧から Deactivate する LPAR を選択する	×	V02-00
292			OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
293			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00	
294			OK ボタン	LPAR を Deactivate し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
295			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
296			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
297			Reactive LPAR ボタン	Reactivate LPAR ウィンドウを開く	×	V02-00
298			Reactivate LPAR ウィンドウ	×	V02-00	
299			LPAR Select フレーム	×	V02-00	
300			選択可能 LPAR 一覧	選択 (Reactivate) 可能な LPAR 一覧から Reactivate する LPAR を選択する	×	V02-00
301			OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
302			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00	
303			OK ボタン	LPAR を Reactivate し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
304			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
305			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
306			Add LPAR ボタン	Add LPAR ウィンドウを開く	×	V02-00
307			Add LPAR ウィンドウ	×	V02-00	
308			LPAR Select フレーム	×	V02-00	
309			選択可能 LPAR 一覧	選択 (定義) 可能な LPAR 一覧から定義する LPAR を 選択する	×	V02-00
310			OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
311			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00	
312			OK ボタン	LPAR を定義し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
313			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
314			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
315			Remove LPAR ボタン	Remove LPAR ウィンドウを開く	×	V02-00
316			Remove LPAR ウィンドウ	×	V02-00	
317			LPAR Select フレーム	×	V02-00	
318			選択可能 LPAR 一覧	選択 (削除) 可能な LPAR 一覧から削除する LPAR を 選択する	×	V02-00
319			OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
320			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00	
321			OK ボタン	LPAR を削除し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
322			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
323			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
324			Screen ボタン	LPAR Screen ウィンドウを開く	×	V02-00

325				LPAR Screen ウィンドウ	×	V02-00
326				LPAR Select フレーム	×	V02-00
327			選択可能 LPAR 一覧	選択 (LPAR Screen 表示) 可能な LPAR 一覧から LPAR Screen に表示する LPAR を選択する	×	V02-00
328			OK ボタン	LPAR Screen を開く	×	V02-00
329			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
330			Remote KVM ボタン	リモートコンソールに接続するための入力ウィンドウを開く	×	V02-00
331			Save Config ボタン	Save Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
332				Save Configuration ウィンドウ	×	V02-00
333			OK ボタン	HVM 構成情報を保存し、本ウィンドウを閉じ Save Configuration Finish ウィンドウを開く	×	V02-00
334				Save Configuration Finish ウィンドウ	×	V02-00
335			OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
336			Cancel ボタン	HVM 構成情報の保存を中断し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

337		Logical Partition Configuration スクリーン	○	V02-00
338		Logical Partition Configuration メニュー	○	V02-00
339		# LPAR 番号を表示する	○	V02-00
340		Name LPAR 名称を表示・変更する	○	V02-00
341		Status LPAR のステータスを表示する	○	V02-00
342		Schedule スケジューリングモードを表示・変更する	○	V02-00
343		Proc LPAR に割り当てる論理プロセッサ数を表示・変更する	○	V02-00
344		Group# プロセッサグループ番号を表示・変更する	○	V02-00
345		Service Ratio LPAR が物理プロセッサを使用する時間(サービス時間)の相対的な配分を 1 ~ 999 の範囲の値で表示・変更する	○	V02-00
346		Memory Memory Size ウィンドウを開く ただし、Guest NUMA が ' Y ' の場合は、NUMA Memory Allocation ウィンドウを開く	○	V03-05
347		NUMA Memory Allocation ウィンドウ	○	V03-05
348		NUMA Memory Allocation フレーム	○	V03-05
349		# LPAR 番号を表示する	○	V03-05
350		Node# Node 番号を表示する	○	V03-05
351		Memory Size (MB) メモリサイズを表示する ダブルクリックすると、Memory Size ウィンドウを表示する	○	V03-05
352		Memory size (MB) フレーム	○	V03-05
353		LPAR#xx 選択している LPAR のメモリサイズを表示する	○	V03-05
354		Node#x 選択している Node のメモリサイズを表示する	○	V03-05
355		Total NUMA メモリの合計サイズを表示する	○	V03-05
356		OK ボタン 変更したメモリ容量を反映し、本ウィンドウを閉じる	○	V03-05
357		Cancel ボタン 本ウィンドウを閉じる	○	V03-05
358		Memory Size ウィンドウ	○	V02-00
359		Input the memory size in GB メニュー	○	V02-00
360		memory size in GB メモリ容量の設定を 0.25GB 単位で増減する	○	V02-00
361		The memory size in MB メニュー	○	V02-00
362		+1024 ボタン メモリ容量の設定を 1024MB 単位で増やす	○	V02-00
363		+256 ボタン メモリ容量の設定を 256MB 単位で増やす	○	V02-00
364		-256 ボタン メモリ容量の設定を 256MB 単位で減らす	○	V02-00
365		-1024 ボタン メモリ容量の設定を 1024MB 単位で減らす	○	V02-00
366		memory size in MB 変更中のメモリ容量を表示する	○	V02-00

367					Information メニュー		○	V02-00
368					Maximum Size	LPAR に割り当てられているメモリの総量を表示する	○	V02-00
369					Effective Max	LPAR が使用できるメモリの残容量を MB 単位で表示する	○	V02-00
370					Allocate Status	変更中のメモリ容量で LPAR が Activate 可能であることを表示する	○	V02-00
371					OK ボタン	変更したメモリ容量を反映し、本ウインドウを閉じる	○	V02-00
372					Cancel ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V02-00
373					VNIC Count	LPAR に割り当てられた仮想 NIC 数を表示する	○	V02-00
374					Processor Node	現在割り当てられているプロセッサノード番号の状態 【EFI の NUMA が無効の場合】 LPAR に割り当てられたプロセッサノードを表示します。プロセッサノードは設定できません。 【Deactivate 時】 A : LPAR を Activate した時に、ノードが自動的に選択されることを示します。 【Activate 時】 A : ノードが自動的に選択されていることを示します。 【EFI の NUMA が有効の場合】 LPAR に割り当てられたプロセッサノードを表示します。プロセッサノードは設定できません。 【Deactivate 時】 A : LPAR を Activate した時に、ノードが自動的に選択されることを示します。 【Activate 時】 数字 : 表示されているノードだけが割り当てられていることを示します。 M : 複数のノードが割り当てられていることを示します。	○	V03-00/D

375	Memory Node	<p>現在割り当てられているメモリノード番号の状態</p> <p>【EFI の NUMA が無効の場合】</p> <p>LPAR に割り当てられたメモリノードを表示します。メモリノードは設定できません。</p> <p>【Deactivate 時】</p> <p>A : LPAR を Activate したときノードが自動的に選択され、空きメモリが昇順に割り当てられます。</p> <p>【Activate 時】</p> <p>A : ノードが自動的に選択され、空きメモリが昇順に割り当てられています。</p> <p>【EFI の NUMA が有効、および LPAR の NUMA が無効の場合】</p> <p>LPAR に割り当てるメモリノードを設定します。</p> <p>【Deactivate 時】</p> <p>A : LPAR を Activate したときノードが自動的に選択され、空きメモリが昇順に割り当てられます。</p> <p>数字 : LPAR を Activate したとき、設定されたノードの空きメモリが昇順に割り当てられます。設定されたノード以外のメモリは割り当てられません。</p> <p>【Activate 時】</p> <p>数字 : 表示されているノードだけが割り当てられています。</p> <p>M : 複数のノードが割り当てられています。</p> <p>【EFI の NUMA が有効、および LPAR の NUMA が有効の場合】</p> <p>LPAR に割り当てられたメモリノードを表示します。メモリノードは設定できません。</p> <p>NM : LPAR の NUMA が有効であることを示します。</p>	○	V03-00/D
376	Idle Detection	論理プロセッサのアイドル状態を検出する機能の有効/無効を表示・変更する	○	V02-00
377	Auto Act	HVM 起動時の LPAR 自動 Activate 設定を表示・変更する	○	V02-00
378	Auto Clear SEL	論理 SEL の自動クリア機能の有効/無効を表示・変更する	○	V02-00
379	Proc Capping	プロセッサキャッピング機能の有効/無効を表示・変更する	○	V02-00
380	Virtual Console	仮想 COM コンソール機能の有効/無効、または VC 番号表示・変更する	○	V02-00
381	Pre-Boot Firmware	Pre-boot ファームウェアを表示する	○	V02-00
382	Guest NUMA	<p>ゲスト NUMA の有効/無効を設定します。</p> <p>'Y' : ゲスト NUMA を有効にします。</p> <p>'N' : ゲスト NUMA を無効にします。</p>	○	V03-05

383			Logical Information メニュー	○	V02-00
384		Assign Total	LPAR に割り当てられている各資源総量を表示する	○	V02-00
385		Act Total	LPAR が使用している (Activate 状態) の各資源総量を表示する	○	V02-00
386		Remain	LPAR が使用できるメモリの残容量を MB 単位で表示する	○	V02-00
387			Physical Information メニュー	○	V02-00
388		User Memory	LPAR に割り当てできるメモリの総量を MB 単位で表示する	○	V02-00
389		Processors	物理プロセッサの総数を表示する	○	V02-00
390		Shared	共有モードの物理プロセッサの総数を表示する	○	V02-00
391		Dedicate	占有モードの物理プロセッサの総数を表示する	○	V02-00
392		Memory Allocate ボタン	Memory Allocation Display ウィンドウを開く	○	V02-00
393			Memory Allocation Display ウィンドウ	○	V02-00
394			Memory Allocation Display フレーム	○	V02-00
395		メモリ使用状況一覧	メモリの使用状況を表示する	○	V02-00
396		Activate LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Activate LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
397		Deactivate LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Deactivate LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
398		Reactivate LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Reactivate LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
399		Add LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Add LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
400		Remove LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Remove LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
401		Screen ボタン	Menu スクリーンの「Screen ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
402		Remote KVM ボタン	Menu スクリーンの「Remote KVM ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
403		Cancel ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	○	V02-00
404			HVM Configuration ウィンドウ	○	V02-00
405		OK ボタン	本スクリーンでの変更を無効にし、本ウィンドウを閉じる	○	V02-00
406		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V02-00
407		Commit ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
408			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00
409		OK ボタン	本スクリーンでの変更を有効にし、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
410		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
411		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

412		Logical Processor Configuration スクリーン	○	V02-00
413		Logical Processor Configuration メニュー	○	V02-00
414		View Data メニュー	○	V02-02
415		#	○	V02-00
416		Name	○	V02-00
417		Status	○	V02-00
418		Schedule	○	V02-00
419		Proc	○	V02-00
420		Group#	○	V02-00
421		Logical Processor Number	○	V02-00
422		Cancel ボタン	○	V02-00
423		Commit ボタン	×	V02-00
424		Save Config ボタン	×	V02-00

425	Physical Processor Configuration スクリーン		○	V02-00
426	Physical Processor Configuration メニュー		○	V02-00
427	Proc#	物理プロセッサ番号を表示する	○	V02-00
428	Blade#	物理プロセッサが搭載されているサーバブレード番号を表示する	○	V02-00
429	Socket#	サーバブレード内のソケット番号を表示する	○	V02-00
430	Core#	コア番号を表示する	○	V02-00
431	Thread#	スレッド番号を表示する	○	V02-00
432	Core State	コアのステータスを表示する	○	V02-00
433	Proc Status	物理プロセッサのステータスを表示する	○	V02-00
434	Group#	プロセッサグループ番号を表示・変更する	○	V02-00
435	Schedule	当該物理プロセッサのスケジューリングモードを表示する	○	V02-00
436	Freq (GHz)	物理プロセッサの現在の動作周波数を表示する	○	V02-00
437	Node#	物理プロセッサのノード番号を表示する ただし、NUMA が無効の場合は、' - 'を表示する	○	V03-02
438	Processor Group Configuration メニュー		○	V02-00
439	Group#	プロセッサグループ番号を表示する	○	V02-00
440	Group Name	プロセッサグループ名称を表示・変更する	○	V02-00
441	Total Core	コア数の総数を表示する	○	V02-00
442	Shared Core	共有モードのコア数を表示する	○	V02-00
443	Dedicate Core	占有モードのコア数を表示する	○	V02-00

444		Add Group ボタン	Add Processor Group ウィンドウを開く	×	V02-00
445			Add Processor Group ウィンドウ	×	V02-00
446			Group Number Select フレーム	×	V02-00
447		選択可能 Processor Group 一覧	選択(定義)可能な Processor Group 一覧から定義 する Processor Group を選択する	×	V02-00
448		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
449			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00
450		OK ボタン	Processor Group を定義し、本ウィンドウを閉じ る	×	V02-00
451		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
452		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
453		Remove Group ボタン	Remove Processor Group ウィンドウを開く	×	V02-00
454			Remove Processor Group ウィンドウ	×	V02-00
455			Group Number Select フレーム	×	V02-00
456		選択可能 Processor Group 一覧	選択(削除)可能な Processor Group 一覧から定義 する Processor Group を選択する	×	V02-00
457		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
458			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00
459		OK ボタン	Processor Group を削除し、本ウィンドウを閉じ る	×	V02-00
460		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
461		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
462		Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの 「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
463		Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの 「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
464		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説 明をご参照ください	○	V02-00

465			PCI Device Information スクリーン	○	V02-00
466			PCI Device Information メニュー	○	V02-00
467		PCI#	PCI デバイスを識別するために HVM が付加した番号を表示する	○	V02-00
468		Slot#	当該 PCI デバイスが搭載されているスロット番号を表示する	○	V02-00
469		Bus#	PCI コンフィギュレーション空間のバス番号を表示する	○	V03-00/A
470		Dev#	PCI コンフィギュレーション空間のデバイス番号を表示する	○	V03-00/A
471		Func#	PCI コンフィギュレーション空間のファンクション番号を表示する	○	V03-00/A
472		LPAR#	当該 PCI デバイスが割り当てられている LPAR 番号、または割り当て状況を表示する	○	V02-00
473		Shared NIC#	当該 PCI デバイスが共有 NIC である場合、共有 NIC 番号を表示する	○	V02-00
474		Device Type	当該 PCI デバイスの種類を表示する	○	V02-00
475		Device Name	当該 PCI デバイスの名称を表示する	○	V02-00
476		Vendor	当該 PCI デバイスのベンダ名称を表示する	○	V02-00
477		Mapping Info ボタン	PCI Device Mapping Information ウィンドウを開く	○	V02-02
478		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00

479				PCI Device Mapping Information ウィンドウ	○	V02-02
480				Select LPAR [Multiple Selection] メニュー	○	V02-02
481			#	LPAR 番号を表示する	○	V02-02
482			Name	LPAR 名称を表示する	○	V02-02
483			Status	LPAR のステータスを表示する	○	V02-02
484				PCI Device Mapping Information	○	V02-02
485			<->ボタン	Host PciConfig と LPAR PciConfig の表示を入れ替える	○	V02-02
486			#	LPAR 番号を表示する	○	V02-02
487			Device Type	当該 PCI デバイスの種類を表示する	○	V02-02
488			Schedule	当該 PCI デバイスのスケジューリングモードを表示する	○	V02-02
489			ID	物理 PCI デバイスのスケジューリングモードが共有モードの場合、その LPAR が使用している ID を表示する 当該 PCI デバイスが共有 NIC である場合、共有 NIC のネットワークセグメントの識別子を表示する 仮想 NIC である場合、仮想 NIC のネットワークセグメントの識別子を表示する 共有 FC である場合、vfcID を表示する	○	V02-02
490			Slot#	【Host PciConfig】 物理 PCI デバイスの物理搭載位置を表示する 【LPAR PciConfig】 論理 PCI デバイスの搭載位置を表示する	○	V02-02
491			PCI Config Address	【Host PciConfig】 物理 PCI デバイス、および仮想 NIC の PCI コンフィグアドレスを表示する 【LPAR PciConfig】 LPAR 上で見える論理 PCI デバイスの PCI コンフィグアドレスを表示する	○	V02-02
492			Matching	物理 PCI デバイスまたは仮想 NIC の PCI コンフィグアドレスと、LPAR 上で見える論理 PCI デバイスの PCI コンフィグアドレスが一致している場合は「Matched」を、一致していない場合は「UnMatched」を表示する	○	V02-02
493			Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

494		PCI Device Assignment スクリーン	○	V02-00
495		PCI Device Assignment メニュー	○	V02-00
496		# LPAR 番号を表示する	○	V02-00
497		Name LPAR 名称を表示する	○	V02-00
498		Status LPAR のステータスを表示する	○	V02-00
499		PCI# PCI デバイスを識別するために HVM が付加した番号を表示する	○	V02-00
500		Type PCI デバイスの種類を表示する	○	V02-00
501		Schedule PCI デバイスのスケジューリングモードを表示・変更する	○	V02-00
502		PCI Device Assignment 各 LPAR に PCI デバイスの割り当てを表示・変更する	○	V02-00
503		Selected PCI Device Information メニュー	○	V02-00
504		PCI# PCI デバイスを識別するために HVM が付加した番号を表示する	○	V02-00
505		Slot# スロット番号を表示する	○	V02-00
506		Bus# PCI コンフィギュレーション空間のバス番号を表示する	○	V02-00
507		Dev# PCI コンフィギュレーション空間のデバイス番号を表示する	○	V02-00
508		Func# PCI コンフィギュレーション空間のファンクション番号を表示する	○	V02-00
509		Device Name デバイス名称を表示する	○	V02-00
510		Vendor ベンダ名称を表示する	○	V02-00
511		Attach/Detach ボタン USB Attach/Detach ウィンドウを開く	×	V02-00
512		USB Attach/Detach ウィンドウ	×	V02-00
513		OK ボタン USB Attach/Detach を実施し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
514		Cancel ボタン 本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
515		Set/Reset ボタン USB Auto Allocation Set/Reset ウィンドウを開く USB Auto Allocation to LPAR が Enable の時に表示される	×	V02-04/A
516		USB Auto Allocation Set/Reset ウィンドウ	×	V02-04/A
517		OK ボタン USB 自動 Attach 設定の Set/Reset の切り替えを実施し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-04/A
518		Cancel ボタン 本ウィンドウを閉じる	×	V02-04/A
519		Cancel ボタン Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
520		Commit ボタン Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
521		Save Config ボタン Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

522		VNIC Assignment スクリーン	○	V02-00
523		VNIC Assignment メニュー	○	V02-00
524		Assign Mode メニュー	○	V02-02
525		NIC Information メニュー	○	V03-01
526		#	○	V02-00
527		Name	○	V02-00
528		Status	○	V02-00
529		Device Type	○	V02-04/A
530		Total	○	V02-00
531		Virtual NIC Number	○	V02-00
532		Virtual NIC Setting メニュー	○	V02-00
533		#	○	V02-00
534		Name	○	V02-00
535		VNIC#	○	V02-00
536		MAC Address	○	V02-00
537		Segment	○	V02-00
538		Shared NIC#	○	V02-00
539		VLAN Mode	○	V02-00
540		VLANID	○	V02-00
541		Promiscuous Mode	○	V02-00
542		Packet Filter	○	V02-00
543		TXRATE	○	V03-03

544				NIC Information スクリーン	○	V03-01
545			No.	インデックス番号を表示する	○	V03-01
546			PCI#	PCI デバイスを識別するためにHVMが付加した番号を表示する	○	V03-01
547			Device	PCI デバイスの種類を表示する	○	V03-01
548			Slot#	スロット番号を表示する	○	V03-01
549			Type	PCI デバイス名称を表示する	○	V03-01
550			Port#	Port 番号を表示する	○	V03-01
551			Schedule	スケジューリングモードを表示する	○	V03-01
552			Segment	仮想 NIC の割り当て番号を表示する	○	V03-01
553			Detail チェックボックス	NIC 情報の詳細情報を表示する	○	V03-01
554			Close ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V03-02
555			Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
556			Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
557			Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

558		Shared FC Assignment スクリーン	○	V02-00
559		Shared FC Assignment メニュー	○	V02-00
560		# LPAR 番号を表示する	○	V02-00
561		Name LPAR 名称を表示する	○	V02-00
562		Status LPAR のステータスを表示する	○	V02-00
563		Shared FC# 共有 FC 番号を表示する	○	V02-00
564		Slot# FC が接続されている PCI スロット番号を表示する	○	V02-00
565		Port# 共有 FC のポート番号を表示する	○	V02-00
566		Status 共有 FC ポートの状態を表示する	○	V02-00
567		Shared FC Assignment 各 LPAR に対して共有 FC ポートの割り当てを表示・変更する 共有 FC ポートの割り当ては、カーソルで選択した共有 FC ポートに対して、vfcID を設定する	○	V02-00
568		Shared Virtual FC Port WWN Information / Boot Function Setting メニュー	○	V02-00
569		Shared FC# 共有 FC 番号を表示する	○	V02-00
570		# LPAR 番号を表示する	○	V02-00
571		Name LPAR 名称を表示する	○	V02-00
572		vfcID 当該共有 FC に設定されている vfcWWN-ID を表示する	○	V02-00
573		WWPN 当該共有 FC の WWPN を表示する	○	V02-00
574		WWNN 当該共有 FC の WWNN を表示する	○	V02-00
575		Migration WWPN マイグレーション実施時に一時的に使用する当該 FC の World Wide Port Name を表示する	○	V03-00/E
576		Migration WWNN マイグレーション実施時に一時的に使用する当該 FC の World Wide Node Name を表示する	○	V03-00/E
577		Boot Function 当該共有 FC の Boot Function を表示・変更する	○	V02-01
578		Cancel ボタン Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
579		Commit ボタン Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
580		Save Config ボタン Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

581			Allocated FC Information スクリーン	○	V02-00
582			Allocated FC Information メニュー	○	V02-00
583		vfc Seed info.	WWN 生成に使用している Vfc シード情報を表示する	○	V02-00
584		#	LPAR 番号を表示する	○	V02-00
585		Slot#	FC が接続されている物理 Slot 番号を表示する	○	V02-00
586		Port#	FC の Port 番号を表示する	○	V02-00
587		Schedule	FC のスケジューリングモードを表示する	○	V02-00
588		vfcID	割り当て FC が共有モードの場合は、設定されている vfcWWNID を表示する	○	V02-00
589		WWPN	FC の World Wide Port Name を表示する	○	V02-00
590		WWNN	FC の World Wide Node Name を表示する	○	V02-00
591		Migration WWPN	マイグレーション実施時に一時的に使用する FC の World Wide Port Name を表示する	○	V03-00/E
592		Migration WWNN	マイグレーション実施時に一時的に使用する FC の World Wide Node Name を表示する	○	V03-00/E
593		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

594	System Configuration スクリーン		○	V02-00
595	System Configuration メニュー		○	V02-00
596	HVM メニュー		○	V02-00
597	HVM ID	HVM を識別する ID を表示・変更する	○	V02-00
598	HVM IP Address	HVM IP Address を表示・変更する	○	V02-00
599	Subnet Mask	サブネットマスクを表示・変更する	○	V02-00
600	Default Gateway	Default Gateway の IP Address を表示・変更する	○	V02-00
601	SVP IP Address	SVP の IP Address を表示する (BS500 と BS2500 でのみ表示される)	○	V02-04/A
602	Alert Language	HVM のアラートメッセージの言語を表示・設定する (BS2000、BS320、および BS500 でのみ表示される)	○	V02-00
603	Virtual Console Port	LPAR ゲストコンソールに Telnet 接続する TCP ポート を表示・設定する	○	V02-00
604	Hvm Operating Mode	HVM 動作モードを表示・変更する	○	V02-02
605	Management Path	管理パスに使用する NIC の PCI デバイス番号を 表示・変更する	○	V02-00
606	VNIC System No.	仮想 NIC の MAC アドレスの一部として使用する値 (すべての HVM システムと重複しない値) を表示・設 定する	○	V02-00
607	BSM メニュー		○	V02-00
608	BSMx IP Address	JP1/ServerConductor/Blade Server Manager (BSM) IP Address を表示・変更する (BS2000、BS320、および BS500 でのみ表示される)	○	V02-00
609	BSMx Alert Port	JP1/ServerConductor/Blade Server Manager (BSM) Alert Port を表示・変更する (BS2000、BS320、および BS500 でのみ表示される)	○	V02-00
610	HVM CLI メニュー		○	V02-01
611	HVM CLIX IP Address	HVM CLI IP Address を表示・変更する	○	V02-01
612	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの 「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
613	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの 「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
614	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を ご参照ください	×	V02-00

615			System Service State スクリーン	○	V02-00
616			System Service State メニュー	○	V02-00
617			System Service メニュー	○	V02-00
618			SVP Access Service Processor (SVP) アクセスの状態を表示する	○	V02-00
619			BSM Access (BS2000、BS320、 および BS500 の場 合) Mgmt I/F (BS2500 の場合)	○	V03-05
620			HA Monitor HA Monitor アクセスの状態を表示する	○	V02-00
621			NTP NTP サーバアクセスの状態を表示する	○	V02-02
622			Hardware Component メニュー	○	V02-00
623			BMC Access 物理 Baseboard Management Controller (BMC) の状態 を表示する	○	V02-00
624			Internal Path State メニュー	○	V02-00
625			Connect 内部パスの接続成否を Success/Fail で表示する	○	V02-00
626			Link 内部パスのリンク状態を Yes/No で表示する	○	V02-00
627			Service State List	○	V02-02
628			Split Style メニ ュー	○	V02-02
629			View Style メニ ュー	○	V02-02
630			Virtual LAN Segment State メニュー	○	V02-00
631			Port#/NIC# ポート番号、NIC 番号を表示する	○	V02-00
632			Virtual LAN Segment State 仮想 LAN セグメントの状態を表示する	○	V02-00
633			Shared PCI Device Port State メニュー		V02-00
634			Type PCI Device Assignment スクリーンでスケジューリン グモードが共有になっている PCI デバイスの種類を 表示する	○	V02-00
635			NIC# Type が N の場合、共有 NIC 番号 (1~8) を表示する	○	V02-00
636			Port#/Slot# ポート番号 (0、1、2、3)、スロット番号を表示する	○	V02-00
637			Shared PCI Device Port State PCI Device Assignment スクリーンでスケジューリン グモードが共有になっている PCI デバイスの状態を 表示する	○	V02-00

638		Force Recovery ボタン	Force Recovery ウィンドウを開く	×	V02-00
639			Force Recovery ウィンドウ	×	V02-00
640		OK ボタン	強制リカバリを実施し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
641		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
642		HVM Shutdown ボタン	HVM Shutdown ウィンドウを開く	×	V02-00
643			HVM Shutdown ウィンドウ	×	V02-00
644		OK ボタン	HVM を Shutdown し、HVM Shutdown Finish ウィンドウを開く	×	V02-00
645			HVM Shutdown Finish ウィンドウ	×	V02-00
646		OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
647		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
648		HVM Reboot ボタン	HVM Reboot ウィンドウを開く	×	V02-02
649			HVM Reboot ウィンドウ	×	V02-02
650		OK ボタン	HVM を再起動し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-02
651		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-02
652		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

653		Date And Time スクリーン	○	V02-04/A
654		Date And Time メニュー	○	V02-04/A
655		# LPAR 番号を表示する	○	V02-04/A
656		Name LPAR 名称を表示する	○	V02-04/A
657		Status LPAR のステータスを表示する	○	V02-04/A
658		LPAR RTC Date And Time LPAR の RTC 時刻を表示する	○	V02-04/A
659		Last Activated LPAR の最終 Act 時刻を表示する	○	V02-04/A
660		Last Deactivated LPAR の最終 Deact 時刻を表示する	○	V02-04/A
661		Time Difference(s) System RTC と LPAR RTC との差分を表示する	○	V02-04/A
662		Check Status 時刻ずれのステータスを表示する	○	V02-04/A
663		System Date And Time メニュー	○	V02-04/A
664		System Time システム装置時刻 (物理 RTC 時刻) を表示する	○	V02-04/A
665		System Time Zone HVM システム時刻ゾーンを表示・変更する	○	V02-04/A
666		NTP Setting メニュー	○	V02-04/A
667		Time Setting Import NTP 設定をインポートしている先を表示する	○	V02-04/A
668		Time Sync 時刻同期設定を表示・変更する	○	V02-04/A
669		NTP Server1 NTP サーバ 1 の IP Address を表示・変更する	○	V02-04/A
670		NTP Server2 NTP サーバ 2 の IP Address を表示・変更する	○	V02-04/A
671		NTP NTP の状態を表示する	○	V02-04/A
672		Import SVP ボタン SVP に設定してある NTP 設定をインポートする	×	V02-04/A
673		Import BMC ボタン BMC に設定してある NTP 設定をインポートする (BS2000、BS500、および BS2500 で表示される)	×	V02-04/A
674		Adjust Time ボタン LPAR の RTC 時刻と SEL 時刻をシステム時刻に合わせる HVM システム時刻または UTC 時刻に合わせます	×	V02-04/A

675				LPAR to adjust time on ウインドウ	×	V02-04/A
676				Select Source time フレーム	×	V03-03
677				<div>コンボボックス</div> <div>LPAR の RTC 時刻と SEL 時刻を HVM システム時刻または UTC 時刻に合わせます このとき、変更対象の LPAR の最終 Activate RTC 時刻、最終 Deactivate RTC 時刻、最終更新 RTC 時刻がクリアされます HVM System Time: LPAR の RTC 時刻と SEL 時刻を HVM システム時刻に合わせます Specified Zone: 指定した Time Zone で、LPAR の RTC 時刻と SEL 時刻を HVM システム時刻に合わせます UTC: LPAR の RTC 時刻と SEL 時刻を UTC 時刻に合わせます</div>	×	V03-03
678				Zone フレーム	×	V03-03
679				<div>コンボボックス</div> <div>LPAR に設定するタイムゾーンを選択します</div>	×	V03-03
680				LPAR Select フレーム	×	V02-04/A
681				<div>Multiple Selection チェックボックス</div> <div>RTC 時刻と SEL 時刻をシステム時刻に合わせる対象の LPAR を 1 つまたは複数にするよう設定します チェックあり: 複数 LPAR 選択モード チェックなし: 1LPAR 選択モード</div>	×	V02-04/A
682				<div>#</div> <div>LPAR 番号を表示します</div>	×	V02-04/A
683				<div>Name</div> <div>LPAR 名称を表示します</div>	×	V02-04/A
684				OK ボタン	×	V02-04/A
685				Cancel ボタン	×	V02-04/A
686				Cancel ボタン	○	V02-04/A
687				Commit ボタン	×	V02-04/A
688				Save Config ボタン	×	V02-04/A

689			HVM Options スクリーン	○	V02-00
690			System Control メニュー	○	V02-00
691			Pre-State Auto Activation	○	V02-00
692			HVM Auto Shutdown	○	V02-00
693			Shutdown State	○	V02-00
694			HVM Error Watching	○	V02-00
695			PhyCPU C-State (>=C3)	○	V02-04/A
696			USB Auto Allocation to LPAR	○	V02-04/A
697			Save Changed Config Format	○	V02-04/A
698			HVM Timer Counter Base	○	V03-01
699			Save Time Config	○	V03-03

700		Clear NVRAM ボタン	Clear NVRAM ウィンドウを開く	×	V02-00
701		Clear NVRAM ウィンドウ		×	V02-00
702		LPAR Select フレーム		×	V02-00
703		選択可能 LPAR 一覧	選択 (NVRAM の初期化) 可能な LPAR 一覧から定義する LPAR を選択する	×	V02-00
704		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
705		HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
706		OK ボタン	NVRAM を初期化し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
707		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
708		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
709		HVM Dump ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
710		HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
711		OK ボタン	HVM Dump を採取し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
712		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
713		Guest OS Dump ボタン	Guest OS Dump ウィンドウを表示する	×	V03-02
714		Guest OS Dump ウィンドウ		×	V03-02
715		LPAR Select フレーム	ゲスト OS ダンプを採取する LPAR を選択する	×	V03-02
716		OK ボタン	ゲスト OS ダンプを採取し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
717		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
718		Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
719		Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
720		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

721		HVM System Logs スクリーン	○	V02-00
722		HVM System Logs メニュー	○	V02-00
723		チェックボックス	○	V02-01
724		MultiSort	○	V02-01
725		SysLog Update ボタン	○	V02-00
726		チェックボックス	○	V02-00
727		Error	○	V02-00
728		Warning	○	V02-00
729		Info	○	V02-00
730		Level	○	V02-00
731		Date	○	V02-00
732		Time	○	V02-00
733		Event	○	V02-00
734		Detail	○	V02-00
735		Save Config ボタン	×	V02-00
736		Firmware Version Information スクリーン	○	V02-00
737		Firmware Version Information メニュー	○	V02-00
738		System Firmware メニュー	○	V02-00
739		HVM Firmware (Active)	○	V02-00
740		HVM Firmware (Alternate)	○	V02-00
741		BIOS	○	V02-00
742		BMC	○	V02-00
743		HVM License Information メニュー	○	V02-00
744		HVM Model	○	V02-00
745		HVM Serial No.	○	V02-00
746		Valid Through	○	V02-00
747		Hitachi Fibre Channel Firmware	○	V02-00
748		Slot#	○	V02-00
749		Save Config ボタン	×	V02-00

750		Boot Setting スクリーン		○	V02-01
751		コンボボックス	ブート設定対象の LPAR を選択する	○	V02-01
752		Boot Order Update ボタン	ブートオーダを更新する	×	V02-01
753		Boot Order	設定済みブートデバイスのリストを表示する	○	V02-01
754		↑ ボタン	ブートデバイスの優先順位を上げる	○	V02-01
755		↓ ボタン	ブートデバイスの優先順位を下げる	○	V02-01
756		↑ Add ボタン	ブートデバイスリストに追加	○	V02-01
757		↓ Remove ボタン	ブートデバイスリストから削除	○	V02-01
758		Excluded Boot Order	未設定ブートデバイスのリストを表示する	○	V02-01
759		FC HBA Setting	ブートデバイスの HBA の Boot Enable を表示・更新する	○	V02-01
760		Detail Setting	HBA のブートデバイスを表示・更新する	○	V03-07
761		Active LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Active LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V03-01
762		Deactive LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Deactive LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V03-01
763		Attach/Detach ボタン	USB Attach/Detach ウィンドウを開く	×	V03-02
764		USB Attach/Detach ウィンドウ		×	V03-02
765		OK ボタン	USB Attach/Detach を実施し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
766		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
767		Set/Reset ボタン	USB Auto Allocation Set/Reset ウィンドウを開く USB Auto Allocation to LPAR が Enable の時に表示される	×	V03-02
768		USB Auto Allocation Set/Reset ウィンドウ		×	V03-02
769		OK ボタン	USB Attach/Detach を実施し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
770		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
771		Screen ボタン	Menu スクリーンの「Screen ボタン」の説明をご参照ください	×	V03-01
772		Remote KVM ボタン	Menu スクリーンの「Remote KVM ボタン」の説明をご参照ください	×	V03-01
773		Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01
774		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01

775	Related Console ウィンドウ		○	V02-00
776	コンボボックス	Make LPAR ウィンドウの「コンボボックス」の説明 をご参照ください	○	V02-00
777	HVM Information フレーム	Make LPAR ウィンドウの「HVM Information フレーム」 の説明をご参照ください	○	V02-00
778	Update(U) ボタン	Make LPAR ウィンドウの「Update ボタン」の説明を ご参照ください	○	V02-00
779	Chassis Information メニュー		○	V02-00
780	Chassis ID	シャーシの ID を表示する	○	V02-00
781	Chassis Type	シャーシの種別を表示する	○	V02-00
782	Chassis S/N	シャーシのシリアル番号を表示する	○	V02-00
783	SVP Information メニュー		○	V02-00
784	SVP IP Address	SVP の IP アドレスを表示する	○	V02-00
785	User ID	SVP のユーザアカウントを表示する	○	V02-00
786	Update Time	SVP を更新した時間を表示する	○	V02-00
787	Partition Information メニュー		○	V02-00
788	Partition#	パーティション番号を表示する	○	V02-00
789	Blade SerialNo	パーティションのシリアル番号を表示する	○	V02-00
790	BMC IP Address	BMC の IP アドレスを表示する	○	V02-00
791	BMC User ID	BMC のユーザアカウントを表示する	○	V02-00
792	R-KVM Application	リモート KVM で使用するアプリケーションを表示す る	○	V03-00/A
793	HVM Information メニュー		○	V02-00
794	HVM ID	HVM の ID を表示する	○	V02-00
795	HVM IP Address	HVM の IP アドレスを表示する	○	V02-00
796	F/W Version	HVM のファームウェアバージョンを表示する	○	V02-00
797	System Console (Web) ボタン	SVP の System Console (Web) を開く	×	V02-00
798	System Console (Telnet) ボ タン	SVP の System Console (Telnet) を開く	×	V02-00
799	ServerBlade Console (Web) ボ タン	ServerBlade Console (Web) を開く	×	V02-00
800	HVM Screen ボタン	HVM Console を開く	×	V02-00

801	Set SVP Info ボタン	Set SVP Info ウィンドウを開く	×	V02-01
802	Set SVP Info ウィンドウ		×	V02-01
803	SVP IP Address テキストボックス	SVP IP Address を入力	×	V02-01
804	User ID テキストボックス	User ID を入力	×	V02-01
805	Password テキストボックス	Password を入力	×	V02-01
806	HTTP/HTTPS ラジオボタン	SVP システムコンソール (Web) の表示の際に使用するプロトコルを選択	×	V03-02
807	OK ボタン	入力内容を反映して Set SVP Info ウィンドウを閉じる	×	V02-01
808	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Set SVP Info ウィンドウを閉じる	×	V02-01
809	Set BMC Info ボタン	Set BMC Info ウィンドウを開く	×	V02-01
810	Set BMC Info ウィンドウ		×	V02-01
811	BMC IP Address テキストボックス	BMC IP Address を入力	×	V02-01
812	User ID テキストボックス	User ID を入力	×	V02-01
813	Password テキストボックス	Password を入力	×	V02-01
814	HTTP/HTTPS ラジオボタン	サーバブレード Web コンソールの表示の際に使用するプロトコルを選択	×	V03-04
815	R-KVM Application コンボボックス	リモート KVM で使用するアプリケーション設定する	×	V03-00/A
816	OK ボタン	入力内容を反映して Set BMC Info ウィンドウを閉じる	×	V02-01
817	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Set BMC Info ウィンドウを閉じる	×	V02-01

5 モニタリング

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変 更 Ver. (※ 2)
1	Main ウィンドウ (Monitoring タブ)		○	V01-00
2	HVM List フレーム		○	V02-02
3	チェックボックス	<p>【チェックをつける】</p> <p>複数 HVM 操作ボタンの操作対象になる 複数 HVM 操作ボタンは、以下のフレームに含まれるボタン (1) List Operation フレーム (2) Monitor Action フレーム (3) Graph Viewer フレーム (ただし、Use BackUp ボタンを除く) ※ヘッダのチェックボックスにチェックをつけると すべての HVM が操作対象になる</p> <p>【チェックを外す】</p> <p>複数 HVM 操作ボタンの操作対象から外れる ※ヘッダのチェックボックスからチェックを外すと すべての HVM が操作対象から外れる</p>	○	V01-00
4	HVM ID 列	HVM ID を表示	○	V01-00
5	HVM IP 列	HVM IP アドレスを表示	○	V01-00
6	Status 列	<p>モニタリングのステータスを表示</p> <p>Total: モニタリング機能を利用できる HVM 数を表示</p> <p>Run: モニタリング中の HVM 数を表示</p> <p>Stop: モニタリングを停止している HVM 数を表示</p> <p>Fail: モニタリングに失敗している HVM 数を表示</p> <p>Error: モニタリングのエラー停止中の HVM 数を表示</p>	○	V01-00
7	Interval (s) 列ボタ ン	Set Interval ウィンドウを開く	○	V01-00
8	Start Monitor 列 Start ボタン	モニタリングを開始	○	V01-00
9	Stop Monitor 列 Stop ボタン	モニタリングを停止	○	V01-00
10	Realtime View 列 View ボタン	CPU Realtime Viewer ウィンドウを開く	○	V02-00
11	History View 列 View ボタン	CPU History Viewer ウィンドウを開く	○	V02-00
12	Information 列 Information ボタン	Monitor Information ウィンドウを開く	○	V01-00
13	Log Manage 列 Log Manage ボタン	Monitor Log Management ウィンドウを開く	○	V01-00
14	Threshold 列 Threshold ボタン	Monitor Threshold Management ウィンドウを開く	○	V01-00

15		AutoClear 列	履歴情報自動削除の有効/無効を表示する	○	V01-00
16		AutoBackUp 列	履歴情報自動バックアップの有効/無効を表示する	○	V01-00
17		AutoAverage 列	ユーザ時間設定した履歴情報自動集計の有効/無効を表示する	○	V01-00
18		Threshold Check 列	しきい値監視の有効/無効を表示する	○	V01-00
19		List Operation フレーム	本フレーム内のボタンはチェックのついたすべての HVM に適用	○	V01-00
20		Set Interval ボタン	Set Interval ウィンドウを開く	○	V01-00
21		Log Manage ボタン	Monitor Log Management ウィンドウを開く	○	V01-00
22		Threshold ボタン	Monitor Threshold Management ウィンドウを開く	○	V01-00
23		Monitor Action フレーム	本フレーム内のボタンはチェックのついたすべての HVM に適用	○	V01-00
24		Start ボタン	サブウィンドウ (Monitor Start ウィンドウ) を開く	○	V01-00
25		Monitor Start ウィンドウ		○	V01-00
26		リスト	モニタリング開始対象の HVM を表示	○	V01-00
27		OK ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングを開始し 本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
28		Cancel ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングの開始を取り止め 本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
29		Stop ボタン	サブウィンドウ (Monitor Stop ウィンドウ) を開く	○	V01-00
30		Monitor Stop ウィンドウ		○	V01-00
31		リスト	モニタリング停止対象の HVM を表示	○	V01-00
32		OK ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングを停止し 本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
33		Cancel ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングの停止を取り止め 本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
34		Graph Viewer フレーム	本フレーム内のボタンはチェックのついたすべての HVM に適用	○	V01-00
35		Realtime ボタン	【1 つの HVM にチェックをつけている場合】 CPU Realtime Viewer ウィンドウを開く 【複数の HVM にチェックをつけている場合】 CPU Realtime Viewer [Multi] ウィンドウを開く	○	V02-00
36		History ボタン	CPU History Viewer ウィンドウを開く	○	V02-00
37		Use Backup ボタン	サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	○	V01-00
38		フォルダの参照ウィンドウ		○	V01-00
39		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00

40	Set Interval ウィンドウ		○	V01-00
41	リスト	サンプリング間隔指定対象の HVM を表示	○	V01-00
42	Interval (1-300) テキストボックス	サンプリング間隔を入力 (単位: 秒) デフォルト設定は 10 秒	○	V01-00
43	OK ボタン	サンプリング間隔を入力値に設定し、本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
44	Cancel ボタン	サンプリング間隔を設定せず、本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
45	Monitor Information ウィンドウ		○	V01-00
46	HVM Information フレーム	HVM ID と HVM IP アドレスを表示	○	V01-00
47	Monitor Information フレーム	Status、Logging Start Time および Logging Last Update を表示	○	V01-00
48	Last Error Message テキストボックス	最新のエラーメッセージを表示	○	V01-00
49	Refresh ボタン	Monitor Information フレーム内の表示を更新	○	V01-00
50	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

51	CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		○	V02-00
52	メニューリスト(Graph Style)		○	V01-00
53	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V01-00
54	Line	折れ線グラフで表示	○	V01-00
55	Bar	棒グラフで表示	○	V01-01
56	メニューリスト(Graph Size)		○	V01-00
57	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V01-00
58	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	○	V01-00
59	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ1行1LPAR ずつ表示	○	V01-00
60	メニューリスト(Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
61	Normal (Rate)	LPAR ごとにグラフ表示(デフォルト)	○	V01-00
62	Group (Rate)	プロセッサグループごとにグラフ表示	○	V01-01
63	Normal (Core/Thread)	LPAR の CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V02-03
64	Group (Core/Thread)	プロセッサグループの CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V03-02
65	メニューリスト(Legend)		○	V01-00
66	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V01-00
67	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V01-00
68	メニューリスト(Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
69	ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
70	OFF	CPU 不足率を非表示(デフォルト)	○	V01-00
71	メニューリスト(Refresh Interval)		○	V01-00
72	1 sec	グラフ更新を1秒にする	○	V01-00
73	5 sec	グラフ更新を5秒にする(デフォルト)	○	V01-00
74	10 sec	グラフ更新を10秒にする	○	V01-00
75	HVM Information フレーム		○	V01-00
76	HVM ID	HVM ID を表示	○	V01-00
77	HVM IP	HVM IP アドレスを表示	○	V01-00
78	I/O View フレーム		○	V02-00
79	NIC ボタン	NIC Realtime Viewer ウィンドウを開く	○	V02-00
80	HBA ボタン	HBA Realtime Viewer ウィンドウを開く	○	V03-00/A
81	Physical CPU Summary グラフ		○	V01-00
82	メニューリスト(Graph Style)		○	V01-01
83	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V01-00
84	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V01-00
85	Bar	棒グラフで表示	○	V01-01

86	メニューリスト (Usage Rate)		○	V02-02
87	System Base	全物理 CPU 基準で表示 (デフォルト)	○	V02-02
88	Resource Base (Graph Style が Bar の 場合のみ)	CPU リソース基準で表示	○	V02-02
89	メニューリスト (Legend)		○	V01-00
90	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-00
91	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V01-00
92	メニューリスト (Insuff)		○	V01-01
		条件 1、3 を満たす場合、メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)		
93	ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
94	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V01-01
95	メニューリスト (Scale)		○	V02-03
		メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時		
96	100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V01-01
97	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V01-01
98	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V01-01
99	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V01-01
100	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
101	Scale Setting		○	V03-07
		グラフの表示領域を入力値に変更する		
102	Scale テキストボッ クス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
103	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力され た値に設定する	○	V03-07
104	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じ る	○	V03-07
105	メニューリスト (Scale)		○	V02-03
		メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、 または Group (Core/Thread) 時		
106	256	グラフの表示領域を 256 に変更する	○	V02-03
107	128	グラフの表示領域を 128 に変更する	○	V02-03
108	64	グラフの表示領域を 64 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
109	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
110	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
111	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
112	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
113	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
114	Scale Setting		○	V03-07
		グラフの表示領域を入力値に変更する		
115	Scale テキストボッ クス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
116	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力され た値に設定する	○	V03-07
117	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じ る	○	V03-07

118		メニューリスト (LPAR Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに LPAR Sort が加わる	○	V01-01
119		OFF	ソートしないでグラフ表示	○	V01-01
120		All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
121		40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
122		20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
123		10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	○	V02-02
124		ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V01-01
125		All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
126		40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
127		20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
128		10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
129		Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	○	V02-02
130		40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
131		20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
132		10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
133		メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が 加わる	○	V01-01
134		ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-01
135		OFF	数値表示を無効にする	○	V01-01
136		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V01-00

137			コンテキストメニュー	○	V01-00
138		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V01-00
139		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウインドウ) を表示	○	V01-00
140		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウインドウ) を表示	○	V01-00
141		View Each CPU	Each CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM IP] ウインドウの表示 条件 1、4 を満たす場合、コンテキストメニューに View Each CPU が加わる (条件 1、4 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-02
142			Each CPU Realtime Viewer ウインドウ	○	V02-02
143			メニューリスト (Legend)	○	V02-02
144		ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-02
145		OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-02
146			メニューリスト (Scale)	○	V02-02
147		100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-02
148		50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-02
149		20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-02
150		10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-02
151		Input	Scale Setting ウインドウを表示する	○	V03-07
152		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
153		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
154		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
155		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウインドウを閉じる	○	V03-07

156				メニューリスト (Sort)	○	V02-02
157			OFF	ソートしないでグラフ表示	○	V02-02
158			All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
159			80	80個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
160			40	40個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
161			20	20個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
162			10	10個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	○	V02-02
163			ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V02-02
164			All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	○	V02-02
165			80	80個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
166			40	40個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
167			20	20個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
168			10	10個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
169			Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	○	V02-02
170			80	80個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
171			40	40個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
172			20	20個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
173			10	10個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
174			メニューリスト (Value)		○	V02-02
175			ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-02
176			OFF	数値表示を無効にする	○	V02-02
177			グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-02
178			コンテキストメニュー		○	V02-02
179			Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-02
180			View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Each CPU) を表示	○	V02-02
181			View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Each CPU) を表示	○	V02-02
182			Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
183			レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-02
184			View Snap Graph	サブウィンドウ (CPU Realtime Viewer ウィンドウ) を表示	○	V02-03
185			Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
186			レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-02
187			色の設定ウィンドウ		○	V02-02
188			[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-02

189	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	<p>【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択</p> <p>【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択</p>	○	V01-01
190	ALL チェックボックス	<p>■メニューリストの Data Change が Normal の場合</p> <p>【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける</p> <p>【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す</p> <p>■メニューリストの Data Change が Group の場合</p> <p>【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける</p> <p>【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す</p>	○	V01-01
191	LPAR チェックボックス nn (nn=01～60) (メニューリストの Data Change で Normal が選択されている場合) /Group チェックボックス nn (nn=00～15) (メニューリストの Data Change で Group が選択されている場合)	<p>【チェックあり】 グラフ表示</p> <p>【チェックなし】 グラフ表示しない</p>	○	V01-01

192	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		○	V01-00
193	メニューリスト (Graph Style)		○	V01-01
194	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V01-00
195	Line	折れ線グラフで表示	○	V01-00
196	Bar	棒グラフで表示	○	V02-02
197	メニューリスト (Graph Size)		○	V01-00
198	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V01-00
199	Fixed Size	固定サイズで表示	○	V01-00
200	Window Width	グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1 行 1 LPAR ずつ表示	○	V01-00
201	メニューリスト (Usage Rate)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate) 時	○	V01-01
202	Resource Base	CPU リソース基準で表示 (デフォルト)	○	V02-02
203	System Base	全物理 CPU 基準で表示	○	V01-00
204	Service Rate Base	サービス率基準で表示	○	V01-00
205	メニューリスト (Usage Rate)	メニューリスト (Data Change) が Group (Rate) 時	○	V01-01
206	Group Base	プロセッサグループに割り当てられたリソース基準で表示 (デフォルト表示)	○	V01-01
207	System Base	全物理 CPU 基準で表示	○	V01-01
208	メニューリスト (Usage Rate)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread) 時	○	V02-03
209	System Base	全物理 CPU 基準で表示 (デフォルト表示)	○	V02-03
210	メニューリスト (Usage Rate)	メニューリスト (Data Change) が Group (Core/Thread) 時	○	V03-02
211	System Base	全物理 CPU 基準で表示 (デフォルト表示)	○	V03-02

212		メニューリスト (Legend)		○	V01-00
213		ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-00
214		OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V01-00
215		メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
216		ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
217		OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V01-00
218		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
219		100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-02
220		50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-02
221		20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-02
222		10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-02
223		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
224		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
225		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
226		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
227		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
228		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Core/Thread) 時	○	V02-03
229		64	グラフの表示領域を 64 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
230		32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
231		16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
232		8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
233	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03	
234	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07	
235	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07	
236	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07	
237	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07	
238	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07	

239		メニューリスト (CPU Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに CPU Sort が加わる	○	V03-04
240		OFF	ソートしないでグラフ表示	○	V03-04
241		All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更 する	○	V03-04
242		40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更す る	○	V03-04
243		20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更す る	○	V03-04
244		10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更す る (デフォルト)	○	V03-04
245		ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V03-04
246		All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更 する(デフォルト)	○	V03-04
247		40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更す る	○	V03-04
248		20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更す る	○	V03-04
249		10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更す る	○	V03-04
250		Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	○	V03-04
251		40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更す る	○	V03-04
252		20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更す る	○	V03-04
253		10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更す る	○	V03-04
254		メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	○	V02-02
255		ON	数値表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-02
256		OFF	数値表示を無効にする	○	V02-02

257		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V01-00
258		コンテキストメニュー		○	V01-00
259		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V01-00
260		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウインドウ) を表示	○	V01-00
261		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウインドウ) を表示	○	V01-00
262		View Each CPU	Each CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM IP] ウインドウの表示 条件 1、4 を満たす場合、コンテキストメニューに View Each CPU が加わる (条件 1、4 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-02
263		View Snap Graph	サブウインドウ (CPU Realtime Snap Viewer ウインドウ) を表示	○	V02-03
264		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
265		レジェンド	色の設定ウインドウの表示	○	V02-02
		色の設定ウインドウ		○	V02-02
266		[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-02

267	CPU Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		○	V02-03
268	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-03
269	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V02-03
270	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-03
271	メニューリスト(Graph Size)		○	V02-03
272	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V02-03
273	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
274	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ1行1LPAR ずつ表示	○	V02-03
275	メニューリスト(Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
276	Normal (Rate)	LPAR ごとにグラフ表示(デフォルト)	○	V02-03
277	Group (Rate)	プロセッサグループごとにグラフ表示	○	V02-03
278	Normal (Core/Thread)	LPAR の CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V02-03
279	Group (Core/Thread)	プロセッサグループの CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V03-02
280	メニューリスト(Legend)		○	V02-03
281	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-03
282	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
283	メニューリスト(Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
284	ON	CPU 不足率を表示	○	V02-03
285	OFF	CPU 不足率を非表示(デフォルト)	○	V02-03
286	HVM Information フレーム		○	V02-03
287	HVM ID	HVM ID を表示	○	V02-03
288	HVM IP	HVM IP アドレスを表示	○	V02-03
289	I/O View フレーム		○	V02-03
290	NIC ボタン	NIC Realtime Snap Viewer ウィンドウを開く	○	V02-03
291	HBA ボタン	HBA Realtime Snap Viewer ウィンドウを開く	○	V03-00/A
292	Physical CPU Summary グラフ		○	V02-03
293	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-03
294	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V02-03
295	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V02-03
296	メニューリスト(Usage Rate)		○	V02-03
297	System Base	全物理 CPU 基準で表示(デフォルト)	○	V02-03
298	メニューリスト(Legend)		○	V02-03
299	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-03
300	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03

301		メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合、メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
302		ON	CPU 不足率を表示	○	V02-03
303		OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V02-03
304		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
305		100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
306		50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-03
307		20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-03
308		10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-03
309		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
310		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
311		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
312		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
313		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
314		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
315		256	グラフの表示領域を 256 に変更する	○	V02-03
316		128	グラフの表示領域を 128 に変更する	○	V02-03
317		64	グラフの表示領域を 64 に変更する	○	V02-03
318		32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
319		16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
320		8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
321		4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
322		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
323		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
324		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
325		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
326		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
327		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-03

328		コンテキストメニュー		○	V02-03
329		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
330		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウインドウ) を表示	○	V02-03
331		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウインドウ) を表示	○	V02-03
332		View Each CPU	サブウインドウ (Each CPU History Viewer ウインドウ) を表示	○	V03-04
333		View Bar Graph	サブウインドウ (CPU History Bar Viewer ウインドウ) を表示	○	V02-03
334		Each CPU History Viewer ウインドウ		○	V03-04
335		HVM Information フレーム	HVM ID と HVM IP アドレスを表示	○	V03-04
336		HVM ID	HVM ID を表示	○	V03-04
337		HVM IP	HVM IP を表示	○	V03-04
338		Operation フレーム		○	V03-04
339		Prev. ボタン	現在表示されている時間の一つ前のデータを表示する	○	V03-04
340		Next ボタン	現在表示されている時間の一つ後のデータを表示する	○	V03-04
341		スクロールバー	表示したい時間を選択する	○	V03-04
342		Show ボタン	スクロールバーで選択した時間を表示する	○	V03-04
343		コンテキストメニュー		○	V03-04
344		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-04
345		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for Each CPU) を表示	○	V03-04
346		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for Each CPU) を表示	○	V03-04
347		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-04
348		レジェンド	色の設定ウインドウの表示	○	V03-04
349		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
350		レジェンド	色の設定ウインドウの表示	○	V02-03
351		色の設定ウインドウ		○	V02-03
352		[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-03

353	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択 【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択	○	V02-03
354	ALL チェックボックス	■メニューリストの Data Change が Normal の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Data Change が Group の場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	○	V02-03
355	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60) (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group チェックボックス nn (nn=00~15) (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V02-03
356	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		○	V02-03
357	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
358	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
359	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-03
360	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-03
361	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-03
362	Fixed Size	固定サイズで表示	○	V02-03
363	Window Width	グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1 行 1LPAR ずつ表示	○	V02-03
364	メニューリスト (Usage Rate)		○	V02-03
365	Resource Base	CPU リソース基準で表示 (デフォルト)	○	V02-03
366	System Base	全物理 CPU 基準で表示	○	V02-03
367	Service Rate Base	サービス率基準で表示	○	V02-03
368	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
369	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
370	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
371	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
372	ON	CPU 不足率を表示	○	V02-03
373	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V02-03

374	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
375	100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
376	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-03
377	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-03
378	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-03
379	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
380	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
381	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
382	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
383	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
384	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Core/Thread) 時	○	V02-03
385	64	グラフの表示領域を 64 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
386	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
387	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
388	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
389	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
390	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
391	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
392	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
393	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
394	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
395	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-03
396	コンテキストメニュー		○	V02-03
397	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
398	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	○	V02-03
399	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	○	V02-03
400	View Each CPU	Each CPU Realtime Viewer [HVM_ID : HVM IP] ウィンドウの表示 条件 1、4 を満たす場合、コンテキストメニューに View Each CPU が加わる (条件 1、4 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-02
401	View Bar Graph	サブウィンドウ (CPU History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V02-03
402	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
403	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-03
404	色の設定ウィンドウ		○	V02-03
405	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-03

406	NIC Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		○	V02-00
407	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-00
408	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V02-00
409	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-00
410	Bar	棒グラフで表示	○	V02-00
411	メニューリスト(Graph Size)		○	V02-00
412	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V02-00
413	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V02-00
414	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1 行 1LPAR ずつ表示	○	V02-00
415	メニューリスト(Graph Data)		○	V02-00
416	NIC Port	NIC のポートごとに表示(デフォルト)	○	V02-00
417	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-00
418	メニューリスト(Legend)		○	V02-00
419	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-00
420	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-00
421	メニューリスト(Usage)		○	V02-00
422	Usage (Mbps)	NIC の使用量を表示(デフォルト)	○	V02-00
423	Usage Rate (%)	NIC の使用率を表示	○	V02-00
424	メニューリスト(Refresh Interval)		○	V02-00
425	1 sec	グラフ更新を 1 秒にする	○	V02-00
426	5 sec	グラフ更新を 5 秒にする(デフォルト)	○	V02-00
427	10 sec	グラフ更新を 10 秒にする	○	V02-00

428	Physical NIC Summary グラフ		○	V02-00
429	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-00
430	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-00
431	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V02-00
432	Bar	棒グラフで表示	○	V02-00
433	メニューリスト (Legend)		○	V02-00
434	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-00
435	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-00
436	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
437	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-00
438	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-00
439	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
440	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
441	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
442	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-00
443	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
444	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
445	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
446	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-00
447	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
448	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
449	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
450	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
451	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
452	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
453	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
454	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
455	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
456	100 %	グラフの表示領域を 100 %に変更する (デフォルト)	○	V02-00
457	50 %	グラフの表示領域を 50 %に変更する	○	V02-00
458	20 %	グラフの表示領域を 20 %に変更する	○	V02-00
459	10 %	グラフの表示領域を 10 %に変更する	○	V02-00
460	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
461	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
462	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
463	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
464	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07

465		メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	○	V02-00
466		ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-00
467		OFF	数値表示を無効にする	○	V02-00
468		メニューリスト (NIC Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ メニューリストに NIC Sort が加わる	○	V02-00
469		OFF	ソートしないでグラフ表示 (デフォルト)	○	V02-00
470		ON	NIC 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V02-00
471		Top 10	NIC 使用率が高い順に 10 項目をグラフ表示	○	V02-00
472		メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate (%) の場合のみ メニューリストに Usage Rate が加わる	○	V02-00
473		Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	○	V02-00
474		Port Base	Physical NIC Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト (Graph Style) が Line または Bar の場合 Port 基準で表示)	○	V02-00
475		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-00
476		コンテキストメニュー		○	V02-00
477		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-00
478		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウインドウ) を表示	○	V02-00
479		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウインドウ) を表示	○	V02-00
480		View Snap Data	サブウインドウ (View Snap Data for Physical NIC Summary ウインドウ) を表示	○	V02-00
481		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02

482	NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V02-00
483	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合 【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V02-00
484	NIC Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V02-00
485	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V02-00
486	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-00
487	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-00
488	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-00
489	Bar	棒グラフで表示	○	V02-00
490	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-00
491	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-00
492	Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	○	V02-00
493	Window Width	Physical NIC Summary グラフと同じサイズで表示	○	V02-00
494	メニューリスト (Graph Data)		○	V02-00
495	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V02-00
496	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-00
497	メニューリスト (Legend)		○	V02-00
498	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-00
499	OFF	グラフ色の凡示を無効にする	○	V02-00

500		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
501		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-00
502		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-00
503		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
504		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
505		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
506		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-00
507		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
508		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
509		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
510		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-00
511		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
512		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
513		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
514		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
515		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
516		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
517		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
518		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
519		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
520		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する	○	V02-00
521		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V02-00
522		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V02-00
523		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V02-00
524		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V02-00
525		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
526		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
527		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
528		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
529		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
530		コンテキストメニュー		○	V02-00
531		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-00
532		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V02-00
533		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V02-00
534		View Snap Data	サブウィンドウ (View Snap Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V02-00
535		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02

536	NIC Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		○	V02-03
537	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-03
538	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V02-03
539	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-03
540	メニューリスト(Graph Size)		○	V02-03
541	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V02-03
542	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
543	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行1LPARずつ表示	○	V02-03
544	メニューリスト(Graph Data)		○	V02-03
545	NIC Port	NIC のポートごとに表示(デフォルト)	○	V02-03
546	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-03
547	メニューリスト(Legend)		○	V02-03
548	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-03
549	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
550	メニューリスト(Usage)		○	V02-03
551	Usage (Mbps)	NIC の使用量を表示(デフォルト)	○	V02-03
552	Usage Rate (%)	NIC の使用率を表示	○	V02-03

553	Physical NIC Summary グラフ		○	V02-03
554	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
555	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
556	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V02-03
557	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
558	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
559	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
560	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
561	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
562	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-03
563	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
564	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
565	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
566	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-03
567	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
568	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
569	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
570	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-03
571	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
572	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
573	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
574	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
575	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
576	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
577	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
578	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
579	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
580	100 %	グラフの表示領域を 100 %に変更する (デフォルト)	○	V02-03
581	50 %	グラフの表示領域を 50 %に変更する	○	V02-03
582	20 %	グラフの表示領域を 20 %に変更する	○	V02-03
583	10 %	グラフの表示領域を 10 %に変更する	○	V02-03
584	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
585	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
586	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
587	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
588	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07

589		メニューリスト (Usage Rate)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
590		Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示	○	V02-03
591		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-03
592		コンテキストメニュー		○	V02-03
593		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
594		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウインドウ) を表示	○	V02-03
595		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウインドウ) を表示	○	V02-03
596		View Bar Graph	サブウインドウ (NIC History Bar Viewer ウインドウ) を表示	○	V02-03
597		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
598		NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V02-03
599		ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合 【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V02-03
600		NIC Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V02-03

601	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V02-03
602	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
603	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
604	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-03
605	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-03
606	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-03
607	Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
608	Window Width	Physical NIC Summary グラフと同じサイズで表示	○	V02-03
609	メニューリスト (Graph Data)		○	V02-03
610	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V02-03
611	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-03
612	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
613	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
614	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
615	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
616	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
617	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-03
618	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
619	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
620	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
621	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-03
622	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
623	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
624	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
625	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-03
626	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
627	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
628	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
629	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
630	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
631	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
632	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
633	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07

634		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
635		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
636		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V02-03
637		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V02-03
638		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V02-03
639		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V02-03
640		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
641		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
642		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
643		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
644		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
645		コンテキストメニュー		○	V02-03
646		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
647		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V02-03
648		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V02-03
649		View Bar Graph	サブウィンドウ (NIC History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V02-03
650		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03

651	HBA Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		○	V03-00/A
652	メニューリスト(Graph Style)		○	V03-00/A
653	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V03-00/A
654	Line	折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
655	Bar	棒グラフで表示	○	V03-00/A
656	メニューリスト(Graph Size)		○	V03-00/A
657	Auto Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V03-00/A
658	Fixed Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
659	Window Width	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行 1LPAR ずつ表示	○	V03-00/A
660	メニューリスト(Graph Data)		○	V03-00/A
661	HBA Port	HBA のポートごとに表示(デフォルト)	○	V03-00/A
662	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
663	メニューリスト(Legend)		○	V03-00/A
664	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V03-00/A
665	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
666	メニューリスト(Usage)		○	V03-00/A
667	Usage (Mbps)	HBA の使用量を表示(デフォルト)	○	V03-00/A
668	Usage Rate (%)	HBA の使用率を表示	○	V03-00/A
669	メニューリスト(Refresh Interval)		○	V03-00/A
670	1 sec	グラフ更新を1秒にする	○	V03-00/A
671	5 sec	グラフ更新を5秒にする(デフォルト)	○	V03-00/A
672	10 sec	グラフ更新を10秒にする	○	V03-00/A

673	Physical HBA Summary グラフ		○	V03-00/A
674	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
675	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
676	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
677	Bar	棒グラフで表示	○	V03-00/A
678	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
679	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
680	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
681	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
682	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
683	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
684	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
685	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
686	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
687	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
688	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
689	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
690	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
691	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
692	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
693	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
694	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
695	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
696	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
697	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
698	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
699	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
700	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
701	100 %	グラフの表示領域を 100 %に変更する	○	V03-00/A
702	50 %	グラフの表示領域を 50 %に変更する	○	V03-00/A
703	20 %	グラフの表示領域を 20 %に変更する	○	V03-00/A
704	10 %	グラフの表示領域を 10 %に変更する	○	V03-00/A
705	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
706	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
707	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
708	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
709	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07

710		メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	○	V03-00/A
711		ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
712		OFF	数値表示を無効にする	○	V03-00/A
713		メニューリスト (HBA Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ メニューリストに HBA Sort が加わる	○	V03-00/A
714		OFF	ソートしないでグラフ表示	○	V03-00/A
715		ON	HBA 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V03-00/A
716		Top 10	HBA 使用率が高い順に 10 項目をグラフ表示	○	V03-00/A
717		メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate (%) の場合のみ メニューリストに Usage Rate が加わる	○	V03-00/A
718		Total Base	Physical HBA Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
719		Port Base	Physical HBA Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト (Graph Style) が Line または Bar の場合 Port 基準で表示)	○	V03-00/A
720		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-00/A
721		コンテキストメニュー		○	V03-00/A
722		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
723		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical HBA Summary ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
724		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical HBA Summary ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
725		View Snap Data	サブウィンドウ (View Snap Data for Physical HBA Summary ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
726		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A

727	HBA Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	<p>【HBA Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する HBA Port を選択</p> <p>【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択</p>	○	V03-00/A
728	ALL チェックボックス	<p>■メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合</p> <p>【チェック】 すべての HBA Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての HBA Port チェックボックスからチェックを外す</p> <p>■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合</p> <p>【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す</p>	○	V03-00/A
729	HBA Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	<p>【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示</p> <p>【チェックなし】 グラフ表示しない</p>	○	V03-00/A

730	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V03-00/A
731	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
732	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
733	Line	折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
734	Bar	棒グラフで表示	○	V03-00/A
735	メニューリスト (Graph Size)		○	V03-00/A
736	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
737	Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
738	Window Width	Physical HBA Summary グラフと同じサイズで表示	○	V03-00/A
739	メニューリスト (Graph Data)		○	V03-00/A
740	HBA Port	HBA のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
741	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
742	メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	○	V03-00/A
743	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
744	OFF	数値表示を無効にする	○	V03-00/A
745	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
746	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
747	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A

748	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
749	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
750	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
751	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
752	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
753	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
754	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
755	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
756	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
757	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
758	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
759	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
760	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
761	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
762	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
763	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
764	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
765	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
766	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
767	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
768	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
769	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V03-00/A
770	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V03-00/A
771	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V03-00/A
772	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V03-00/A
773	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
774	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
775	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
776	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
777	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
778	コンテキストメニュー		○	V03-00/A
779	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
780	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
781	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
782	View Snap Data	サブウィンドウ (View Snap Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
783	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A

784	HBA Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		○	V03-00/A
785	メニューリスト(Graph Style)		○	V03-00/A
786	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V03-00/A
787	Line	折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
788	メニューリスト(Graph Size)		○	V03-00/A
789	Auto Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V03-00/A
790	Fixed Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
791	Window Width	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行 1LPAR ずつ表示	○	V03-00/A
792	メニューリスト(Graph Data)		○	V03-00/A
793	HBA Port	HBA のポートごとに表示(デフォルト)	○	V03-00/A
794	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
795	メニューリスト(Legend)		○	V03-00/A
796	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V03-00/A
797	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
798	メニューリスト(Usage)		○	V03-00/A
799	Usage (Mbps)	HBA の使用量を表示(デフォルト)	○	V03-00/A
800	Usage Rate (%)	HBA の使用率を表示	○	V03-00/A

801	Physical HBA Summary グラフ		○	V03-00/A
802	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
803	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
804	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
805	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
806	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
807	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
808	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
809	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
810	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
811	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
812	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
813	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
814	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
815	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
816	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
817	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
818	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
819	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
820	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
821	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
822	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
823	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
824	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
825	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
826	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
827	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
828	100 %	グラフの表示領域を 100 %に変更する	○	V03-00/A
829	50 %	グラフの表示領域を 50 %に変更する	○	V03-00/A
830	20 %	グラフの表示領域を 20 %に変更する	○	V03-00/A
831	10 %	グラフの表示領域を 10 %に変更する	○	V03-00/A
832	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
833	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
834	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
835	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
836	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07

837	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-00/A
838	コンテキストメニュー		○	V03-00/A
839	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
840	View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for Physical HBA Summary ウインドウ) を表示	○	V03-00/A
841	View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for Physical HBA Summary ウインドウ) を表示	○	V03-00/A
842	View Bar Graph	サブウインドウ (HBA History Bar Viewer ウインドウ) を表示	○	V03-00/A
843	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A
844	HBA Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【HBA Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する HBA Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V03-00/A
845	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合 【チェック】 すべての HBA Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての HBA Port チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V03-00/A
846	HBA Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V03-00/A

847	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V03-00/A
848	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
849	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
850	Line	折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
851	メニューリスト (Graph Size)		○	V03-00/A
852	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
853	Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
854	Window Width	Physical HBA Summary グラフと同じサイズで表示	○	V03-00/A
855	メニューリスト (Graph Data)		○	V03-00/A
856	HBA Port	HBA のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
857	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
858	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
859	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
860	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
861	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
862	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
863	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
864	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
865	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
866	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
867	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
868	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
869	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
870	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
871	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
872	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
873	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
874	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
875	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
876	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
877	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
878	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
879	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07

880		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
881		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
882		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V03-00/A
883		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V03-00/A
884		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V03-00/A
885		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V03-00/A
886		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
887		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
888		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
889		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
890		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
891		コンテキストメニュー		○	V03-00/A
892		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
893		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
894		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
895		View Bar Graph	サブウィンドウ (HBA History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A

896	CPU History Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		○	V01-00
897	メニューリスト (File)		○	V01-01
898	Log Management	Monitor Log Management ウィンドウを開く	○	V01-00
899	メニューリスト (Graph Style)		○	V01-01
900	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V01-00
901	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V01-00
902	メニューリスト (Graph Size)		○	V01-00
903	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V01-00
904	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	○	V01-00
905	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1 行 1LPAR ずつ表示	○	V01-00
906	メニューリスト (Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
907	Normal (Rate)	LPAR ごとにグラフ表示 (デフォルト)	○	V01-00
908	Group (Rate)	プロセッサグループごとにグラフ表示	○	V01-01
909	Normal (Core/Thread)	LPAR の CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V02-03
910	Group (Core/Thread)	プロセッサグループの CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V03-02
911	メニューリスト (Legend)		○	V01-00
912	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-00
913	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V01-00
914	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
915	ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
916	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V01-00
917	HVM Information フレーム		○	V01-00
918	HVM ID	HVM ID を表示	○	V01-00
919	HVM IP	HVM IP を表示	○	V01-00
920	I/O View フレーム		○	V02-00
921	NIC ボタン	NIC History Viewer ウィンドウを開く	○	V02-00
922	HBA ボタン	HBA History Viewer ウィンドウを開く	○	V03-00/A
923	Scroll Zoom フレーム		○	V01-00
924	Reset ボタン	グラフのズーム表示を解除	○	V01-00

925	History Setting フレーム		○	V01-00
926	Specific ラジオボタン	Specific: コンボボックスを入力可能にする (デフォルト)	○	V01-00
927	Specific コンボボックス	表示する日付、表示開始時刻、表示時間を指定	○	V01-01
928	Span ラジオボタン	Span: コンボボックスを入力可能にする	○	V01-00
929	Span コンボボックス	表示する期間を指定	○	V01-00
930	Graph View Type フレーム		○	V01-00
931	Interval ラジオボタン	サンプリング間隔で表示 (1 日間まで表示可能)	○	V01-00
932	5Minutes ラジオボタン	5 分平均データで表示 (31 日間まで表示可能)	○	V01-00
933	1Hour ラジオボタン	1 時間平均データで表示 (デフォルト)	○	V01-00
934	User ラジオボタン	ユーザ指定時間平均データで表示	○	V01-00
935	Show ボタン	設定した内容でグラフを表示	○	V01-00
936	Physical CPU Summary グラフ		○	V01-00
937	メニューリスト (Graph Style)		○	V01-01
938	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V01-00
939	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V01-00
940	メニューリスト (Usage Rate)		○	V02-02
941	System Base	全物理 CPU 基準で表示 (デフォルト)	○	V02-02
942	メニューリスト (Legend)		○	V01-00
943	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-00
944	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V01-00
945	メニューリスト (Insuff)		○	V01-01
946	ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
947	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V01-00
948	メニューリスト (Scale)		○	V02-03
949	100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
950	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-03
951	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-03
952	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-03
953	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
954	Scale Setting		○	V03-07
955	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
956	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
957	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07

958		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Core/Thread) 時	○	V02-03
959		256	グラフの表示領域を 256 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
960		128	グラフの表示領域を 128 に変更する	○	V02-03
961		64	グラフの表示領域を 64 に変更する	○	V02-03
962		32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
963		16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
964		8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
965		4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
966		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
967		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
968		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
969		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
970		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
971		グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V01-00
972		コンテキストメニュー		○	V01-00
973		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V01-00
974		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	○	V01-00
975		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	○	V01-00
976		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
977		View Bar Graph	サブウィンドウ (CPU History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V02-03
978		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-02
979		色の設定ウィンドウ		○	V02-02
980		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-02

981	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	<p>【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択</p> <p>【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択</p>	○	V01-01
982	ALL チェックボックス	<p>■メニューリストの Data Change が Normal の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す</p> <p>■メニューリストの Data Change が Group の場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す</p>	○	V01-01
983	LPAR チェックボックス nn (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group チェックボックス nn (メニューリストの Data Change が Group の場合))	<p>【チェックあり】 グラフ表示</p> <p>【チェックなし】 グラフ表示しない</p>	○	V01-01

984	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		○	V01-00
985	メニューリスト (Graph Style)		○	V01-01
986	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V01-00
987	Line	折れ線グラフで表示	○	V01-00
988	メニューリスト (Graph Size)		○	V01-00
989	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V01-00
990	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	○	V01-00
991	Window Width	Physical CPU Summary グラフと同じサイズで表示	○	V01-00
992	メニューリスト (Usage Rate)		○	V01-01
993	Resource Base	CPU リソース基準で表示 (デフォルト)	○	V02-02
994	System Base	全物理 CPU 基準で表示	○	V01-00
995	Service Rate Base	サービス率基準で表示	○	V01-00
996	メニューリスト (Legend)		○	V01-00
997	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-00
998	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V01-00
999	メニューリスト (Insuff)		○	V01-01
		条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)		
1000	ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
1001	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V01-00
1002	メニューリスト (Scale)		○	V02-03
		メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時		
1003	100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1004	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-03
1005	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-03
1006	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-03
1007	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1008	Scale Setting		○	V03-07
1009	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1010	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1011	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07

1012		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Core/Thread) 時	○	V02-03
1013		64	グラフの表示領域を 64 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1014		32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
1015		16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
1016		8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
1017		4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
1018		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1019		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1020		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1021		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1022		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1023		グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V01-00
1024		コンテキストメニュー		○	V01-00
1025		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V01-00
1026		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	○	V01-00
1027		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	○	V01-00
1028		View Bar Graph	サブウィンドウ (CPU History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V02-03
1029		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
1030		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-02
1031		色の設定ウィンドウ		○	V02-02
1032		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-02

1033	CPU History Bar Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		○	V02-03
1034	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
1035	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
1036	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-03
1037	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし 表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-03
1038	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
1039	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1 行 1LPAR ずつ表示	○	V02-03
1040	メニューリスト (Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わ る (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
1041	Normal (Rate)	LPAR ごとにグラフ表示 (デフォルト)	○	V02-03
1042	Group (Rate)	プロセッサグループごとにグラフ表示	○	V02-03
1043	Normal (Core/Thread)	LPAR の CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V02-03
1044	Group (Core/Thread)	プロセッサグループの CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V03-02
1045	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
1046	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1047	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
1048	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
1049	ON	CPU 不足率を表示	○	V02-03
1050	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V02-03
1051	HVM Information フレーム		○	V02-03
1052	HVM ID	HVM ID を表示	○	V02-03
1053	HVM IP	HVM IP を表示	○	V02-03
1054	Operation フレーム		○	V02-03
1055	Prev. ボタン	現在表示されている時間の一つ前のデータを表示する	○	V02-03
1056	Next ボタン	現在表示されている時間の一つ後のデータを表示する	○	V02-03
1057	スクロールバー	表示したい時間を選択する	○	V02-03
1058	Show ボタン	スクロールバーで選択した時間を表示する	○	V02-03
1059	Physical CPU Summary グラフ		○	V02-03
1060	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
1061	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
1062	メニューリスト (Usage Rate)		○	V02-03
1063	System Base	全物理 CPU 基準で表示 (デフォルト)	○	V02-03
1064	Resource Base	CPU リソース基準で表示	○	V02-03
1065	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
1066	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1067	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
1068	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
1069	ON	CPU 不足率を表示	○	V02-03
1070	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V02-03

1071		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
1072		100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1073		50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-03
1074		20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-03
1075		10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-03
1076		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1077		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1078		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1079		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1080		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1081		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Core/Thread) 時	○	V02-03
1082		256	グラフの表示領域を 256 に変更する	○	V02-03
1083		128	グラフの表示領域を 128 に変更する	○	V02-03
1084		64	グラフの表示領域を 64 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1085		32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
1086		16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
1087		8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
1088		4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
1089		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1090		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1091		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1092		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1093		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07

1094	メニューリスト (Sort)		○	V02-03
1095	OFF	ソートしないでグラフ表示 (デフォルト)	○	V02-03
1096	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	○	V02-03
1097	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
1098	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
1099	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
1100	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
1101	ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V02-03
1102	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	○	V02-03
1103	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
1104	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
1105	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
1106	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
1107	Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	○	V02-03
1108	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
1109	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
1110	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
1111	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
1112	メニューリスト (Value)		○	V02-03
1113	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1114	OFF	数値表示を無効にする	○	V02-03
1115	グラフ	【右クリック】コンテキストメニューを表示	○	V02-03
1116	コンテキストメニュー		○	V02-03
1117	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
1118	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-03
1119	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-03
1120	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
1121	レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-03
1122	色の設定ウィンドウ		○	V02-03
1123	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-03

1124	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場 合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択 【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択	○	V02-03
1125	ALL チェックボックス	■メニューリストの Data Change が Normal の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Data Change が Group の場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	○	V02-03
1126	LPAR チェックボックス nn (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group チェックボックス nn (メニューリストの Data Change が Group の場合))	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V02-03

1127	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		○	V02-03
1128	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
1129	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
1130	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-03
1131	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-03
1132	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
1133	Window Width	Physical CPU Summary グラフと同じサイズで表示	○	V02-03
1134	メニューリスト (Usage Rate)		○	V02-03
1135	Resource Base	CPU リソース基準で表示 (デフォルト)	○	V02-03
1136	System Base	全物理 CPU 基準で表示	○	V02-03
1137	Service Rate Base	サービス率基準で表示	○	V02-03
1138	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
1139	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1140	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
1141	メニューリスト (Insuff)		○	V02-03
		条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)		
1142	ON	CPU 不足率を表示	○	V02-03
1143	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V02-03
1144	メニューリスト (Scale)		○	V02-03
		メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時		
1145	100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1146	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-03
1147	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-03
1148	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-03
1149	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1150	Scale Setting		○	V03-07
1151	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1152	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1153	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07

1154		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Core/Thread) 時	○	V02-03
1155		64	グラフの表示領域を 64 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1156		32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
1157		16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
1158		8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
1159		4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
1160		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1161		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1162		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1163		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1164		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1165		メニューリスト (Value)		○	V02-03
1166		ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1167		OFF	数値表示を無効にする	○	V02-03
1168		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-03
1169		コンテキストメニュー		○	V02-03
1170		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
1171		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	○	V02-03
1172		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	○	V02-03
1173		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
1174		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-03
1175		色の設定ウィンドウ		○	V02-03
1176			[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]	○	V02-03

1177	NIC History Viewer[HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		○	V02-00
1178	メニューリスト (File)		○	V02-00
1179	Log Management	Monitor Log Management ウィンドウを開く	○	V02-00
1180	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-00
1181	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-00
1182	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-00
1183	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-00
1184	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-00
1185	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V02-00
1186	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1 行 1LPAR ずつ表示	○	V02-00
1187	メニューリスト (Graph Data)		○	V02-00
1188	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V02-00
1189	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-00
1190	メニューリスト (Legend)		○	V02-00
1191	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-00
1192	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-00
1193	メニューリスト (Usage)		○	V02-00
1194	Usage (Mbps)	NIC の使用量を表示 (デフォルト)	○	V02-00
1195	Usage Rate (%)	NIC の使用率を表示	○	V02-00
1196	HVM Information フレーム		○	V02-00
1197	HVM ID	HVM ID を表示	○	V02-00
1198	HVM IP	HVM IP を表示	○	V02-00
1199	Scroll Zoom フレーム		○	V02-00
1200	Reset ボタン	グラフのズーム表示を解除	○	V02-00
1201	History Setting フレーム		○	V02-00
1202	Specific ラジオボタン	Specific:コンボボックスを入力可能にする (デフォルト)	○	V02-00
1203	Specific コンボボックス	表示する日付、表示開始時刻、表示時間を指定	○	V02-00
1204	Span ラジオボタン	Span:コンボボックスを入力可能にする	○	V02-00
1205	Span コンボボックス	表示する期間を指定	○	V02-00
1206	Graph View Type フレーム		○	V02-00
1207	Interval ラジオボタン	サンプリング間隔で表示 (1 日間まで表示可能)	○	V02-00
1208	5Minutes ラジオボタン	5 分平均データで表示 (31 日間まで表示可能)	○	V02-00
1209	1Hour ラジオボタン	1 時間平均データで表示 (デフォルト)	○	V02-00
1210	User ラジオボタン	ユーザ指定時間平均データで表示	○	V02-00
1211	Show ボタン	設定した内容でグラフを表示	○	V02-00
1212	Physical NIC Summary グラフ		○	V02-00
1213	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-00
1214	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-00
1215	Line	NIC Port ごとに折れ線グラフで表示	○	V02-00
1216	メニューリスト (Legend)		○	V02-00
1217	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-00
1218	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-00

1219	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate(%) の場合のみ メニューリストに Usage Rate が加わる	○	V02-00
1220	Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	○	V02-00
1221	Port Base	Physical NIC Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト (Graph Style) が Line の場合に Port 基準 で表示)	○	V02-00
1222	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
1223	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォ ルト)	○	V02-03
1224	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-03
1225	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
1226	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
1227	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
1228	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-03
1229	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
1230	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
1231	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
1232	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-03
1233	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
1234	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
1235	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
1236	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1237	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1238	Scale テキストボッ クス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1239	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された 値に設定する	○	V03-07
1240	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じ る	○	V03-07
1241	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
1242	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォ ルト)	○	V02-03
1243	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V02-03
1244	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V02-03
1245	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V02-03
1246	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V02-03
1247	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1248	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1249	Scale テキストボッ クス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1250	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された 値に設定する	○	V03-07
1251	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じ る	○	V03-07

1252		グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-00
1253		コンテキストメニュー		○	V02-00
1254		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-00
1255		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウインドウ) を表示	○	V02-00
1256		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウインドウ) を表示	○	V02-00
1257		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
1258		View Bar Graph	サブウインドウ (NIC History Bar Viewer ウインドウ) を表示	○	V02-03

1259	NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V02-00
1260	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合 【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V02-00
1261	NIC Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V02-00
1262	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V02-00
1263	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-00
1264	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-00
1265	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-00
1266	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-00
1267	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウインドウサイズを チェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-00
1268	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V02-00
1269	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の 横幅サイズに合わせ、1 行 1LPAR ずつ表示	○	V02-00
1270	メニューリスト (Graph Data)		○	V02-00
1271	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V02-00
1272	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-00
1273	メニューリスト (Legend)		○	V02-00
1274	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-00
1275	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-00

1276	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
1277	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1278	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-03
1279	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
1280	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
1281	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
1282	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-03
1283	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
1284	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
1285	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
1286	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-03
1287	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
1288	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
1289	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
1290	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1291	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1292	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1293	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1294	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1295	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
1296	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1297	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V02-03
1298	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V02-03
1299	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V02-03
1300	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V02-03
1301	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1302	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1303	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1304	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1305	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1306	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-00
1307	コンテキストメニュー		○	V02-00
1308	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-00
1309	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V02-00
1310	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V02-00
1311	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
1312	View Bar Graph	サブウィンドウ (NIC History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V02-03

1313	NIC History Bar Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		○	V02-03
1314	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
1315	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
1316	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-03
1317	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-03
1318	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
1319	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1 行 1LPAR ずつ表示	○	V02-03
1320	メニューリスト (Graph Data)		○	V02-03
1321	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V02-03
1322	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-03
1323	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
1324	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1325	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
1326	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate (%) の場合のみ、メニューリストに Usage Rate が加わる	○	V02-03
1327	Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	○	V02-03
1328	Port Base	Physical NIC Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト (Graph Style) が Line の場合に Port 基準で表示)	○	V02-03
1329	HVM Information フレーム		○	V02-03
1330	HVM ID	HVM ID を表示	○	V02-03
1331	HVM IP	HVM IP を表示	○	V02-03
1332	Operation フレーム		○	V02-03
1333	Prev. ボタン	現在表示されている時間の一つ前のデータを表示する	○	V02-03
1334	Next ボタン	現在表示されている時間の一つ後のデータを表示する	○	V02-03
1335	スクロールバー	表示したい時間を選択する	○	V02-03
1336	Show ボタン	スクロールバーで選択した時間を表示する	○	V02-03
1337	Physical NIC Summary グラフ		○	V02-03
1338	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
1339	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
1340	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
1341	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1342	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03

1343		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
1344		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1345		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-03
1346		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
1347		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
1348		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
1349		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-03
1350		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
1351		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
1352		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
1353		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-03
1354		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
1355		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
1356		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
1357		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1358		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1359		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1360		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1361		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1362		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
1363		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1364		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V02-03
1365		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V02-03
1366		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V02-03
1367		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V02-03
1368		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1369		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1370		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1371		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1372		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1373		メニューリスト (Value)		○	V02-03
1374		ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1375		OFF	数値表示を無効にする	○	V02-03

1376		メニューリスト (NIC Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ メニューリストに NIC Sort が加わる	○	V02-03
1377		OFF	ソートしないでグラフ表示	○	V02-03
1378		ON	NIC 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V02-03
1379		Top 10	NIC 使用率が高い順に 10 項目をグラフ表示	○	V02-03
1380		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-03
1381		コンテキストメニュー		○	V02-03
1382		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
1383		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-03
1384		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-03
1385		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
1386		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-03
1387		色の設定ウィンドウ		○	V02-03
1388		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-03

1389	NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V02-03
1390	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合 【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V02-03
1391	NIC Port チェックボックス nn (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR チェックボックス nn (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V02-03
1392	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V02-03
1393	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
1394	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
1395	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-03
1396	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-03
1397	Fixed Size	Logical NIC グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
1398	Window Width	Physical NIC Summary グラフと同じサイズで表示	○	V02-03
1399	メニューリスト (Graph Data)		○	V02-03
1400	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V02-03
1401	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-03
1402	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
1403	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1404	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
1405	メニューリスト (Value)		○	V02-03
1406	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1407	OFF	数値表示を無効にする	○	V02-03

1408		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
1409		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1410		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-03
1411		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
1412		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
1413		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
1414		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-03
1415		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
1416		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
1417		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
1418		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-03
1419		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
1420		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
1421		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
1422		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1423		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1424		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1425		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1426		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1427		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
1428		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1429		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V02-03
1430		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V02-03
1431		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V02-03
1432		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V02-03
1433		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1434		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1435		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1436		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1437		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07

1438		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-03
1439		コンテキストメニュー		○	V02-03
1440		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
1441		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for NIC:xx Port:nn ウインドウ) を表示	○	V02-03
1442		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for NIC:xx Port:nn ウインドウ) を表示	○	V02-03
1443		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
1444		レジェンド	色の設定ウインドウの表示	○	V02-03
1445		色の設定ウインドウ		○	V02-03
1446		[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-03

1447	HBA History Viewer[HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		○	V03-00/A
1448	メニューリスト (File)		○	V03-00/A
1449	Log Management	Monitor Log Management ウィンドウを開く	○	V03-00/A
1450	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
1451	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1452	Line	折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
1453	メニューリスト (Graph Size)		○	V03-00/A
1454	Auto Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1455	Fixed Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
1456	Window Width	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1 行 1LPAR ずつ表示	○	V03-00/A
1457	メニューリスト (Graph Data)		○	V03-00/A
1458	HBA Port	HBA のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1459	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
1460	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
1461	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1462	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
1463	メニューリスト (Usage)		○	V03-00/A
1464	Usage (Mbps)	HBA の使用量を表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1465	Usage Rate (%)	HBA の使用率を表示	○	V03-00/A
1466	HVM Information フレーム		○	V03-00/A
1467	HVM ID	HVM ID を表示	○	V03-00/A
1468	HVM IP	HVM IP を表示	○	V03-00/A
1469	Scroll Zoom フレーム		○	V03-00/A
1470	Reset ボタン	グラフのズーム表示を解除	○	V03-00/A
1471	History Setting フレーム		○	V03-00/A
1472	Specific ラジオボタン	Specific:コンボボックスを入力可能にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1473	Specific コンボボックス	表示する日付、表示開始時刻、表示時間を指定	○	V03-00/A
1474	Span ラジオボタン	Span:コンボボックスを入力可能にする	○	V03-00/A
1475	Span コンボボックス	表示する期間を指定	○	V03-00/A
1476	Graph View Type フレーム		○	V03-00/A
1477	Interval ラジオボタン	サンプリング間隔で表示 (1 日間まで表示可能)	○	V03-00/A
1478	5Minutes ラジオボタン	5 分平均データで表示 (31 日間まで表示可能)	○	V03-00/A
1479	1Hour ラジオボタン	1 時間平均データで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1480	User ラジオボタン	ユーザ指定時間平均データで表示	○	V03-00/A
1481	Show ボタン	設定した内容でグラフを表示	○	V03-00/A
1482	Physical HBA Summary グラフ		○	V03-00/A
1483	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
1484	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1485	Line	HBA Port ごとに折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
1486	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
1487	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1488	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A

1489	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate(%) の場合のみ メニューリストに Usage Rate が加わる	○	V03-00/A
1490	Total Base	Physical HBA Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1491	Port Base	Physical HBA Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト (Graph Style) が Line の場合に Port 基準 で表示)	○	V03-00/A
1492	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
1493	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォ ルト)	○	V03-00/A
1494	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1495	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1496	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1497	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1498	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1499	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
1500	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1501	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
1502	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
1503	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
1504	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
1505	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
1506	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1507	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1508	Scale テキストボッ クス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1509	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された 値に設定する	○	V03-07
1510	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じ る	○	V03-07
1511	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
1512	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォ ルト)	○	V03-00/A
1513	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V03-00/A
1514	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V03-00/A
1515	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V03-00/A
1516	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V03-00/A
1517	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1518	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1519	Scale テキストボッ クス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1520	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された 値に設定する	○	V03-07
1521	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じ る	○	V03-07

1522		グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-00/A
1523		コンテキストメニュー		○	V03-00/A
1524		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
1525		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical HBA Summary ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1526		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical HBA Summary ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1527		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A
1528		View Bar Graph	サブウィンドウ (HBA History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A

1529	HBA Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【HBA Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する HBA Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V03-00/A
1530	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合 【チェック】 すべての HBA Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての HBA Port チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V03-00/A
1531	HBA Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V03-00/A
1532	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V03-00/A
1533	メニューリスト(Graph Style)		○	V03-00/A
1534	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V03-00/A
1535	Line	折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
1536	メニューリスト(Graph Size)		○	V03-00/A
1537	Auto Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V03-00/A
1538	Fixed Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
1539	Window Width	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1 行 1LPAR ずつ表示	○	V03-00/A
1540	メニューリスト(Graph Data)		○	V03-00/A
1541	HBA Port	HBA のポートごとに表示(デフォルト)	○	V03-00/A
1542	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
1543	メニューリスト(Legend)		○	V03-00/A
1544	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V03-00/A
1545	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A

1546	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
1547	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
1548	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1549	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1550	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1551	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1552	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1553	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
1554	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1555	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
1556	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
1557	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
1558	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
1559	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
1560	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1561	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1562	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1563	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1564	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1565	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
1566	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
1567	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V03-00/A
1568	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V03-00/A
1569	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V03-00/A
1570	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V03-00/A
1571	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1572	Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1573	Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1574	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1575	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1576	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-00/A
1577	コンテキストメニュー		○	V03-00/A
1578	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
1579	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1580	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1581	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A
1582	View Bar Graph	サブウィンドウ (HBA History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A

1583	HBA History Bar Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		○	V03-00/A
1584	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
1585	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1586	メニューリスト (Graph Size)		○	V03-00/A
1587	Auto Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1588	Fixed Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
1589	Window Width	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1 行 1LPAR ずつ表示	○	V03-00/A
1590	メニューリスト (Graph Data)		○	V03-00/A
1591	HBA Port	HBA のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1592	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
1593	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
1594	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1595	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
1596	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate (%) の場合のみ、メニューリストに Usage Rate が加わる	○	V03-00/A
1597	Total Base	Physical HBA Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1598	Port Base	Physical HBA Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト (Graph Style) が Line の場合に Port 基準で表示)	○	V03-00/A
1599	HVM Information フレーム		○	V03-00/A
1600	HVM ID	HVM ID を表示	○	V03-00/A
1601	HVM IP	HVM IP を表示	○	V03-00/A
1602	Operation フレーム		○	V03-00/A
1603	Prev. ボタン	現在表示されている時間の一つ前のデータを表示する	○	V03-00/A
1604	Next ボタン	現在表示されている時間の一つ後のデータを表示する	○	V03-00/A
1605	スクロールバー	表示したい時間を選択する	○	V03-00/A
1606	Show ボタン	スクロールバーで選択した時間を表示する	○	V03-00/A
1607	Physical HBA Summary グラフ		○	V03-00/A
1608	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
1609	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1610	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
1611	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1612	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A

1613		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
1614		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
1615		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1616		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1617		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1618		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1619		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1620		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
1621		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1622		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
1623		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
1624		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
1625		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
1626		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
1627		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1628		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1629		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1630		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1631		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1632		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
1633		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
1634		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V03-00/A
1635		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V03-00/A
1636		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V03-00/A
1637		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V03-00/A
1638		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1639		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1640		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1641		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1642		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1643		メニューリスト (Value)		○	V03-00/A
1644		ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1645		OFF	数値表示を無効にする	○	V03-00/A

1646		メニューリスト (HBA Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ メニューリストに HBA Sort が加わる	○	V03-00/A
1647		OFF	ソートしないでグラフ表示	○	V03-00/A
1648		ON	HBA 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V03-00/A
1649		Top 10	HBA 使用率が高い順に 10 項目をグラフ表示	○	V03-00/A
1650		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-00/A
1651		コンテキストメニュー		○	V03-00/A
1652		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
1653		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical HBA Summary ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1654		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical HBA Summary ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1655		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A
1656		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V03-00/A
1657		色の設定ウィンドウ		○	V03-00/A
1658		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-00/A

1659	HBA Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【HBA Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する HBA Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V03-00/A
1660	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合 【チェック】 すべての HBA Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての HBA Port チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V03-00/A
1661	HBA Port チェックボックス nn (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR チェックボックス n (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V03-00/A
1662	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V03-00/A
1663	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
1664	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1665	メニューリスト (Graph Size)		○	V03-00/A
1666	Auto Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1667	Fixed Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
1668	Window Width	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1 行 1LPAR ずつ表示	○	V03-00/A
1669	メニューリスト (Graph Data)		○	V03-00/A
1670	HBA Port	HBA のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1671	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
1672	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
1673	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1674	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
1675	メニューリスト (Value)		○	V03-00/A
1676	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1677	OFF	数値表示を無効にする	○	V03-00/A

1678		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
1679		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
1680		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1681		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1682		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1683		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1684		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1685		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
1686		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1687		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
1688		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
1689		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
1690		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
1691		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
1692		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1693		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1694		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1695		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1696		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07
1697		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
1698		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
1699		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V03-00/A
1700		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V03-00/A
1701		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V03-00/A
1702		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V03-00/A
1703		Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1704		Scale Setting	グラフの表示領域を入力値に変更する	○	V03-07
1705		Scale テキストボックス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1706		OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された値に設定する	○	V03-07
1707		Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-07

1708		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-00/A
1709		コンテキストメニュー		○	V03-00/A
1710		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
1711		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1712		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1713		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A
1714		レジェンド	色の設定ウインドウの表示	○	V03-00/A
1715		色の設定ウインドウ		○	V03-00/A
1716		[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-00/A

1717	Monitor Log Management ウィンドウ		○	V01-00
1718	HVM ツリービュー	HVM をリスト表示	○	V01-00
1719	Date Setting フレーム	設定機能の適応期間を指定 (Manual Backup タブ、Export CSV タブ、または History Clear タブを選択した場合のみ設定可能)	○	V01-00
1720	ALL ラジオボタン	すべての日付が対象	○	V01-00
1721	Specific ラジオボタン	Specific: コンボボックスを入力可能にする	○	V01-00
1722	Specific コンボボックス	指定した日付のみ対象	○	V01-00
1723	Span ラジオボタン	Span: コンボボックスを入力可能にする	○	V01-00
1724	Span コンボボックス	範囲指定した期間のみ対象	○	V01-00
1725	Operation フレーム (Log Setting タブ)		○	V01-00
1726	History Log Setting フレーム		○	V01-00
1727	テキストボックス	履歴情報ログ出力先フォルダを表示	○	V01-00
1728	Select ボタン	履歴情報ログ出力先フォルダを指定 サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	○	V01-00
1729	フォルダの参照ウィンドウ		○	V01-00
1730	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00
1731	Enable Auto Clear チェックボックス	【チェックあり】 履歴情報ログ Interval ログの自動削除機能を有効にする 【チェックなし】 履歴情報ログ Interval ログの自動削除機能を無効にする	○	V01-00
1732	Date keep Days テキストボックス	履歴情報ログ Interval ログを残しておく日数を指定 (1~100) デフォルト設定は 1 日	○	V01-00
1733	ALL ラジオボタン	すべての集計時間の履歴情報ログを削除対象とする	○	V03-00/A
1734	Interval ラジオボタン	Interval で設定した履歴情報ログのみを削除対象とする	○	V03-00/A
1735	Auto Average History Log フレーム		○	V01-01
1736	Enable Auto Average History Log チェックボックス	【チェックあり】 履歴情報ログの自動平均を有効にしてデータ採取 【チェックなし】 履歴情報ログの自動平均を無効にしてデータ採取	○	V01-00
1737	Setting Time For Average コンボボックス	自動平均する時間間隔を選択 デフォルト設定は 5s	○	V01-00
1738	Monitoring Mode フレーム		○	V03-00/A
1739	HvmShMode ラジオボタン	サンプリング時に HvmSh.exe を使用	○	V03-00/A
1740	HvmGetPerfMode ラジオボタン	サンプリング時に HvmGetPerf.exe を使用	○	V03-00/A
1741	Save ボタン	設定した内容を保存	×	V02-00

1742	Operation フレーム (Auto Backup Setting タブ)		○	V03-00/A
1743	Auto Backup History Log フレーム		○	V03-00/A
1744	Enable Auto Backup チェックボックス	【チェックあり】 履歴情報ログの自動バックアップ機能を有効にする 【チェックなし】 履歴情報ログの自動バックアップ機能を無効にする	○	V03-00/A
1745	Auto Backup Start Time コンボボックス	自動バックアップ機能の開始時間を指定	○	V03-00/A
1746	Auto Backup Folder Selection フレーム		○	V03-00/A
1747	テキストボックス	履歴情報ログのバックアップファイル出力先を表示	○	V03-00/A
1748	Select ボタン	バックアップファイル出力先フォルダを指定 サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	○	V03-00/A
1749	フォルダの参照ウィンドウ		○	V03-00/A
1750	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-00/A
1751	Auto Backup Detail Setting フレーム		○	V03-00/A
1752	Target Days テキストボックス	バックアップ対象の日数を指定	○	V03-00/A
1753	CPU チェックボックス	【チェックあり】 CPU の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 CPU の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1754	NIC チェックボックス	【チェックあり】 NIC の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 NIC の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1755	HBA チェックボックス	【チェックあり】 HBA の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 HBA の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1756	Interval チェックボックス	【チェックあり】 Interval の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 Interval の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1757	5Minutes チェックボックス	【チェックあり】 5Minutes の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 5Minutes の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1758	1Hour チェックボックス	【チェックあり】 1Hour の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 1Hour の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1759	User チェックボックス	【チェックあり】 User の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 User の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A

1760					File Format フレーム	○	V03-00/A
1761					Format1 ラジオボタン	履歴情報を従来どおりの形式でバックアップする	○ V03-00/A
1762					Format2 ラジオボタン	履歴情報をカスタマイズした形式でバックアップする ※この形式で、履歴情報のグラフ表示はできません	○ V03-00/A
1763					Format2 Setting フレーム (Format2 を選択した場合のみ設定可能)		○ V03-00/A
1764					Log Start Time コンボボックス	バックアップする履歴情報の開始時間を指定	○ V03-00/A
1765					Log Time コンボボックス	履歴情報の開始時間から 何時間分バックアップするか指定	○ V03-00/A
1766					Different file at each date ボタン	履歴情報を日付フォルダごとにバックアップする ※従来どおりの形でバックアップする	○ V03-00/A
1767					All data to One File ボタン	履歴情報を実行日フォルダに種類ごとに 1 ファイルでバックアップする ※1 ファイルでバックアップするため、ファイルサイズが大きくなる可能性があります。	○ V03-00/A
1768					File Name フレーム		○ V03-00/A
1769					Extended Name テキストボックス	ファイル名に付加する名前を設定する	○ V03-00/A
1770					Check File Name ボタン	バックアップされるファイル名一覧を表示する	○ V03-00/A
1771					Output Contents フレーム		○ V03-00/A
1772					Record Seconds チェックボックス	【チェックあり】 バックアップする履歴情報で秒の書き込みを行う 【チェックなし】 バックアップする履歴情報で秒の書き込みを行わない (Interval と User の場合 チェックなしでも秒の書き込みを行う)	○ V03-00/A
1773					Add Column Header チェックボックス	【チェックあり】 バックアップする履歴情報に カラムヘッダ情報の書き込みを行う 【チェックなし】 バックアップする履歴情報に カラムヘッダ情報の書き込みを行わない	○ V03-00/A
1774					Save ボタン	設定した内容を保存	× V03-00/A

1775	Operation フレーム (Manual BackUp タブ)		○	V01-00
1776	BackUp Folder Selection フレーム		○	V01-00
1777	テキストボックス	履歴情報ログ出力先フォルダを表示	○	V01-00
1778	Select ボタン	履歴情報ログ出力先フォルダを指定	○	V01-00
1779	Manual Backup Detail Setting フレーム		○	V01-00
1780	CPU チェックボックス	【チェックあり】CPU の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】CPU の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1781	NIC チェックボックス	【チェックあり】NIC の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】NIC の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1782	HBA チェックボックス	【チェックあり】HBA の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】HBA の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1783	Interval チェックボックス	【チェックあり】Interval の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】Interval の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1784	5Minutes チェックボックス	【チェックあり】5Minutes の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】5Minutes の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1785	1Hour チェックボックス	【チェックあり】1Hour の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】1Hour の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1786	User チェックボックス	【チェックあり】User の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】User の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1787	File Format フレーム		○	V03-00/A
1788	Format1 ラジオ ボタン	履歴情報を従来どおりの形式でバックアップする	○	V03-00/A
1789	Format2 ラジオ ボタン	履歴情報をカスタマイズした形式でバックアップする ※この形式で、履歴情報のグラフ表示はできません	○	V03-00/A
1790	Format2 Setting フレーム (Format2 を選択した場合のみ設定可能)		○	V03-00/A
1791	Log Start Time コンボボッ クス	バックアップする履歴情報の開始時間を指定	○	V03-00/A
1792	Log Time コンボボッ クス	履歴情報の開始時間から何時間分バックアップするか指定	○	V03-00/A
1793	Different file at each date ラジオボタ ン	履歴情報を日付フォルダごとにバックアップする ※従来どおりの形でバックアップする	○	V03-00/A
1794	All data to One File ラジオボタ ン	履歴情報を実行日フォルダに種類ごとに 1 ファイルでバックアップする ※1 ファイルでバックアップするため ファイルサイズが大きくなる可能性がある	○	V03-00/A

1795					File Name フレーム	○	V03-00/A
1796					Extended Name テキストボックス	○	V03-00/A
1797					Check File Name ボタン	○	V03-00/A
1798					Output Contents フレーム	○	V03-00/A
1799					Record Seconds チェックボックス	○	V03-00/A
					【チェックあり】 バックアップする履歴情報で秒の書き込みを行う 【チェックなし】 バックアップする履歴情報で秒の書き込みを行わ ない (Interval と User の場合 チェックなしでも秒の書き込みを行う)		
1800					Add Column Header チェックボックス	○	V03-00/A
					【チェックあり】 バックアップする履歴情報に カラムヘッダの書き込みを行う 【チェックなし】 バックアップする履歴情報に カラムヘッダの書き込みを行わない		
1801					Execute ボタン	○	V01-00

1802	Operation フレーム (Export CSV タブ)		○	V01-00
1803	Export Folder Selection フレーム		○	V01-00
1804	テキストボックス	CSV ファイル出力先フォルダを表示	○	V01-00
1805	Select ボタン	バックアップファイル出力先フォルダを指定 サブウインドウ(フォルダの参照ウインドウ)を開く	○	V01-00
1806	フォルダの参照ウインドウ		○	V01-00
1807	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00
1808	Output Unit Setting フレーム		○	V01-00
1809	All data to One File. ボタン	全データを 1 つのファイルに出力(デフォルト)	○	V01-00
1810	Different file at each date. ボタン	日付ごとにファイルに出力	○	V01-00
1811	Output Target Selection フレーム		○	V01-00
1812	コンボボックス	出力するデータのリソース種を選択	○	V02-02
1813	Interval ラジオボタン	収集した履歴情報ログの出力を指定	○	V01-00
1814	5Minutes ラジオボタン	履歴情報ログの 5 分平均データの出力を指定	○	V01-00
1815	1Hour ラジオボタン	履歴情報ログの 1 時間平均データの出力を指定	○	V01-00
1816	User ラジオボタン	履歴情報ログのユーザ指定時間平均データの出力を指定	○	V01-00
1817	Execute ボタン	設定した内容で実行	○	V01-00
1818	Operation フレーム (History Clear タブ)		○	V01-00
1819	Clear Target Selection フレーム		○	V01-00
1820	ALL ラジオボタン	すべての集計時間の履歴情報ログを対象とする	○	V01-00
1821	Interval ラジオボタン	Interval で設定した履歴情報ログを削除対象とする	○	V01-00
1822	Execute ボタン	設定した内容で実行	×	V01-00
1823	Close ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V01-00

1824	Monitor Threshold Management ウィンドウ		○	V01-00
1825	HVM ツリービュー	HVM をリスト表示	○	V01-00
1826	Operation フレーム (Threshold Setting タブ)		○	V01-00
1827	Threshold Monitoring フレーム	Auto Average History Log が有効時しきい値監視を行う	○	V01-00
1828	Enable Threshold Monitoring チェックボックス	【チェックあり】 しきい値設定を有効にする 【チェックなし】 しきい値設定を無効にする	○	V01-00
1829	Setting Time For Average コンボボックス	自動平均する時間間隔(しきい値監視時間間隔)を選択 デフォルト設定は 5s	○	V01-01
1830	Threshold Mode フレーム		○	V01-01
1831	One Threshold Mode ラジオボタン	しきい値を 1 つ設定	○	V01-00
1832	Two Threshold Mode ラジオボタン	しきい値を 2 つ設定 (デフォルト)	○	V01-00
1833	Threshold Count (1-100) テキストボックス	しきい値超過回数を入力 デフォルト設定は 1	○	V01-00
1834	Save ボタン	設定を保存	×	V02-00
1835	Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ)		○	V01-01
1836	Physical CPU Threshold Setting フレーム		○	V01-01
1837	Caution (1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)	物理 CPU 使用率の注意しきい値を入力 (Two Threshold Mode のみ設定可能) デフォルト設定は 80	○	V01-00
1838	Error (1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)	物理 CPU 使用率のエラーしきい値を入力 デフォルト設定は 95	○	V01-00
1839	ON チェックボックス (Physical CPU Threshold)	【チェックあり】 物理 CPU 使用率のしきい値設定を有効にする 【チェックなし】 物理 CPU 使用率のしきい値設定を無効にする	○	V01-00
1840	Caution (1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))	物理 CPU 不足率の注意しきい値を入力 (Monitoring Mode が HvmShMode であり Two Threshold Mode のみ設定可能) デフォルト設定は 160	○	V01-00
1841	Error (1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))	物理 CPU 不足率のエラーしきい値を入力 (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能) デフォルト設定は 190	○	V01-00
1842	ON チェックボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))	【チェックあり】 物理 CPU 不足率のしきい値設定を有効にする 【チェックなし】 物理 CPU 不足率のしきい値設定を無効にする (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)	○	V01-00
1843	Save ボタン	設定を保存	×	V01-00

1844	Operation フレーム (LPAR Threshold タブ)		○	V01-01
1845	LPAR Threshold Setting フレーム		○	V01-01
1846	LPAR Threshold フレーム		○	V01-00
1847	ALL チェックボックス	<p>【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける</p> <p>【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す</p>	○	V01-00
1848	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60)	<p>【チェックあり】 しきい値設定の対象になる</p> <p>【チェックなし】 しきい値設定の対象から外れる</p>	○	V01-00
1849	Resource Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (CPU リソース基準) にしきい値を設定	○	V02-02
1850	System Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) にしきい値を設定	○	V01-00
1851	Insuff ON チェックボックス	<p>論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) 率にしきい値を設定</p> <p>(Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)</p>	○	V01-00
1852	All Setting Mode チェックボックス	<p>【チェックあり】 下のリストに ALL を表示</p>	○	V01-00
1853	リスト (※ALL でしきい値設定をすると、すべての LPAR に適用される)		○	V01-00
1854	LPAR#列ラベル	LPAR 番号を表示	○	V01-00
1855	ON 列チェックボックス	<p>【チェックあり】 しきい値設定モードにする</p> <p>【チェックなし】 しきい値設定モードを解除</p>	○	V01-00
1856	Resource Caution(1-100) 列 テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (CPU リソース基準) の注意値を設定</p> <p>デフォルト設定は 80</p>	○	V02-02
1857	Resource Error (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (CPU リソース基準) のエラー値を設定</p> <p>デフォルト設定は 95</p>	○	V02-02
1858	System Caution(1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定</p> <p>デフォルト設定は 80</p>	○	V01-00
1859	System Error (1-100) 列 テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定</p> <p>デフォルト設定は 95</p>	○	V01-00
1860	Insuff Caution(1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定</p> <p>(Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)</p> <p>デフォルト設定は 80</p>	○	V01-00
1861	Insuff Error (1-100) 列 テキストボックス	<p>論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定</p> <p>(Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)</p> <p>デフォルト設定は 95</p>	○	V01-00
1862	Save ボタン	設定を保存	×	V01-00

1863	Operation フレーム (Group Threshold タブ)		○	V01-01
1864	Group Threshold Setting フレーム		○	V01-01
1865	Group Threshold フレーム		○	V01-01
1866	ALL チェックボックス	<p>【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける</p> <p>【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す</p>	○	V01-01
1867	Group チェックボックス nn (nn=00~59)	<p>【チェックあり】 しきい値設定の対象になる</p> <p>【チェックなし】 しきい値設定の対象から外れる</p>	○	V01-01
1868	Group Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (サービス率基準) にしきい値を設定	○	V01-01
1869	System Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) にしきい値を設定	○	V01-01
1870	Insuff ON チェックボックス	論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) 率にしきい値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)	○	V01-01
1871	All Setting Mode チェックボックス	<p>【チェックあり】 下のリストに ALL を表示</p>	○	V01-01
1872	リスト (※ALL でしきい値設定をすると、すべての LPAR に適用される)		○	V01-01
1873	ON 列チェックボックス	<p>【チェックあり】 しきい値設定モードにする</p> <p>【チェックなし】 しきい値設定モードを解除</p>	○	V01-01
1874	Group Caution (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (サービス率基準) の注意値を設定 デフォルト設定は 80</p>	○	V01-01
1875	Group Error (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (サービス率基準) のエラー値を設定 デフォルト設定は 95</p>	○	V01-01
1876	System Caution (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定 デフォルト設定は 80</p>	○	V01-01
1877	System Error (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定 デフォルト設定は 95</p>	○	V01-01
1878	Insuff Caution (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能) デフォルト設定は 80</p>	○	V01-01
1879	Insuff Error (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定 (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能) デフォルト設定は 95</p>	○	V01-01
1880	Save ボタン	設定を保存	×	V01-01

1881	Operation フレーム (Mail タブ)		○	V01-01
1882	Mail Report フレーム		○	V01-00
1883	Enable Mail Report チェックボックス	【チェックあり】 メール通報を有効にする 【チェックなし】 メール通報を無効にする	○	V01-00
1884	Mail Setting フレーム		○	V01-00
1885	Reported Mail Address テキストボックス	通報メール送信先のメールアドレスを入力	○	V01-00
1886	Mail Account テキストボックス	通報メール送信先のメールアドレスのユーザアカウントを入力	○	V01-00
1887	Mail Password チェックボックス	【チェックあり】 Mail Password テキストボックスの有効化 【チェックなし】 Mail Password テキストボックスの無効化	○	V01-01
1888	Mail Password テキストボックス	通報メール送信先のメールアドレスのパスワードを入力	○	V01-00
1889	Mail Server IP Address テキストボックス	メールサーバの IP アドレスを入力 デフォルト設定は 0.0.0.0	○	V01-00
1890	Mail Server Port テキストボックス	メールサーバのポートを入力 デフォルト設定は 0	○	V01-00
1891	Mail Test ボタン	サブウィンドウ (Test Mail Sending ウィンドウを開く) (以下の 5 項目を入力するとクリック可能になる Reported Mail Address テキストボックス、 Mail Account: テキストボックス、 Mail Password: テキストボックス、 Mail Server IP Address: テキストボックス、 Mail Server Port テキストボックス)	×	V01-00
1892	Test Mail Sending ウィンドウ		×	V01-00
1893	OK ボタン	テストメールを送信	×	V01-00
1894	キャンセルボタン	テストメールの送信を取り止める	×	V01-00
1895	Mail sending success ウィンドウ		×	V01-00
1896	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V01-00
1897	Save ボタン	メール設定を保存 以下の項目を入力すると、クリック可能になる (1) Reported Mail Address テキストボックス (2) Mail Account テキストボックス (3) Mail Password テキストボックス (4) Mail Server IP Address テキストボックス (5) Mail Server Port テキストボックス	×	V02-00
1898	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

1899	CPU Realtime Viewer[Multi]ウィンドウ		○	V01-00
1900	ツリービュー	グラフ表示する HVM を選択	○	V01-00
1901	メニューリスト(Graph Style)		○	V01-01
1902	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V01-00
1903	Line	折れ線グラフで表示	○	V01-00
1904	Bar	棒グラフで表示	○	V01-01
1905	メニューリスト (Graph Size)	Graph Style が Bar 以外の場合のみ メニューリストに Graph Size が加わる	○	V01-00
1906	Auto Size	Physical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし 表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V01-00
1907	Window Width	Physical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合 わせ 1 行 1LPAR ずつ表示	○	V01-00
1908	メニューリスト(Legend)		○	V01-00
1909	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする	○	V01-00
1910	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする(デフォルト)	○	V01-00
1911	メニューリスト (Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が 加わる (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照くださ い)	○	V01-01
1912	Normal	LPAR ごとにグラフ表示(デフォルト)	○	V01-00
1913	Group	プロセッサグループごとにグラフ表示	○	V01-01
1914	メニューリスト(Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照くださ い)	○	V01-01
1915	ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
1916	OFF	CPU 不足率を非表示(デフォルト)	○	V01-00
1917	メニューリスト(Refresh Interval)		○	V01-00
1918	1 sec	グラフ更新を 1 秒にする	○	V01-00
1919	5 sec	グラフ更新を 5 秒にする(デフォルト)	○	V01-00
1920	10 sec	グラフ更新を 10 秒にする	○	V01-00
1921	メニューリスト(Scale)	Graph Style が Bar の場合のみメニューリストに Scale が 加わる	○	V01-01
1922	100	グラフの表示領域を 100 に変更する(デフォルト)	○	V01-01
1923	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V01-01
1924	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V01-01
1925	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V01-01
1926	Input	Scale Setting ウィンドウを表示する	○	V03-07
1927	Scale Setting		○	V03-07
1928	Scale テキストボク ス	グラフの表示領域の値を入力する	○	V03-07
1929	OK ボタン	グラフの表示領域を Scale テキストボックスに入力された 値に設定する	○	V03-07
1930	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Scale Setting ウィンドウを閉じ る	○	V03-07

1931	メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみメニューリストに Value が加わる	○	V01-01
1932	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-01
1933	OFF	数値表示を無効にする	○	V01-01
1934	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V01-00
1935	コンテキストメニュー		○	V01-00
1936	View Detail	HVM Monitor RT Viewer[HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウを表示	○	V01-00

表 5-1 モニタリング条件

条件	内容
0	BS1000 であること
1	Monitoring Mode が HvmShMode であること
2	BS2000 : HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM が表示対象 BS320 : HVM バージョン 17-6x 以降の HVM が表示対象 BS500 : すべての HVM バージョンが表示対象 BS2500 : すべての HVM バージョンが表示対象
3	BS2000 : HVM バージョン 57-3x、78-1x 以降の HVM が表示対象 BS320 : HVM バージョン 17-4x 以降の HVM が表示対象 BS500 : すべての HVM バージョンが表示対象 BS2500 : すべての HVM バージョンが表示対象
4	BS2000 : HVM バージョン 58-7x、78-7x 以降の HVM が表示対象 BS320 : HVM バージョン 17-8x 以降の HVM が表示対象 BS500 : すべての HVM バージョンが表示対象 BS2500 : すべての HVM バージョンが表示対象

6 構成ビューア

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/ 変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (Viewer タブ)		○	V01-00
2	System List フレーム		○	V01-00
3	コンボボックス	ビューア対象のシステム構成を選択 All configuration (デフォルト) 選択したシステムの構成は System Configuration フレーム内のツリービューに表示	○	V01-00
4	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタン になる)	【Update ボタンをクリックした場合】 選択したシステムに登録されている HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	○	V01-00
5	System Configuration フレーム		○	V01-00
6	ツリービュー	詳細情報を表示する項目 (Chassis、HVM) を選択 (選択した項目の詳細情報はリストに表示)	○	V01-00
7	リスト	ツリービューで選択した項目の詳細情報を表示	○	V01-00
8	Edit ボタン	System Edit ウィンドウを開く	×	V01-00
9	Config List ボタン	System Configuration List ウィンドウを開く	○	V01-00
10	Config View ボタン	System Configuration Image ウィンドウを開く	○	V01-00
11	System Edit ウィンドウ		×	V01-00
12	System Select フレーム		×	V01-00
13	All System 側 ツリービュー	登録されている HVM を表示 編集中のシステム構成に加えるシャーシ、HVM を選択	×	V01-00
14	> ボタン	All System 側で選択したシャーシ、HVM を選択した システム構成に加える	×	V01-00
15	< ボタン	Selected System 側で選択したシャーシ、HVM を選択した システム構成から取り除く	×	V01-00
16	Selected System 側 コンボボックス	編集するシステム構成を選択 【編集中のシステム構成がある場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	×	V01-00
17	Confirmation ウィンドウ		×	V01-00
18	OK ボタン	[編集中のシステム構成の内容を保存せずに 新しいシステム構成を選択]	×	V01-00
19	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V01-00
20	New ボタン	【編集中のシステム構成がない場合】 サブウィンドウ (New System ウィンドウ) を開く 【編集中のシステム構成がある場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	×	V01-00

21		New System ウィンドウ	×	V01-00
22		テキストボックス 作成するシステム構成の名前を入力	×	V01-00
23		OK ボタン システム構成をテキストボックスに入力した名前で作成	×	V01-00
24		Cancel ボタン システム構成の作成を取り止める	×	V01-00
25		Confirmation ウィンドウ	×	V01-00
26		OK ボタン サブウィンドウ (New System ウィンドウ) を開く [編集中のシステム構成を保存せずに新しいシステム構成を作成]	×	V01-00
27		キャンセルボタン 本ウィンドウを閉じる	×	V01-00
28		Delete ボタン [Selected System 側コンボボックスでシステムが選択されている場合に活性化する] 編集中のシステム構成を消去 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	×	V01-00
29		Confirmation ウィンドウ	×	V01-00
30		OK ボタン システム構成の消去を実行	×	V01-00
31		キャンセルボタン システム構成の消去を取り止める	×	V01-00
32		Selected System 側ツリービュー 編集中のシステム構成から取り除くシャーシ、HVM を選択 >ボタン、<ボタンでシステム構成を編集可能	×	V01-00
33		Save As ボタン サブウィンドウ (Save As ウィンドウ) を開く	×	V01-00
34		Save As ウィンドウ	×	V01-00
35		テキストボックス 編集中のシステム構成の新しい名前を入力	×	V01-00
36		OK ボタン システム構成をテキストボックスに入力した名前で保存	×	V01-00
37		Cancel ボタン システム構成の保存を取り止める	×	V01-00
38		Save ボタン 編集中のシステム構成を保存	×	V01-00
39		Config List ボタン System Configuration List ウィンドウを開く	×	V01-00
40		Config View ボタン System Configuration Image ウィンドウを開く	×	V01-00
41		Close ボタン 【編集中のシステム構成がない場合】 本ウィンドウを閉じる 【編集中のシステム構成がある場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	×	V01-00
42		Confirmation ウィンドウ	×	V01-00
43		OK ボタン [編集中のシステム構成を保存せずに System Edit ウィンドウと本ウィンドウを閉じる]	×	V01-00
44		キャンセルボタン 本ウィンドウを閉じる	×	V01-00

45	System Configuration List ウィンドウ			参照 (※1)	V01-00
46	ツリービュー	HVM List に表示する項目を選択 (選択した項目の詳細情報は HVM List リストに表示)		○	V01-00
47	Item Selection フレーム			○	V01-00
48	コンボボックス	詳細情報を表示する項目の種類を選択			
		No.	項目	種類	サポート (※)
		1	HVM	物理構成情報	V01-00
		2	LPAR	論理構成情報	V01-00
		3	IP	IP アドレス情報	未サポート
		4	Firmware Version	ファームウェアバージョン情報	未サポート
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています					
選択した種類に応じて、以下のチェックボックスが表示される					
49	コンボボックスの選択が “HVM” の場合 (デフォルト)				
50	詳細情報を表示する項目にチェックをつける				
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	
	1	ALL	以下全項目	V01-00	
	2	Config	物理サーバ情報	V01-00	
	3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00	
	4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00	
	5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01	
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています					
51	コンボボックスの選択が “LPAR” の場合				
52	詳細情報を表示する項目にチェックをつける				
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	
	1	ALL	以下全項目	V01-00	
	2	Config	論理サーバ情報	V01-00	
	3	Logical NIC	論理 NIC 情報	V01-00	
	4	Logical HBA	論理 HBA 情報	V01-00	
	5	USB	USB 情報	未サポート	
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています					

53	コンボボックスの選択が“IP”の場合																											
54	現在、Show List ボタンのクリック不可(ウインドウ表示不可)																											
	<table><tr><td>No.</td><td>チェックボックス名</td><td>内容</td><td>サポート (※)</td></tr><tr><td>1</td><td>ALL</td><td>以下全項目</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>2</td><td>HVM</td><td>HVM の IP アドレス</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>3</td><td>LPAR</td><td>LPAR の IP アドレス</td><td>未サポート</td></tr></table>				No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	未サポート	2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート	3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート								
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
	1	ALL	以下全項目	未サポート																								
	2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート																								
3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート																									
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています																												
55	コンボボックスの選択が“Firmware Version”の場合																											
56	現在、Show List ボタンのクリック不可(ウインドウ表示不可)																											
	<table><tr><td>No.</td><td>チェックボックス名</td><td>内容</td><td>サポート (※)</td></tr><tr><td>1</td><td>ALL</td><td>以下全項目</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>2</td><td>PCI</td><td>PCI カードのファームウェアバージョン</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>3</td><td>Blade</td><td>サーバのファームウェアバージョン</td><td>未サポート</td></tr></table>				No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	未サポート	2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート	3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート								
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
	1	ALL	以下全項目	未サポート																								
	2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート																								
3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート																									
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています																												
57	Show List ボタン	コンボボックスで選択された種類について、構成情報を表示する	○	V01-00																								
58	HVM List リスト	HVM 固有情報を表示	○	V01-00																								
59	Sort Reset ボタン	HVM List リストに表示された行の並びを初期表示に戻す	○	V01-00																								
60	Export ボタン	Export CSV ウィンドウを表示	○	V01-00																								
61	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00																								
62	Export CSV ウィンドウ			○	V01-00																							
63	以下チェックボックス(HVM、LPAR、IP、およびFirmware Version フレーム内)にチェックをつけた項目の詳細情報が CSV ファイルに出力される			○	V01-00																							
64	ALLCheck チェックボックス	チェックをつけると、以下のチェックボックス(HVM、LPAR、IP およびFirmware Version フレーム内)にチェックをつける チェックを外すと、以下のチェックボックスからチェックを外す	○	V01-00																								
65	HVM フレーム			○	V01-00																							
66	<table><tr><td>No.</td><td>チェックボックス名</td><td>内容</td><td>サポート (※)</td></tr><tr><td>1</td><td>ALL</td><td>以下全項目</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>2</td><td>Config</td><td>構成情報</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>3</td><td>Physical NIC</td><td>物理 NIC 情報</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>4</td><td>Physical HBA</td><td>物理 HBA 情報</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>5</td><td>Physical CPU</td><td>物理 CPU 情報</td><td>V01-01</td></tr></table>				No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	V01-00	2	Config	構成情報	V01-00	3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00	4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00	5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
	1	ALL	以下全項目	V01-00																								
	2	Config	構成情報	V01-00																								
	3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00																								
	4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00																								
	5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01																								
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています																												

67	LPAR フレーム			○	V01-00																							
68	<table><tr><td>No.</td><td>チェックボックス名</td><td>内容</td><td>サポート (※)</td></tr><tr><td>1</td><td>ALL</td><td>以下全項目</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>2</td><td>Config</td><td>論理サーバ情報</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>3</td><td>Logical NIC</td><td>論理 NIC 情報</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>4</td><td>Logical HBA</td><td>論理 HBA 情報</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>5</td><td>USB</td><td>USB 情報</td><td>未サポート</td></tr></table>				No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	V01-00	2	Config	論理サーバ情報	V01-00	3	Logical NIC	論理 NIC 情報	V01-00	4	Logical HBA	論理 HBA 情報	V01-00	5	USB	USB 情報	未サポート
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
	1	ALL	以下全項目	V01-00																								
	2	Config	論理サーバ情報	V01-00																								
	3	Logical NIC	論理 NIC 情報	V01-00																								
	4	Logical HBA	論理 HBA 情報	V01-00																								
5	USB	USB 情報	未サポート																									
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています																												
69	IP フレーム			○	V01-00																							
70	<table><tr><td>No.</td><td>チェックボックス名</td><td>内容</td><td>サポート (※)</td></tr><tr><td>1</td><td>ALL</td><td>以下全項目</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>2</td><td>HVM</td><td>HVM の IP アドレス</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>3</td><td>LPAR</td><td>LPAR の IP アドレス</td><td>未サポート</td></tr></table>				No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	未サポート	2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート	3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート								
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
	1	ALL	以下全項目	未サポート																								
	2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート																								
3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート																									
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています																												
71	Firmware Version フレーム			○	V01-00																							
72	<table><tr><td>No.</td><td>チェックボックス名</td><td>内容</td><td>サポート (※)</td></tr><tr><td>1</td><td>ALL</td><td>以下全項目</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>2</td><td>PCI</td><td>PCI カードのファームウェアバージョン</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>3</td><td>Blade</td><td>サーバのファームウェアバージョン</td><td>未サポート</td></tr></table>				No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	未サポート	2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート	3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート								
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
	1	ALL	以下全項目	未サポート																								
	2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート																								
3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート																									
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています																												
73	Export Folder Selection			○	V01-00																							
74	テキストボックス	CSV ファイルの出力先フォルダを表示	○	V01-00																								
75	Select ボタン	フォルダの参照ウインドウを開く	○	V01-00																								
76	フォルダの参照ウインドウ		○	V01-00																								
77	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00																								
78	Export ボタン	CSV ファイルを指定したフォルダに出力 サブウインドウ (Result ウインドウ) を開く	○	V01-00																								
79	Result ウインドウ		○	V01-00																								
80	OK ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V01-00																								
81	Close ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V01-00																								

82	HVM Configuration List ウィンドウ		○	V01-00
83	HVM フレーム	詳細情報を表示している項目にチェック	○	V01-00
84	Config チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
85	Physical NIC チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
86	Physical HBA チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
87	CPU チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
88	HVM List リスト	HVM 詳細情報を表示	○	V01-00
89	Sort Reset ボタン	HVM List リストに表示された行の並びを初期設定 に戻す	○	V01-00
90	Export ボタン	サブウィンドウ (Assign Output Device ウィンドウ) を開く	○	V01-00
91	Assign Output Device ウィンドウ		○	V01-00
92	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00
93	Result ウィンドウ		○	V01-00
94	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
95	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
96	LPAR List ウィンドウ		○	V01-00
97	LPAR フレーム	詳細情報を表示している項目にチェック	○	V01-00
98	Config チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
99	Logical NIC チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
100	Logical HBA チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
101	USB チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
102	LPAR List リスト	LPAR データを表示	○	V01-00
103	Show Undefined チェックボックス	【チェックあり】 LPAR Status が “-” (未定義) の LPAR も含んで表示 【チェックなし】 LPAR Status が “-” (未定義) の LPAR は非表示	○	V01-01
104	Sort Reset ボタン	LPAR List リストに表示された行の並びを初期設定 に戻す	○	V01-00
105	Export ボタン	サブウィンドウ (Assign Output Device ウィンドウ) を開く	○	V01-00
106	Assign Output Device ウィンドウ		○	V01-00
107	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00
108	Result ウィンドウ		○	V01-00
109	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
110	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

111	System Configuration Image ウィンドウ			○	V01-00																							
112	ツリービュー	作成したシステム構成を表示	○	V01-00																								
113	Layout Mode フレーム			○	V01-00																							
114	コンボボックス	図の表示モードを変更 表示モードの種類は以下のとおり																										
		<table><thead><tr><th>No.</th><th>表示モード</th><th>内容</th><th>サポート (※)</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>Pan and Zoom (デフォルト)</td><td>以下の 2 点の操作が可能なモード (1) 構成図の表示領域の移動 (2) 構成図の拡大・縮小</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>2</td><td>Fit</td><td>構成図の表示領域に合わせて表示 (縦横の比率を維持)</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>3</td><td>Stretch</td><td>構成図の表示領域に合わせて引き伸ばす (縦横の比率を変える)</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>4</td><td>Stretch To Width</td><td>構成図を表示領域に合わせた幅に引き伸ばす (縦横の比率を維持)</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>5</td><td>Stretch To Height</td><td>構成図を表示領域に合わせた高さに引き伸ばす (縦横の比率を維持)</td><td>V01-00</td></tr></tbody></table>	No.	表示モード	内容	サポート (※)	1	Pan and Zoom (デフォルト)	以下の 2 点の操作が可能なモード (1) 構成図の表示領域の移動 (2) 構成図の拡大・縮小	V01-00	2	Fit	構成図の表示領域に合わせて表示 (縦横の比率を維持)	V01-00	3	Stretch	構成図の表示領域に合わせて引き伸ばす (縦横の比率を変える)	V01-00	4	Stretch To Width	構成図を表示領域に合わせた幅に引き伸ばす (縦横の比率を維持)	V01-00	5	Stretch To Height	構成図を表示領域に合わせた高さに引き伸ばす (縦横の比率を維持)	V01-00		
		No.	表示モード	内容	サポート (※)																							
		1	Pan and Zoom (デフォルト)	以下の 2 点の操作が可能なモード (1) 構成図の表示領域の移動 (2) 構成図の拡大・縮小	V01-00																							
		2	Fit	構成図の表示領域に合わせて表示 (縦横の比率を維持)	V01-00																							
		3	Stretch	構成図の表示領域に合わせて引き伸ばす (縦横の比率を変える)	V01-00																							
		4	Stretch To Width	構成図を表示領域に合わせた幅に引き伸ばす (縦横の比率を維持)	V01-00																							
5	Stretch To Height	構成図を表示領域に合わせた高さに引き伸ばす (縦横の比率を維持)	V01-00																									
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています																												
Pan and Zoom コントロール	表示範囲を移動、拡大・縮小	○	V01-00																									
116	Image フレーム			○	V01-00																							
117	ctrl+マウスホイールの前後操作	表示されている図を拡大・縮小	○	V01-00																								
118	Chassis アイコン	【ドラッグ&ドロップ】 Chassis アイコンを図中の任意の場所に配置 【クリック】 Chassis Configuration Image ウィンドウに表示するシャーンを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可) 【ダブルクリック】 Chassis Configuration Image ウィンドウを開く (選択したシャーンの構成図を Chassis Configuration Image ウィンドウに表示)	○	V01-00																								
	Chassis アイコン 内 Blade	【クリック】 HVM Configuration Image ウィンドウに表示するブレードを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可) 【ダブルクリック】 HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択した HVM の構成図を HVM Configuration Image ウィンドウに表示)	○	V01-00																								

120	Show Detail ボタン	(1)Chassis アイコンを選択した場合 Chassis Configuration Image ウィンドウを開く (選択したシャーシの構成図を Chassis Configuration Image ウィンドウに表示) (2)Blade アイコンを選択した場合 HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択した HVM の構成図を HVM Configuration Image ウィンドウに表示)	○	V01-00
121	Close ボタン	【Chassis Configuration Image ウィンドウ、HVM Configuration Image ウィンドウが開いていた場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く 【上記ウィンドウがない場合】 本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
122	Confirmation ウィンドウ		○	V01-00
123	OK ボタン	System Configuration Image ウィンドウ、Chassis Configuration Image ウィンドウ、および HVM Configuration Image ウィンドウを閉じる (本ウィンドウも閉じる)	○	V01-00
124	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
125	Chassis Configuration Image ウィンドウ		○	V01-00
126	ツリービュー	選択した Chassis 構成を表示 表示モードの種類は以下のとおり	○	V01-00
127	Layout Mode フレーム		○	V01-00
128	コンボボックス	図の表示モードを変更	○	V01-00
129	Pan and Zoom コントロール	表示領域を移動、拡大・縮小	○	V01-00
130	ctrl+マウスホイールの前後操作	表示されている図を拡大・縮小	○	V01-00
131	Blade アイコン	【ドラッグ&ドロップ】 Blade アイコンを図中の任意の場所に配置 【クリック】 HVM Configuration Image ウィンドウに表示するブレードを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可) 【ダブルクリック】 HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択した HVM の構成図を HVM Configuration Image ウィンドウに表示) 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V01-00

132		コンテキストメニュー		○	V01-00
133		Detail [Config メニュー]	HVM Configuration List ウィンドウを開く (構成情報を表示)	○	V01-00
134		Detail [Physical NIC]	HVM Configuration List ウィンドウを開く (物理 NIC 情報を表示)	○	V01-00
135		Detail [Physical HBA]	HVM Configuration List ウィンドウを開く (物理 HBA 情報を表示)	○	V01-00
136		Detail [Physical CPU]	CPU Configuration List ウィンドウを開く (物理 CPU 情報を表示)	○	V01-01
137		Show Detail ボタン	HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択した HVM の構成図を HVM Configuration Image ウィンドウに表示)	○	V01-00
138		Close ボタン	【HVM Configuration Image ウィンドウが開いていた場合】 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く 【上記ウィンドウがない場合】 本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
139		Confirmation ウィンドウ		○	V01-00
140		OK ボタン	Chassis Configuration Image ウィンドウ HVM Configuration Image ウィンドウを閉じる (本ウィンドウも閉じる)	○	V01-00
141		キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
142		HVM Configuration Image ウィンドウ		○	V01-00
143		ツリービュー	選択した HVM 構成を表示 表示モードの種類は以下のとおり	○	V01-00
144		Show Deactivated チェックボックス	【チェックあり】 LPAR Status が “Deactivate” の LPAR も含んで表示 【チェックなし】 LPAR Status が “Deactivate” の LPAR は非表示	○	V02-04/A
145		Show Undefined チェックボックス	【チェックあり】 LPAR Status が “-” (未定義) の LPAR も含んで表示 【チェックなし】 LPAR Status が “-” (未定義) の LPAR は非表示	○	V01-01
146		Layout Mode フレーム		○	V01-00
147		コンボボックス	図の表示モードを変更	○	V01-00
148		Pan and Zoom コントロール	表示領域を移動、拡大・縮小	○	V01-00

149	Layout Mode フレーム		○	V01-00
150	ctrl+マウスホイールの 前後操作	表示されている図を拡大・縮小	○	V01-00
151	LPAR アイコン	<p>【ドラッグ&ドロップ】</p> <p>LPAR アイコンを図中の任意の場所に配置</p> <p>【クリック】</p> <p>LPAR List ウィンドウに表示するブレードを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可)</p> <p>【右クリック】</p> <p>コンテキストメニューを表示</p>	○	V01-00
152	コンテキストメニュー		○	V01-00
153	Detail [Config メニュー]	LPAR List ウィンドウを開く (構成情報を表示)	○	V01-00
154	Detail [Logical NIC]	LPAR List ウィンドウを開く (論理 NIC 情報を表示)	○	V01-00
155	Detail [Logical HBA]	LPAR List ウィンドウを開く (論理 HBA 情報を表示)	○	V01-00
156	LPAR Detail ウィンドウ		○	V01-00
157	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
158	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
159	Confirmation ウィンドウ		○	V01-00
160	OK ボタン	HVM Configuration Image ウィンドウを閉じる (本ウィンドウも閉じる)	○	V01-00
161	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

7 LPAR マイグレーション

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (Migration タブ)		○	V01-00
2	Menu フレーム		○	V01-00
3	Mode Selection フレーム		○	V03-00/E
4	Shutdown ラジオボタン	シャットダウンモードを選択	○	V03-00/E
5	Concurrent Maintenance ラジオボタン	コンカレントメンテナンスモードを選択	○	V03-00/E
6	Migration Menu フレーム		○	V03-00/E
7	Migration ボタン	【シャットダウンモードを選択】 Migration[Shutdown] ウィンドウを開く 【コンカレントメンテナンスモードを選択】 Migration[Concurrent Maintenance] ウィン ドウを開く	○	V03-00/E
8	Migration Policy ボタン	Migration Policy ウィンドウを開く	○	V01-00
9	Path Setting ボタン	Migration Path Setting ウィンドウを開く (Mode Selection フレームでコンカレントメ ンテナンスモードを選択するとクリック可能 になる)	○	V03-00/E
10	WWN Setting ボタン	Register Migration WWN Setting ウィンドウ を開く (Mode Selection フレームでコンカレントメ ンテナンスモードを選択するとクリック可能 になる)	○	V03-01
11	Update ボタン /Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 登録した HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	○	V01-00
12	Migration History フレーム		○	V01-00
13	Show LPAR History ボタン	Migration History ウィンドウを表示	○	V02-04/A
14	Migration History リスト	マイグレーション実行履歴を表示	○	V01-00

15	Migration[Shutdown]ウインドウ		○	V01-00
16	ブランディングバー	【HVM を選択した状態で右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-07
17	Get Technical Information for Migration	Get Technical Information for Migration ウインドウを表示する	○	V03-07
18	Get Technical Information for Migration ウインドウ		○	V03-07
19	Targets フレーム	対象 HVM の名称と IP アドレスを表示する	○	V03-07
20	Items フレーム	採取対象の項目を選択する	○	V03-07
21	Technical Information	Virtage Navigator の技術情報を採取対象にする	○	V03-07
22	HVM Dump	HVM ダンプを採取対象にする	○	V03-07
23	System Logs	システムログを採取対象にする	○	V03-07
24	Execute ボタン	選択した項目の情報を採取する	○	V03-07
25	フォルダの参照ウインドウ		○	V03-07
26	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-07
27	Close ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V03-07
28	Change Mode ボタン	Migration[Concurrent Maintenance]ウインドウを開く	○	V03-00/E


29	Target Selection フレーム		○	V01-00
30	<p>〔リカバリが必要な LPAR が ある時のみ表示〕</p>  Show the LPARs チェックボックス	<p>【チェックあり】 Target フレーム、Target ツリービューを表示 ※Target ツリービューは、リカバリ対象 LPAR のみ表示</p> <p>【チェックなし】(デフォルト) Source フレーム、Source ツリービュー、 Destination フレーム、および Destination ツ リービューを表示</p>	○	V01-00
31	<p>〔 Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕</p> <p>Auto チェックボックス</p>	<p>【チェックあり】 移動先 HVM を選択すると、自動で移動先 LPAR を選択</p> <p>【チェックなし】(デフォルト) 移動先 HVM を選択しても、自動で移動先 LPAR を選択しない</p>	○	V01-01
	<p>〔 Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕</p> <p>Migratable チェックボックス</p>	<p>【チェックあり】 Source ツリービューには ACT または DEACT の LPAR (移動元として選択可能な LPAR) のみ表示 Destination ツリービューには Undefined LPAR (移動先として選択可能な LPAR) のみ表示</p> <p>【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー、Destination ツリービ ューに全 LPAR を表示</p>	○	V01-01
32	<p>〔 Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕</p> <p>Group チェックボックス</p>	<p>【チェックあり】 Source ツリービュー、Destination ツリービ ューに表示する LPAR をプロセッサグループごと に表示</p> <p>【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー、Destination ツリービ ューに表示する LPAR をプロセッサグループごと に表示しない</p>	○	V01-01
33	Tree View チェックボックス	<p>登録した HVM をツリービューまたは コンボボックスで表示</p> <p>【チェックあり】(デフォルト) 登録した HVM をツリービューで表示</p> <p>【チェックなし】 登録した HVM をコンボボックスで表示</p>	○	V01-00

34	Source フレーム	No. 34~40 は、  Show the LPARs チェックボックスにチェックがない場合利用可能	○	V01-00
35	Source ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動元 LPAR を選択	○	V01-00
36	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 マイグレーション可能な Chassis、HVM、LPAR を表示 (1) 移動元シャーシを選択 (2) 移動元 HVM を選択 (3) 移動元 LPAR を選択	○	V01-00
37	HVM コンボボックス			V01-00
38	LPAR コンボボックス			V01-00
39	Selected LPAR ラベル	選択した移動元 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	○	V01-01
40	Detail Information リスト	選択した移動元 LPAR の詳細情報を表示	○	V01-00
41	Destination フレーム	No. 41~49 は、  Show the LPARs チェックボックスにチェックがない場合利用可能	○	V01-00
42	Destination ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動先 LPAR を選択	○	V01-00
43	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) 移動先シャーシを選択 (2) 移動先 HVM を選択 (3) 移動先 LPAR を選択	○	V01-00
44	HVM コンボボックス			V01-00
45	LPAR コンボボックス			V01-00
46	Group コンボボックス	(4) 割り当てるプロセッサグループを選択 ※ (4) は、HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM を選択している場合利用可能	○	V01-01
47	Selected LPAR ラベル	選択した移動先 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	○	V01-01
48	Group ラベル	選択した移動先 LPAR のプロセッサグループのグループ番号とグループ名称を表示	○	V01-01
49	Detail Information リスト	選択した移動先 LPAR の詳細情報を表示	○	V01-00
50	Target フレーム	No. 50~56 は、  Show the LPARs チェックボックスにチェックがある場合利用可能	○	V01-01
51	Target ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】リカバリする LPAR を選択	○	V01-01
52	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) リカバリする LPAR が構築されているシャーシを選択 (2) リカバリする LPAR が構築されている HVM を選択 (3) リカバリする LPAR を選択	○	V01-01
53	HVM コンボボックス			V01-01
54	LPAR コンボボックス			V01-01
55	Selected LPAR ラベル	選択したリカバリ LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	○	V01-01
56	Detail Information リスト	選択したリカバリ LPAR の詳細情報を表示	○	V01-01

57	Migration Setting フレーム		○	V01-00
58	Migration Option フレーム		○	V01-00
59	Shutdown Guest OS (Source) チェックボックス	マイグレーション対象の移動元 LPAR のゲスト OS シャットダウンを伴うか選択 【チェックあり】 シャットダウン実行 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン実行しない	○	V01-00
60	Activate Destination LPAR チェックボックス	マイグレーション後、移動先 LPAR の Activate 実行可否 【チェックあり】(デフォルト) Activate する 【チェックなし】 Activate しない(Deactivated のまま)	○	V01-00
61	Guest OS Information (for remote shutdown) フレーム	Shutdown Guest OS (Source) チェックボックスに 【チェックあり】の場合利用可能	○	V01-00
62	OS Type コンボボックス	OS タイプを選択	○	V01-00
63	IP Address テキストボックス	IP アドレスを入力	○	V01-00
64	User ID テキストボックス	ユーザ ID を入力	○	V01-00
65	Password テキストボックス	パスワードを入力	○	V01-00
66	Forced shutdown チェックボックス	ユーザログイン時のゲスト OS シャットダウンの可否 ゲスト OS が Windows 2008 のみ有効な機能 【チェックあり】 シャットダウン可 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン不可	○	V01-00
67	Save ボタン	Guest OS Information (for remote shutdown) の設定内容を保存 (移動元 LPAR を選択するとクリック可能になる)	×	V01-00
68	Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示／非表示	○	V01-01
69	Migration Execute ボタン /Recovery Execute ボタン (リカバリが必要な LPAR を選択した場合に Recovery Execute ボタンになる)	Confirmation ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	×	V01-00
70	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

71	Confirmation ウィンドウ		×	V01-00
72	Source フレーム	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタンをクリックした場合】 設定した移動元 LPAR 情報を表示	×	V01-00
73	Destination フレーム	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタンをクリックした場合】 設定した移動先 LPAR 情報を表示	×	V01-00
74	Target フレーム	【Migration ウィンドウで Recovery Execute ボタンをクリックした場合】 設定したリカバリが必要な LPAR 情報を表示	×	V01-00
75	Migration Option フレーム	設定したオプション機能情報を表示	×	V01-00
76	OK ボタン	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Migration Progress ウィンドウを表示 (Migration を実行) 【Migration ウィンドウで Recovery Execute ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Recovery Progress ウィンドウを表示 (Recovery を実行)	×	V01-00
77	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V01-00
78	Migration Progress ウィンドウ		×	V01-00
79	ブランディングバー	【HVM を選択した状態で右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-07
80	Get Technical Information for Migration	Get Technical Information for Migration ウィンドウを表示する	○	V03-07
81	Get Technical Information for Migration ウィンドウ		○	V03-07
82	Targets フレーム	対象 HVM の名称と IP アドレスを表示する	○	V03-07
83	Items フレーム	採取対象の項目を選択する	○	V03-07
84	Technical Information	Virtage Navigator の技術情報を採取対象にする	○	V03-07
85	HVM Dump	HVM ダンプを採取対象にする	○	V03-07
86	System Logs	システムログを採取対象にする	○	V03-07
87	Execute ボタン	選択した項目の情報を採取する	○	V03-07
88	フォルダの参照ウィンドウ		○	V03-07
89	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-07
90	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V03-07
91	プログレスバー	マイグレーションの進捗状況を表示	×	V01-00
92	Source フレーム	移動元 LPAR 情報を表示	×	V01-00
93	Destination フレーム	移動先 LPAR 情報を表示	×	V01-00
94	Progress Detail フレーム		×	V01-00
95	リスト	マイグレーションの進捗状況の詳細を表示	×	V01-00
96	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V01-00

97	Recovery Progress ウィンドウ		×	V01-00
98	ブランディングバー	【HVM を選択した状態で右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-07
99	Get Technical Information for Migration	Get Technical Information for Migration ウィンドウを表示する	○	V03-07
100	Get Technical Information for Migration ウィンドウ		○	V03-07
101	Targets フレーム	対象 HVM の名称と IP アドレスを表示する	○	V03-07
102	Items フレーム	採取対象の項目を選択する	○	V03-07
103	Technical Information	Virtage Navigator の技術情報を採取対象にする	○	V03-07
104	HVM Dump	HVM ダンプを採取対象にする	○	V03-07
105	System Logs	システムログを採取対象にする	○	V03-07
106	Execute ボタン	選択した項目の情報を採取する	○	V03-07
107	フォルダの参照ウィンドウ		○	V03-07
108	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-07
109	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V03-07
110	プログレスバー	リカバリの進捗状況を表示	×	V01-00
111	Target フレーム	リカバリに必要な LPAR 情報を表示	×	V01-00
112	Progress Detail フレーム		×	V01-00
113	リスト	リカバリの進捗状況の詳細を表示	×	V01-00
114	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V01-00
115	Migration[Concurrent Maintenance]ウィンドウ		○	V03-00/E
116	ブランディングバー	【HVM を選択した状態で右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-07
117	Get Technical Information for Migration	Get Technical Information for Migration ウィンドウを表示する	○	V03-07
118	Get Technical Information for Migration ウィンドウ		○	V03-07
119	Targets フレーム	対象 HVM の名称と IP アドレスを表示する	○	V03-07
120	Items フレーム	採取対象の項目を選択する	○	V03-07
121	Technical Information	Virtage Navigator の技術情報を採取対象にする	○	V03-07
122	HVM Dump	HVM ダンプを採取対象にする	○	V03-07
123	System Logs	システムログを採取対象にする	○	V03-07
124	Execute ボタン	選択した項目の情報を採取する	○	V03-07
125	フォルダの参照ウィンドウ		○	V03-07
126	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-07
127	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V03-07
128	Change Mode ボタン	Migration[Shutdown]ウィンドウを開く	○	V03-00/E

129	Target Selection フレーム		○	V03-00/E
130	<p>〔リカバリが必要な LPAR が ある時のみ表示〕</p>  Show the LPARs チェックボックス	<p>【チェックあり】</p> <p>Target フレーム、Target ツリービューを表示 ※Target ツリービューは、リカバリ対象 LPAR のみ表示</p> <p>【チェックなし】（デフォルト）</p> <p>Source フレーム、Source ツリービュー、 Destination フレーム、および Destination ツ リービューを表示</p>	○	V03-00/E
131	<p>〔 Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕</p> <p>Auto チェックボックス</p>	<p>【チェックあり】</p> <p>移動先 HVM を選択すると、自動で移動先 LPAR を選択</p> <p>【チェックなし】（デフォルト）</p> <p>移動先 HVM を選択しても、自動で移動先 LPAR を選択しない</p>	○	V03-00/E
132	<p>〔 Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕</p> <p>Migratable チェックボックス</p>	<p>【チェックあり】</p> <p>Source ツリービューには ACT で WWN が正常の LPAR (移動元として選択可能な LPAR) のみ表示 Destination ツリービューには Undefined LPAR (移動先として選択可能な LPAR) のみ表示</p> <p>【チェックなし】（デフォルト）</p> <p>Source ツリービュー、Destination ツリービ ューに全 LPAR を表示</p>	○	V03-00/E
133	<p>〔 Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕</p> <p>Group チェックボックス</p>	<p>【チェックあり】</p> <p>Source ツリービュー、Destination ツリービ ューに表示する LPAR をプロセッサグループごと に表示</p> <p>【チェックなし】（デフォルト）</p> <p>Source ツリービュー、Destination ツリービ ューに表示する LPAR をプロセッサグループごと に表示しない</p>	○	V03-00/E
134	Tree View チェックボックス	<p>登録した HVM をツリービューまたは コンボボックスで表示</p> <p>【チェックあり】（デフォルト）</p> <p>登録した HVM をツリービューで表示</p> <p>【チェックなし】</p> <p>登録した HVM をコンボボックスで表示</p>	○	V03-00/E

135	Source フレーム	No. 135～141 は  Show the LPARs チェックボックスにチェックがない場合利用可能	○	V03-00/E
136	Source ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動元 LPAR を選択	○	V03-00/E
137	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 マイグレーション可能な Chassis、HVM、LPAR を表示 (1) 移動元 シャーシを選択 (2) 移動元 HVM を選択 (3) 移動元 LPAR を選択	○	V03-00/E
138	HVM コンボボックス			V03-00/E
139	LPAR コンボボックス			V03-00/E
140	Selected LPAR ラベル	選択した移動元 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	○	V03-00/E
141	Detail Information リスト	選択した移動元 LPAR の詳細情報を表示	○	V03-00/E
142	Destination フレーム	No. 142～150 は  Show the LPARs チェックボックスにチェックがない場合利用可能	○	V03-00/E
143	Destination ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動先 LPAR を選択	○	V03-00/E
144	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) 移動先 シャーシを選択 (2) 移動先 HVM を選択 (3) 移動先 LPAR を選択 (4) 割り当てるプロセッサグループを選択 ※ (4) は、HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM を選択している場合利用可能	○	V03-00/E
145	HVM コンボボックス			V03-00/E
146	LPAR コンボボックス			V03-00/E
147	Group コンボボックス			V03-00/E
148	Selected LPAR ラベル	選択した移動先 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	○	V03-00/E
149	Group ラベル	選択した移動先 LPAR のプロセッサグループのグループ番号とグループ名称を表示	○	V03-00/E
150	Detail Information リスト	選択した移動先 LPAR の詳細情報を表示	○	V03-00/E
151	Target フレーム	No. 151～157 は  Show the LPARs チェックボックスにチェックがある場合利用可能	○	V03-00/E
152	Target ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 リカバリする LPAR を選択	○	V03-00/E
153	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) リカバリする LPAR が構築されているシャーシを選択 (2) リカバリする LPAR が構築されている HVM を選択 (3) リカバリする LPAR を選択	○	V03-00/E
154	HVM コンボボックス			V03-00/E
155	LPAR コンボボックス			V03-00/E
156	Selected LPAR ラベル	選択したリカバリ LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	○	V03-00/E
157	Detail Information リスト	選択したリカバリ LPAR の詳細情報を表示	○	V03-00/E

158	Migration Setting フレーム		○	V03-00/E
159	Migration Path フレーム		○	V03-00/E
160	Source コンボボックス	移動元 LPAR の Migration Path を選択	○	V03-00/E
161	Destination コンボボックス	移動先 LPAR の Migration Path を選択	○	V03-00/E
162	Rehearsal Execute フレーム		○	V03-00/E
163	Rehearsal ボタン	Confirmation ウィンドウを開く (Migration Path フレームの Source コンボボックスと Destination コンボボックスに Migration Path を選択するとクリック可能になる)	×	V03-00/E
164	Connectivity Test ボタン	Confirmation ウィンドウを開く (Migration Path フレームの Source コンボボックスと Destination コンボボックスに Migration Path を選択するとクリック可能になる)	×	V03-00/E
165	Show Rollback ボタン	Rollback WWN ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	○	V03-00/E
166	Show System Logs ボタン	HVM Console ウィンドウの HVM System Logs スクリーンを開く (Migration Path フレームの Source コンボボックスまたは Destination コンボボックスに Migration Path を選択するとクリック可能になる 両方のコンボボックスに Migration Path を選択してクリックするとスクリーンが 2 枚開く)	○	V03-00/E
167	Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示／非表示	○	V03-00/E
168	Migration Execute ボタン /Recovery Execute ボタン (リカバリが必要な LPAR を選択した場合に Recovery Execute ボタンになる)	Confirmation ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	×	V03-00/E
169	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V03-00/E

170	Confirmation ウィンドウ		×	V03-00/E
171	Source フレーム	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタン、Rehearsal ボタン、または Connectivity Test ボタンをクリックした場合】 設定した移動元 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
172	Destination フレーム	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタン、Rehearsal ボタン、または Connectivity Test ボタンをクリックした場合】 設定した移動先 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
173	Target フレーム	【Migration ウィンドウで Recovery Execute ボタンをクリックした場合】 設定したリカバリが必要な LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
174	Migration Option フレーム	設定したオプション機能情報を表示	×	V03-00/E
175	OK ボタン	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Migration Progress ウィンドウを表示 (Migration を実行) 【Migration ウィンドウで Recovery Execute ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Recovery Progress ウィンドウを表示 (Recovery を実行) 【Migration ウィンドウで Rehearsal ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Migration Progress ウィンドウを表示 (Rehearsal を実行) 【Migration ウィンドウで Connectivity Test ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Test Progress ウィンドウを表示 (Connectivity Test を実行)	×	V03-00/E
176	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E

177	Migration Progress ウィンドウ		×	V03-00/E
178	ブランディングバー	【HVM を選択した状態で右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-07
179	Get Technical Information for Migration	Get Technical Information for Migration ウィンドウを表示する	○	V03-07
180	Get Technical Information for Migration ウィンドウ		○	V03-07
181	Targets フレーム	対象 HVM の名称と IP アドレスを表示する	○	V03-07
182	Items フレーム	採取対象の項目を選択する	○	V03-07
183	Technical Information	Virtage Navigator の技術情報を採取対象にする	○	V03-07
184	HVM Dump	HVM ダンプを採取対象にする	○	V03-07
185	System Logs	システムログを採取対象にする	○	V03-07
186	Execute ボタン	選択した項目の情報を採取する	○	V03-07
187	フォルダの参照ウィンドウ		○	V03-07
188	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-07
189	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V03-07
190	プログレスバー	マイグレーションの進捗状況を表示	×	V03-00/E
191	Source フレーム	移動元 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
192	Destination フレーム	移動先 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
193	Progress Detail フレーム		×	V03-00/E
194	リスト	マイグレーションの進捗状況の詳細を表示	×	V03-00/E
195	Timeout Extension フレーム		×	V03-00/E
196	Timeout Extension ドメインアップダウン	マイグレーション延長時間(加算時間)の指定 (Migration Process 実行中に指定が可能になる)	×	V03-00/E
197	Extend ボタン	Extend ウィンドウを開く (Migration Process 実行中にクリック可能になる)	×	V03-00/E
198	Cancel Migration ボタン	CancelMigration ウィンドウを開く (Migration Process 実行中にクリック可能になる)	×	V03-00/E
199	Show Monitor ボタン	Migration Monitor Status ウィンドウを開く (Migration Process 実行中にクリック可能になる)	×	V03-00/E
200	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E
201	Extend ウィンドウ		×	V03-00/E
202	OK ボタン	マイグレーション延長時間を更新する (Timeout Extension フレームの Timeout Extension グループボックスで指定した時間を加算する)	×	V03-00/E
203	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E
204	CancelMigration ウィンドウ		×	V03-00/E
205	OK ボタン	Migration の実行を中止する	×	V03-00/E
206	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E

207	Migration Monitor Status ウィンドウ		×	V03-00/E
208	Source フレーム	移動元 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
209	Destination フレーム	移動先 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
210	データグリッドビュー	データグリッドビューのデータ、ダーティサイズ表示グラフの移動元 LPARに残っているメモリサイズおよび転送速度表示グラフの移動先 LPAR への転送速度からメモリ転送状況を確認する	×	V03-00/E
211	ダーティサイズ表示グラフ			V03-00/E
212	転送速度表示グラフ			V03-00/E
Recovery Progress ウィンドウ			×	V03-00/E
214	ブランディングバー	【HVM を選択した状態で右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-07
215	Get Technical Information for Migration	Get Technical Information for Migration ウィンドウを表示する	○	V03-07
216	Get Technical Information for Migration ウィンドウ		○	V03-07
217	Targets フレーム	対象 HVM の名称と IP アドレスを表示する	○	V03-07
218	Items フレーム	採取対象の項目を選択する	○	V03-07
219	Technical Information	Virtage Navigator の技術情報を採取対象にする	○	V03-07
220	HVM Dump	HVM ダンプを採取対象にする	○	V03-07
221	System Logs	システムログを採取対象にする	○	V03-07
222	Execute ボタン	選択した項目の情報を採取する	○	V03-07
223	フォルダの参照ウィンドウ		○	V03-07
224	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-07
225	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V03-07
226	プログレスバー	リカバリの進捗状況を表示	×	V03-00/E
227	Target フレーム	リカバリに必要な LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
228	Progress Detail フレーム		×	V03-00/E
229	リスト	リカバリの進捗状況の詳細を表示	×	V03-00/E
230	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E
231	Rollback WWN ウィンドウ		×	V03-00/E
232	WWN Status List フレーム		×	V03-00/E
233	View All LPARs チェックボックス	リストに表示する対象 LPAR の切り替え	×	V03-00/E
234	リスト	WWN の状態を表示	×	V03-00/E
235	Rollback Execute ボタン	Rollback Execute ウィンドウを開く	×	V03-00/E
236	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E
237	Rollback Execute ウィンドウ		×	V03-00/E
238	OK ボタン	ロールバックを実行する	×	V03-00/E
239	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E

240	Migration Policy ウィンドウ		○	V01-00
241	Policy Name コンボボックス	作成済みのポリシー名を選択	○	V01-00
242	New ボタン	サブウィンドウ(New Policy ウィンドウ)を表示 (ポリシー名を入力)	×	V01-00
243	New Policy ウィンドウ		×	V01-00
244	テキストボックス	新しいポリシーの名前を入力	×	V01-00
245	OK ボタン	新しいポリシーをテキストボックスに入力した 名前で作成	×	V01-00
246	Cancel ボタン	新しいポリシーの作成を取り止める	×	V01-00
247	Modify ボタン/Release ボタン (トグルボタン)	【Modify】 ポリシーの内容変更モードにする 【Release】 ポリシーの内容変更モードを終了	×	V01-00
248	Save ボタン	編集したポリシーの内容を保存(上書き保存)	×	V01-00
249	Save as ボタン	編集したポリシーの内容を保存(名前を付けて保 存) サブウィンドウ(Save as Policy ウィンドウ)を表 示	×	V01-00
250	Save as Policy ウィンドウ		×	V01-00
251	テキストボックス	保存するポリシーの名前を入力	×	V01-00
252	OK ボタン	編集中のポリシーをテキストボックスに入力し た名前で保存	×	V01-00
253	Cancel ボタン	ポリシーの保存を取り止める	×	V01-00
254	Delete ボタン	サブウィンドウ>Delete ウィンドウ)を表示	×	V01-00
255	Delete ウィンドウ		×	V01-00
256	OK ボタン	ポリシーを削除	×	V01-00
257	キャンセルボタン	ポリシーの削除を取り止める	×	V01-00
258	Execute/Stop ボタン	【Execute】 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を表 示 【Stop】 実行中のマイグレーションが完了した時点で、一 旦ポリシー実行を停止させる 停止後にサブウィンドウ(Confirmation ウィンド ウ)を表示	×	V01-00
259	Confirmation ウィンドウ(Execute ボタンの場合)		×	V01-00
260	OK ボタン	ポリシーを実行 (Migration Progress ウィンドウを表示)	×	V01-00
261	Cancel ボタン	ポリシーの実行を取り止める	×	V01-00
262	Confirmation ウィンドウ(Stop ボタンの場合)		×	V01-00
263	End ボタン	ポリシー実行を終了	×	V01-00
264	Continue ボタン	ポリシー実行を再開する	×	V01-00

265		Policy Information フレーム		○	V01-00
266		Comment テキストボックス	編集集中のポリシーについてのコメントを入力	○	V01-00
267		Add [Shutdown] ボタン	Add Shutdown Migration [ポリシー名] ウィンドウを表示	×	V03-00/E
268		Add [Concurrent Maintenance] ボタン	Add Concurrent Maintenance [ポリシー名] ウィンドウを表示	×	V03-00/E
269		Up ボタン	選択した行のマイグレーション実行順番を1つ前にする	×	V01-00
270		Down ボタン	選択した行のマイグレーション実行順番を1つ後にする	×	V01-00
271		Delete ボタン	選択した行をポリシーから削除(行全体を選択すること)	×	V01-00
272		Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の、移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示／非表示	○	V01-01
273		Migration Information リスト	マイグレーション実行一覧を表示	○	V01-00

274	Add Shutdown Migration [ポリシー名]ウインドウ		×	V03-00/E
275	ブランディングバー	【HVM を選択した状態で右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-07
276	Get Technical Information for Migration	Get Technical Information for Migration ウインドウを表示する	○	V03-07
277	Get Technical Information for Migration ウインドウ		○	V03-07
278	Targets フレーム	対象 HVM の名称と IP アドレスを表示する	○	V03-07
279	Items フレーム	採取対象の項目を選択する	○	V03-07
280	Technical Information	Virtage Navigator の技術情報を採取対象にする	○	V03-07
281	HVM Dump	HVM ダンプを採取対象にする	○	V03-07
282	System Logs	システムログを採取対象にする	○	V03-07
283	Execute ボタン	選択した項目の情報を採取する	○	V03-07
284	フォルダの参照ウインドウ		○	V03-07
285	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-07
286	Close ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V03-07
287	Target Selection フレーム		×	V03-00/E
288	Migratable チェックボックス	【チェックあり】 Source ツリービューには ACT または DEACT の LPAR (移動元として選択可能な LPAR) のみ表示 Destination ツリービューには Undefined LPAR (移動先として選択可能な LPAR) のみ表示 【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー、Destination ツリービューに全 LPAR を表示	×	V03-00/E
289	Group チェックボックス	【チェックあり】 Source ツリービュー、Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示 【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー、Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示しない	×	V03-00/E
290	Tree View チェックボックス	登録 HVM をツリービューまたはコンボボックスで表示 【チェックあり】(デフォルト) 登録 HVM をツリービューで表示 【チェックなし】 登録 HVM をコンボボックスで表示	×	V03-00/E

291		Source フレーム		×	V03-00/E
292		Source ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動元 LPAR を選択	×	V03-00/E
293		Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) 移動元 シャーシを選択 (2) 移動元 HVM を選択 (3) 移動元 LPAR を選択	×	V03-00/E
294		HVM コンボボックス			V03-00/E
295		LPAR コンボボックス			V03-00/E
296		Selected LPAR ラベル	選択した移動元 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	×	V03-00/E
297		Detail Information リスト	選択した移動元 LPAR の詳細情報を表示	×	V03-00/E
298		Destination フレーム		×	V03-00/E
299		Destination ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動先 LPAR を選択	×	V03-00/E
300		Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) 移動先 シャーシを選択 (2) 移動先 HVM を選択 (3) 移動先 LPAR を選択 (4) 割り当てるプロセッサグループを選択 ※ (4) は、HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM を選択している場合利用可能	×	V03-00/E
301		HVM コンボボックス			V03-00/E
302		LPAR コンボボックス			V03-00/E
303		Group コンボボックス			V03-00/E
304		Selected LPAR ラベル	選択した移動先 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	×	V03-00/E
305		Group ラベル	選択した移動先 LPAR のプロセッサグループのグループ番号とグループ名称を表示	×	V03-00/E
306		Detail Information リスト	選択した移動先 LPAR の詳細情報を表示	×	V03-00/E

307		Migration Setting フレーム	×	V03-00/E
308		Migration Option フレーム	×	V03-00/E
309		Shutdown Guest OS (Source) チェックボックス	×	V03-00/E
		マイグレーション対象の移動元 LPAR のゲスト OS シャットダウンを伴うか選択 【チェックあり】 シャットダウン実行 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン実行しない		
310		Activate Destination LPAR チェックボックス	×	V03-00/E
		マイグレーション後、移動先 LPAR の Activate 実行可否 【チェックあり】(デフォルト) Activate する 【チェックなし】 Activate しない(Deactivated のまま)		
311		Guest OS Information (for remote shutdown) フレーム	×	V03-00/E
312		OS Type コンボボックス	×	V03-00/E
313		IP テキストボックス	×	V03-00/E
314		UserID テキストボックス	×	V03-00/E
315		Password テキストボックス	×	V03-00/E
316		Forced shutdown チェックボックス	×	V03-00/E
		ユーザログイン時のゲスト OS シャットダウンの可否 ゲスト OS が Windows 2008 のみ有効な機能 【チェックあり】 シャットダウン可 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン不可		
317		Save ボタン	×	V03-00/E
		Guest OS Information (for remote shutdown) の設定内容を保存 (移動元 LPAR を選択するとクリック可能になる)		
318		Show Config ボタン	×	V03-00/E
		Migration Information リストで選択した行の移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示／非表示		
319		Add ボタン	×	V03-00/E
		Confirmation ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)		
320		Close ボタン	×	V03-00/E
		本ウィンドウを閉じる		
321		Confirmation ウィンドウ	×	V03-00/E
322		Source フレーム	×	V03-00/E
323		Destination フレーム	×	V03-00/E
324		Migration Option フレーム	×	V03-00/E
325		OK ボタン	×	V03-00/E
		ポリシーにマイグレーションを登録し、本ウィンドウを閉じる		
326		Cancel ボタン	×	V03-00/E
		本ウィンドウを閉じる		

327	Add Concurrent Maintenance [ポリシー名]ウインドウ		×	V03-00/E
328	ブランディングバー	【HVM を選択した状態で右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-07
329	Get Technical Information for Migration	Get Technical Information for Migration ウィンドウを表示する	○	V03-07
330	Get Technical Information for Migration ウィンドウ		○	V03-07
331	Targets フレーム	対象 HVM の名称と IP アドレスを表示する	○	V03-07
332	Items フレーム	採取対象の項目を選択する	○	V03-07
333	Technical Information	Virtage Navigator の技術情報を採取対象にする	○	V03-07
334	HVM Dump	HVM ダンプを採取対象にする	○	V03-07
335	System Logs	システムログを採取対象にする	○	V03-07
336	Execute ボタン	選択した項目の情報を採取する	○	V03-07
337	フォルダの参照ウインドウ		○	V03-07
338	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-07
339	Close ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V03-07
340	Target Selection フレーム		×	V03-00/E
341	Migratable チェックボックス	【チェックあり】 Source ツリービューには ACT または DEACT の LPAR (移動元として選択可能な LPAR) のみ表示 Destination ツリービューには Undefined LPAR (移動先として選択可能な LPAR) のみ表示 【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー、Destination ツリービューに全 LPAR を表示	×	V03-00/E
342	Group チェックボックス	【チェックあり】 Source ツリービュー、Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示 【チェックなし】(デフォルト) Source ツリービュー、Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示しない	×	V03-00/E
343	Tree View チェックボックス	登録 HVM をツリービューまたはコンボボックスで表示 【チェックあり】(デフォルト) 登録 HVM をツリービューで表示 【チェックなし】 登録 HVM をコンボボックスで表示	×	V03-00/E

344		Source フレーム		×	V03-00/E
345		Source ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動元 LPAR を選択	×	V03-00/E
346		Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) 移動元シャーシを選択 (2) 移動元 HVM を選択 (3) 移動元 LPAR を選択	×	V03-00/E
347		HVM コンボボックス			V03-00/E
348		LPAR コンボボックス			V03-00/E
349		Selected LPAR ラベル	選択した移動元 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	×	V03-00/E
350		Detail Information リスト	選択した移動元 LPAR の詳細情報を表示	×	V03-00/E
351		Destination フレーム		×	V03-00/E
352		Destination ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動先 LPAR を選択	×	V03-00/E
353		Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) 移動先シャーシを選択 (2) 移動先 HVM を選択 (3) 移動先 LPAR を選択 (4) 割り当てるプロセッサグループを選択 ※ (4) は、HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM を選択している場合利用可能	×	V03-00/E
354		HVM コンボボックス			V03-00/E
355		LPAR コンボボックス			V03-00/E
356		Group コンボボックス			V03-00/E
357		Selected LPAR ラベル	選択した移動先 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	×	V03-00/E
358		Group ラベル	選択した移動先 LPAR のプロセッサグループのグル ープ番号とグループ名称を表示	×	V03-00/E
359		Detail Information リスト	選択した移動先 LPAR の詳細情報を表示	×	V03-00/E

360		Migration Setting フレーム	×	V03-00/E
361		Migration Path フレーム	×	V03-00/E
362		Source コンボボックス	×	V03-00/E
363		Destination コンボボックス	×	V03-00/E
364		Rehearsal Execute フレーム	×	V03-00/E
365		Rehearsal ボタン	×	V03-00/E
366		Connectivity Test ボタン	×	V03-00/E
367		Show Rollback ボタン	×	V03-00/E
368		Show System Logs ボタン	×	V03-00/E
369		Show Config ボタン	×	V03-00/E
370		Add ボタン	×	V03-00/E
371		Close ボタン	×	V03-00/E
372		Confirmation ウィンドウ	×	V03-00/E
373		Source フレーム	×	V03-00/E
374		Destination フレーム	×	V03-00/E
375		Migration Option フレーム	×	V03-00/E
376		OK ボタン	×	V03-00/E
377		Cancel ボタン	×	V03-00/E

378	Migration Config Viewer ウィンドウ		○	V01-00
379	All チェックボックス	【チェックあり】すべての項目を表示する 【チェックなし】すべての項目を非表示にする 【未確定】表示と非表示の項目がある	○	V03-00/D
380	Error チェックボックス	【チェックあり】エラーの項目を表示する 【チェックなし】エラーの項目を非表示にする	○	V03-00/D
381	Warning チェックボックス	【チェックあり】警告の項目を表示する 【チェックなし】警告の項目を非表示にする	○	V03-00/D
382	OK チェックボックス	【チェックあり】正常の項目を表示する 【チェックなし】正常の項目を非表示にする	○	V03-00/D
383	Unchecked チェックボックス	【チェックあり】未確認の項目を表示する 【チェックなし】未確認の項目を非表示にする	○	V03-00/D
384	Unknown チェックボックス	【チェックあり】不明の項目を表示する 【チェックなし】不明の項目を非表示にする	○	V03-00/D
385	Server Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR のサーバ構成情報を表示	○	V01-00
386	HBA Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR の HBA 構成情報を表示	○	V01-00
387	NIC Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR の NIC 構成情報を表示	○	V01-00
388	Export to CSV ボタン	Export to CSV ウィンドウを表示 (CSV に出力)	○	V01-00
389	Export to CSV ウィンドウ		○	V01-00
390	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00
391	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
392	Migration Path Setting ウィンドウ		○	V03-00/E
393	HVM Selection フレーム		○	V03-00/E
394	ツリービュー	Migration Path 設定対象の項目 (Chassis、HVM) を選択する	○	V03-00/E
395	Information フレーム		○	V03-00/E
396	Chassis	ツリービューで選択したシャーシの情報 ※ツリービューでシャーシを選択したときのみ表示	○	V03-00/E
397	HVM Information	ツリービューで選択した HVM の情報 ※ツリービューで HVM を選択したときのみ表示	○	V03-00/E
398	Selection Migration Path Information	ツリービューで選択したシャーシまたは HVM の Migration Path 情報	○	V03-00/E
399	Migration Path List フレーム		○	V03-00/E
400	Add Row ボタン	Migration Path をリストに追加する	○	V03-00/E
401	Del Rows ボタン	選択した Migration Path をリストから削除する	○	V03-00/E
402	リスト	作成した Migration Path を表示する	○	V03-00/E
403	Save ボタン	Migration Path Setting の設定内容を保存	×	V03-00/E
404	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V03-00/E

405	Configuration Registration ウィンドウ		×	V03-01
406	Machinery Choice フレーム		×	V03-01
407	Machinery コンボボックス	探索する機器の種類を選択 (現在サポートしているのは、Storage のみ)	×	V03-01
408	Input Condition フレーム		×	V03-01
409	IP Range Specification チェックボックス	【チェックあり】IP アドレスを範囲指定できる 【チェックなし】IP アドレスは1つのみにする	×	V03-01
410	From テキストボックス	探索範囲の始まりの IP アドレスを指定	×	V03-01
411	To テキストボックス	探索範囲の終わりの IP アドレスを指定	×	V03-01
412	Time Out テキストボックス	1つの IP アドレス探索ごとに設けるタイムアウト 時間を入力(単位:秒) デフォルト設定は 10 秒	×	V03-01
413	Search ボタン	機器を探索 検知した機器は、Machinery List リストに表示 【範囲指定した IP アドレスを探索している最中】 サブウィンドウ (Searching the IP address ウィンドウ)を開く	×	V03-01
414	Searching the IP address ウィンドウ		×	V03-01
415	Cancel ボタン	機器探索を中止	×	V03-01
416	Machinery List リスト		×	V03-01
417	チェックボックス	登録する機器を選択 デフォルトでは、チェックあり	×	V03-01
418	Add ボタン	Machinery List で選択した機器を登録 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く	×	V03-01
419	Confirmation ウィンドウ		×	V03-01
420	OK ボタン	選択した機器を登録 サブウィンドウ(Registering the HVM ウィンドウ)を開く	×	V03-01
421	キャンセルボタン	選択した機器の登録を取り止める	×	V03-01
422	Registering the Storage ウィンドウ		×	V03-01
423	Cancel ボタン	選択した機器の登録を中止	×	V03-01
424	Close ボタン	【Machinery List に HVM がある場合】 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く 【Machinery List に HVM がない場合】 機器登録を終了する	×	V03-01
425	Confirmation ウィンドウ		×	V03-01
426	OK ボタン	機器登録を終了する	×	V03-01
427	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる(機器登録を継続する)	×	V03-01

428	Storage Password Setting ウィンドウ		○	V03-01
429	Password Setting フレーム		○	V03-01
430	Administration Mode チェックボックス	【チェックあり】 Administration Mode のパスワードを使用する 【チェックなし】 Administration Mode のパスワードを使用しない	×	V03-01
431	Password テキストボックス	Administration Mode のパスワードを設定する	×	V03-01
432	Unit Name	登録されているストレージ名	×	V03-01
433	Security Type	パスワードの種類 デフォルトは Not used	×	V03-01
434	User ID	選択したパスワードの種類に対してのユーザ ID	×	V03-01
435	Password	選択したパスワードの種類に対してのパスワード	×	V03-01
436	Save password setting チェックボックス	【チェックあり】 入力したパスワードを保存する 【チェックなし】 入力したパスワードを保存しない 既存の保存したパスワードも消去する	×	V03-01
437	OK ボタン	パスワードの入力を終了する	○	V03-01
438	キャンセルボタン	パスワードの入力を取りやめる	○	V03-01

439	Register Migration WWN Setting ウィンドウ		○	V03-01
440	All ラジオボタン	表示可能なすべてのマイグレーション WWN を表示する	○	V03-01
441	Not Registered ラジオボタン	登録されていないマイグレーション WWN を表示する	○	V03-01
442	Registered ラジオボタン	登録されているマイグレーション WWN を表示する	○	V03-01
443	Update ボタン	HVM と Storage の情報を更新する	○	V03-01
444	HVM Selection フレーム		○	V03-01
445	ツリービュー	表示対象の項目 (Chassis、HVM、LPAR) を選択する	○	V03-01
446	Storage Selection フレーム		○	V03-01
447	ツリービュー	表示対象の項目 (Storage) を選択する	○	V03-01

448	WWN List フレーム		○	V03-01
449	Display Mode ラジオボタン	リスト中の表示形式を切り替える Single Row:1 つの WWPN が登録されているストレージマシンのすべてのポートを1行で表示する Multiple Rows:ストレージマシンに登録されているポートを1行ずつ表示する	○	V03-01
450	Detail チェックボックス	リスト中の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中の詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中の詳細情報を表示しない	○	V03-01
451	Select チェックボックス	【チェックをつける】操作対象にする 【チェックを外す】操作対象から外す	○	V03-01
452	Last Status 列	最終ステータスを表示	○	V03-01
453	Chassis ID 列	Chassis ID を表示	○	V03-01
454	HVM IP Address 列	HVM IP Address を表示	○	V03-01
455	HVM ID 列	HVM ID を表示	○	V03-01
456	LPAR No. 列	LPAR Number を表示	○	V03-01
457	Slot No. 列	Slot Number を表示	○	V03-01
458	Port No. 列	Port Number を表示	○	V03-01
459	vfcID 列	FC に設定されている vfcWWN-ID を表示	○	V03-01
460	WWPN 列	FC の WWPN を表示	○	V03-01
461	State(Vfc) 列	FC の WWPN の登録状況を表示	○	V03-01
462	Migration WWPN 列	マイグレーション WWPN を表示	○	V03-01
463	State(Mig) 列	マイグレーション WWPN の登録状況を表示	○	V03-01
464	Assignable(Mig) 列	過去のログイン状況を表示	○	V03-01
465	Unit Name 列	ユニット名を表示	○	V03-01
466	Host Group Port No. 列	ホストグループ Port Number を表示	○	V03-01
467	Host Group No. 列	ホストグループ Number を表示	○	V03-01
468	Host Group Name 列	ホストグループ名を表示	○	V03-01
469	Storage Type 列	ストレージタイプを表示	○	V03-01
470	WWPN Nickname 列	FC の WWPN のニックネームを表示	○	V03-01
471	Migration WWPN Nickname 列	マイグレーション WWPN のニックネームを表示	○	V03-01
472	Array IP Address/Host Name/Device Name ctl0 列	ストレージのコントローラ 0 の Array IP Address またはホスト名またはデバイス名を表示	○	V03-01
473	Array IP Address/Host Name/Device Name ctl1 列	ストレージのコントローラ 1 の Array IP Address またはホスト名またはデバイス名を表示	○	V03-01
474	Add Storage ボタン	Configuration Registration ウィンドウを表示する	×	V03-01
475	Password Setting ボタン	Storage Password Setting ウィンドウを表示する	×	V03-01
476	Add ボタン	Confirmation ウィンドウを表示する	×	V03-01
477	Confirmation ウィンドウ		×	V03-01
478	OK ボタン	選択されたマイグレーション WWPN をストレージに登録する	×	V03-01
479	Cancel ボタン	マイグレーション WWPN 登録を取りやめる	×	V03-01

480	Nickname ボタン	Nickname Setting ウィンドウを表示する	×	V03-01
481	Nickname Setting ウィンドウ		×	V03-01
482	Nickname List フレーム		×	V03-01
483	Default ボタン	すべてのニックネームをデフォルト値に設定	×	V03-01
484	Clear ボタン	すべてのニックネームを空文字に設定	×	V03-01
485	Nickname List リスト	選択されたマイグレーション WWPN のニックネーム一覧を表示	×	V03-01
486	Execute ボタン	選択されたマイグレーション WWPN のニックネームをストレージに設定する	×	V03-01
487	Cancel ボタン	ニックネームの設定を取りやめる	×	V03-01
488	Delete	Confirmation ウィンドウを表示する		
489	Confirmation ウィンドウ		×	V03-01
490	OK ボタン	選択されたマイグレーション WWPN をストレージから削除する	×	V03-01
491	Cancel ボタン	マイグレーション WWPN 削除を取りやめる	×	V03-01
492	Export CSV ボタン	サブウィンドウ (Input CSV Filename ウィンドウ) を開く	○	V03-01
493	Input CSV Filename ウィンドウ		○	V03-01
494	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-01
495	Close ボタン	Register Migration WWPN Setting ウィンドウを閉じる	○	V03-01
496	Last update time ステータス	最終更新時間を表示する	○	V03-01
497	Not Registered ステータス	未登録状態数を表示する	○	V03-01
498	Registered ステータス	登録状態数を表示する	○	V03-01
499	Unknown ステータス	不明状態数を表示する	○	V03-01
500	Total ステータス	すべての総数を表示する	○	V03-01
501	Migration History ウィンドウ		○	V01-00
502	リスト	LPAR ごとにマイグレーションの移動履歴 (HVM ID、LPAR No.) を表示する (1 ページで 5 回分の履歴を表示)	○	V01-00
503	<< ボタン	最初のページを表示	○	V01-00
504	< ボタン	1 つ前のページを表示	○	V01-00
505	> ボタン	次のページを表示	○	V01-00
506	>> ボタン	最終ページを表示	○	V01-00
507	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

8 ファームウェア更新

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (F/W Update タブ)		○	V02-01
2	Menu フレーム		○	V02-01
3	F/W Update ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) を開く	×	V02-01
4	Show Version ボタン	Firmware Version List ウィンドウを開く	○	V02-01
5	F/W Update History フレーム		○	V02-01
6	Detail チェックボックス	F/W Update History リスト中の詳細情報の表示 / 非表示を切り替える 【チェックあり】 F/W Update History リスト中に詳細情報を表示する 【チェックなし】 (デフォルト) F/W Update History リスト中に詳細情報を表示しない	○	V02-01
7	Show F/W Update History チェックボックス	F/W Update History ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える 【チェックあり】 F/W Update History ウィンドウを表示する 【チェックなし】 (デフォルト) F/W Update History ウィンドウを表示しない	○	V02-01
8	F/W Update History リスト	ファームウェア更新履歴を表示する	○	V02-01
9	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)		×	V02-01
10	System List フレーム		×	V02-01
11	コンボボックス	HVM ファームウェア更新対象のシステム構成を選択する All configuration (デフォルト) 選択したシステムの構成は HVM List フレーム内のツリービューに表示する	×	V02-01
12	Update ボタン / Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 選択したシステムに登録されている HVM 情報を更新する 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	×	V02-01
13	HVM List フレーム		×	V02-01
14	ツリービュー	詳細情報を表示する項目 (Chassis、HVM) を選択する (選択した項目の詳細情報はリストに表示する)	×	V02-01
15	リスト (Chassis、HVM 情報)	ツリービューで選択した項目 (Chassis、HVM) の詳細情報を表示する	×	V02-01
16	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step2 : Select Update Version ウィザード) を進む	×	V02-01

17	Close ボタン	Close HVM Firmware Update ウィンドウを開く	×	V02-01
18	Close HVM Firmware Update ウィンドウ (Close ボタンをクリックした場合)		×	V02-01
19	OK ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウを閉じる	×	V02-01
20	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-01
21	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step2 : Select Update Version ウィザード)		×	V02-01
22	BladeSymphony 2000-DP チェックボックス	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェア選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	×	V02-01
23	コンボボックス	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョンを選択する	×	V02-01
24	Select ボタン	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアの登録ディレクトリを指定する	×	V02-01
25	BladeSymphony 2000-MP チェックボックス	更新後の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェア選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	×	V02-01
26	コンボボックス	更新後の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョンを選択する	×	V02-01
27	Select ボタン	更新後の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアの登録ディレクトリを指定する	×	V02-01
28	BladeSymphony 320 チェックボックス	更新後の BladeSymphony 320 用 HVM ファームウェア選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	×	V02-01
29	コンボボックス	更新後の BladeSymphony 320 用 HVM ファームウェアバージョンを選択する	×	V02-01
30	Select ボタン	更新後の BladeSymphony 320 用 HVM ファームウェアの登録ディレクトリを指定する	×	V02-01
31	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) に戻る	×	V02-01
32	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step3 : Select Target Version ウィザード) に進む	×	V02-01

33	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01
34	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step3 : Select Target Version ウィザード)		×	V02-01
35	BladeSymphony 2000-DP チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	×	V02-01
36	コンボボックス (Target HVM F/W Version : From)	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョン(最古)を選択する	×	V02-01
37	Target Range チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】(デフォルト) HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を有効にする 【チェックなし】 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を無効にする	×	V02-01
38	コンボボックス (Target HVM F/W Version : To)	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)を選択する	×	V02-01
39	Update Version	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョンを表示する	×	V02-01
40	BladeSymphony 2000-MP チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	×	V02-01
41	コンボボックス (Target HVM F/W Version : From)	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョン(最古)を選択する	×	V02-01
42	Target Range チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】(デフォルト) HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を有効にする 【チェックなし】 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を無効にする	×	V02-01
43	コンボボックス (Target HVM F/W Version : To)	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)を選択する	×	V02-01

44	Update Version	更新後の BladeSymphony2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョンを表示する	×	V02-01
45	BladeSymphony 320 チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 320 用 HVM 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	×	V02-01
46	コンボボックス (Target HVM F/W Version : From)	更新対象の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョン(最古)を選択する	×	V02-01
47	Target Range チェックボックス	更新対象の BladeSymphony320 用 HVM ファーム ウェアバージョン(最新)選択の有効/無効を切 り替える 【チェックあり】(デフォルト) HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を有 効にする 【チェックなし】 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を無 効にする	×	V02-01
48	コンボボックス (Target HVM F/W Version : To)	更新対象の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)を選択する	×	V02-01
49	Update Version	更新後の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョンを表示する	×	V02-01
50	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step2 : Select Update Version ウィザード) に戻る	×	V02-01
51	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step4 : Select Target HVM ウィザード)に進 む	×	V02-01
52	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01

53	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step4 : Select Target HVM ウィザード)		×	V02-01
54	Select HVM List フレーム		×	V02-01
55	ツリービュー		×	V02-01
56	チェックボックス	更新対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 更新対象の HVM に選択する 【チェックなし】 更新対象の HVM に選択しない	×	V02-01
57	リスト		×	V02-01
58	Detail チェックボックス	リスト中の HVM の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中の HVM の詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中の HVM の詳細情報を表示しない	×	V02-01
59	チェックボックス	更新対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 更新対象の HVM に選択する 【チェックなし】 更新対象の HVM に選択しない	×	V02-01
60	リスト(更新対象 HVM 情報)		×	V02-01
61	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step3 : Select Target Version ウィザード) に戻る	×	V02-01
62	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step5 : Set Verup License Key ウィザード) に進む	×	V02-01
63	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01
64	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step5 : Set Verup License Key ウィザード)		×	V02-01
65	Select Verup License Key File ボタン	バージョンアップ用ライセンスキーファイルを選択する	×	V02-01
66	Verup License Key Setting List フレーム		×	V02-01
67	Detail チェックボックス	リスト中(更新対象 HVM 情報)の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示しない	×	V02-01
68	リスト(更新対象 HVM 情報)		×	V02-01
69	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step4 : Select Target HVM ウィザード)に戻る	×	V02-01

70	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step6 : Check Connection ウィザード)に進む	×	V02-01
71	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01
72	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step6 : Check Connection ウィザード)		×	V02-01
73	Password Setting List フレーム		×	V02-01
74	Detail チェックボックス	リスト中(更新対象 HVM 情報)の詳細情報の 表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示 する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示 しない	×	V02-01
75	リスト(更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示、HVM Web システムの ログインパスワードを入力する	×	V02-01
76	Information ボタン	Information ウィンドウを開く 本ボタンは Next ボタンクリック後に表示され る	×	V02-01
77	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step5 : Set Verup License Key ウィザード) に戻る	×	V02-01
78	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step7 : Execute Update ウィザード)に進む 本ボタンクリックにより HVM Web システムとの 接続確認を行うためウィザードの更新までに 少々時間を要します	×	V02-01
79	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01

80	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step7 : Execute Update ウィザード)		×	V02-01
81	HVM F/W Update List フレーム		×	V02-01
82	Detail チェックボックス	リスト中 (更新対象 HVM 情報) の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示する 【チェックなし】 (デフォルト) リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示しない	×	V02-01
83	リスト (更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示する	×	V02-01
84	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step6 : Check Connection ウィザード) に戻る	×	V02-01
85	Next ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-01
86	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01
87	Confirm ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		×	V02-01
88	OK ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step8 : Update Status ウィザード) に進み HVM ファームウェアの更新を実行する	×	V02-01
89	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-01
90	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step8 : Update Status ウィザード)		×	V02-01
91	HVM F/W Update List フレーム		×	V02-01
92	Detail チェックボックス	リスト中 (更新対象 HVM 情報) の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示する 【チェックなし】 (デフォルト) リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示しない	×	V02-01
93	チェックボックス	更新対象の HVM を選択する 【チェックあり】 更新対象の HVM に選択する 【チェックなし】 (デフォルト) 更新対象の HVM に選択しない	×	V02-01
94	リスト (更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示する	×	V02-01
95	Information ボタン	Information ウィンドウを開く	×	V02-01
96	Retry ボタン	HVM ファームウェアの更新を再実行する 本ボタンは HVM ファームウェア更新が異常終了した場合に有効になる	×	V02-01
97	Finish ボタン	Close ウィンドウを開く 本ボタンは HVM ファームウェア更新が正常終了した場合に有効になる	×	V02-01
98	Close ボタン	Close ウィンドウを開く	×	V02-01
99	Close ウィンドウ (Finish ボタン、Close ボタンをクリックした場合)		×	V02-01

100		OK ボタン	本ウインドウ、HVM Firmware Update ウインドウを閉じる	×	V02-01
101		Cancel ボタン	本ウインドウを閉じる	×	V02-01
102		Firmware Version List ウインドウ		○	V02-01
103		System List フレーム	HVM Firmware Update ウインドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「System List フレーム」の説明をご参照ください	○	V02-01
104		Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	HVM Firmware Update ウインドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Update ボタン/Update Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-01
105		Export ボタン	F/W Version List の表示内容を CSV ファイルに出力する	○	V02-01
106		F/W Version List	HVM の詳細情報を表示する	○	V02-01
107		Close ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V02-01
108		F/W Update History ウインドウ		○	V02-01
109		リスト	HVM ごとにファームウェアの更新履歴 (HVM ID、ファームウェアバージョン) を表示する (1 ページで 5 回分の履歴を表示)	○	V02-01
110		<< ボタン	最初のページを表示する	○	V02-01
111		< ボタン	1 つ前のページを表示する	○	V02-01
112		> ボタン	次のページを表示する	○	V02-01
113		>> ボタン	最終ページを表示する	○	V02-01
114		Close ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V02-01

9 Remote LPAR Control

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (Remote LPAR Control タブ)		○	V03-02
2	Menu フレーム		○	V03-02
3	Status アイコン	サービスの状態を表示する	○	V03-02
4	Update ボタン /Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 登録した HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	○	V01-00
5	Remote LPAR Control Menu フレーム		○	V03-02
6	Setting ボタン	Remote LPAR Control Setting ウィンドウを表示する	○	V03-02
7	Edit User ボタン	Remote LPAR Control User Setting ウィンドウを表示する	○	V03-02
8	Service Status ボタン	Remote LPAR Control Service Status ウィンドウを表示する	○	V03-02

9	Remote LPAR Control Setting ウィンドウ		○	V03-02
10	Web Server Connection メニュー		○	V03-02
11	TCP Server Port テキストボックス	Web サーバとの通信で利用する TCP ポートを設定する	○	V03-02
12	Web Server IP Address1 テキストボックス	管理サーバとの通信で利用する Web サーバの IP アドレスを設定する	○	V03-02
13	Web Server IP Address2 テキストボックス	管理サーバとの通信で利用する Web サーバの IP アドレスを設定する	○	V03-02
14	Web Server IP Address3 テキストボックス	管理サーバとの通信で利用する Web サーバの IP アドレスを設定する	○	V03-02
15	Web Server IP Address4 テキストボックス	管理サーバとの通信で利用する Web サーバの IP アドレスを設定する	○	V03-02
16	Web Application Setting メニュー		○	V03-02
17	Max No. of Users	Web アプリケーションに接続する最大 OS 管理者数	○	V03-02
18	TimeOut	Web アプリケーションの接続タイムアウト時間	○	V03-02
19	HVM Web System Setting メニュー		○	V03-02
20	Show ボタン	HVM Web System Setting ウィンドウを表示する	○	V03-02
21	HVM Web System Setting ウィンドウ	登録された HVM 用の HVM Web システムのユーザー ID またはパスワードを表示する	○	V03-02
22	Password Setting フレーム		○	V03-02
23	HVM IP Address 列	HVM IP アドレスを表示する	○	V03-02
24	HVM ID 列	HVM ID を表示する	○	V03-02
25	User ID 列	ユーザー ID を表示する	○	V03-02
26	Password 列	パスワードを表示する	○	V03-02
27	OK ボタン	設定した内容を反映し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
28	Cancel ボタン	設定した内容をキャンセルする	○	V03-02
29	OK ボタン	設定した内容を反映し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
30	Cancel ボタン	設定した内容をキャンセルする	○	V03-02

31	Remote LPAR Control User Setting ウィンドウ		○	V03-02
32	User Information フレーム		○	V03-02
33	Display Mode ラジオボタン	ユーザ情報の表示モードを選択する All: 全ユーザを表示する User: 選択されたユーザ情報のみを表示する	○	V03-02
34	Registered User List フレーム		○	V03-02
35	User ID 列	登録したユーザのユーザ ID を表示する	○	V03-02
36	HVM IP Address 列	【Display Mode が All の場合のみ表示】 HVM IP アドレスを表示する	○	V03-02
37	HVM ID 列	【Display Mode が All の場合のみ表示】 HVM ID を表示する	○	V03-02
38	#列	【Display Mode が All の場合のみ表示】 LPAR 番号を表示する	○	V03-02
39	LPAR Name 列	【Display Mode が All の場合のみ表示】 LPAR 名称を表示する	○	V03-02
40	Host Name 列	【Display Mode が All の場合のみ表示】 設定したホスト名を表示する	○	V03-02
41	LPAR List フレーム		○	V03-02
42	HVM IP Address 列	【Display Mode が User の場合のみ表示】 HVM IP アドレスを表示する	○	V03-02
43	HVM ID 列	【Display Mode が User の場合のみ表示】 HVM ID を表示する	○	V03-02
44	#列	【Display Mode が User の場合のみ表示】 LPAR 番号を表示する	○	V03-02
45	LPAR Name 列	【Display Mode が User の場合のみ表示】 LPAR 名称を表示する	○	V03-02
46	Host Name 列	【Display Mode が User の場合のみ表示】 設定したニックネームを表示する	○	V03-02
47	List Operation フレーム		×	V03-02
48	Add User ボタン	Remote LPAR Control User Setting ウィンドウ (編集用) を表示する	×	V03-02
49	Edit User ボタン	Edit User ウィンドウを表示する	×	V03-02
50	Edit User ウィンドウ		×	V03-02
51	User ID 列	変更するユーザ ID を選択する	×	V03-02
52	OK ボタン	【変更するユーザ ID を選択した場合のみ活性】 Remote LPAR Control User Setting ウィンドウ (編集用) を表示する	×	V03-02
53	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
54	Remove User ボタン	Remove User ウィンドウを表示する	×	V03-02
55	Remove User ウィンドウ		×	V03-02
56	チェックボックス列	削除するユーザ ID を選択する	×	V03-02
57	User ID 列	削除するユーザ ID を選択する	×	V03-02
58	OK ボタン	【削除するユーザ ID を選択した場合のみ活性】 選択したユーザ ID を削除する	×	V03-02
59	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-02

60	Export CSV ボタン	Input CSV Filename ウィンドウを表示する	○	V03-02
61	Input CSV Filename ウィンドウ		○	V03-02
62	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-02
63	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V03-02
64	Remote LPAR Control User Setting ウィンドウ(編集用)		×	V03-02
65	User ID テキストボックス	ユーザ ID を入力する	×	V03-02
66	Password テキストボックス	パスワードを入力する	×	V03-02
67	LPAR Selection フレーム		×	V03-02
68	ツリービュー	OS 管理者に操作許可を与える LPAR を選択する	×	V03-02
69	Selected LPAR フレーム		×	V03-02
70	HVM IP Address 列	選択された LPAR を含む HVM の IP アドレスを表示する	×	V03-02
71	HVM ID 列	選択された LPAR を含む HVM の HVM ID を表示する	×	V03-02
72	#列	選択された LPAR の番号を表示する	×	V03-02
73	LPAR Name 列	選択された LPAR の名称を表示する	×	V03-02
74	Host Name 列	選択された LPAR に設定したニックネームを表示する	×	V03-02
75	OK ボタン	編集内容を保存し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
76	Cancel ボタン	編集内容を破棄し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02

77	Remote LPAR Control Service Status ウィンドウ		○	V03-02
78	Service Status フレーム	サービスの状態や OS 管理者のログイン状態を表示する	○	V03-02
79	Status アイコン	サービスの状態を表示する	○	V03-02
80	Start ボタン	サービスをスタートする	×	V03-02
81	Stop ボタン	サービスをストップする	×	V03-02
82	User List フレーム		○	V03-02
83	チェックボックス列	【チェックあり】 Event Log フレームにイベントログが表示される 【チェックなし】 Event Log フレームにイベントログが表示されない	○	V03-02
84	User ID 列	Virtage Navigator に登録された OS 管理者のユーザ ID を表示する	○	V03-02
85	Status 列	Web アプリケーションへの接続状態を表示する	○	V03-02
86	Login Time 列	Web アプリケーションへの最終ログイン時刻を表示する	○	V03-02
87	Last Access Time 列	Web アプリケーションの最終操作時刻を表示する	○	V03-02
88	List Operation フレーム		×	V03-02
89	Disconnect ボタン	User List フレーム内のチェックボックスにチェックをつけたユーザの Web アプリケーションへの接続を切断する	×	V03-02
90	Event Log フレーム		○	V03-02
91	Level 列	イベントのレベルを表示する	○	V03-02
92	Date 列	イベントが発生した日時を表示する	○	V03-02
93	Code 列	イベントコードを表示する	○	V03-02
94	User ID 列	イベントが発生した OS 管理者のユーザ ID を表示する	○	V03-02
95	Type 列	イベントのタイプを表示する	○	V03-02
96	Event 列	イベントの内容を表示する	○	V03-02
97	Action 列	イベントに対して講じるべき対策を表示する	○	V03-02
98	Close ボタン	Remote LPAR Control Service Status ウィンドウを閉じる	○	V03-02

10 ソリューション

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/ 変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (Solution タブ)		○	V02-03
2	Easy Start ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)を開く	×	V02-03
3	Easy Start History ボタン	Easy Start History ウィンドウを開く	○	V02-03
4	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)		×	V02-03
5	HVM List フレーム		×	V02-03
6	Import ボタン	HVM 設定ファイルを選択してください ウィンドウを開く	×	V02-03
7	HVM 設定ファイルを選択してください。ウィンドウ (Easy Start ウィンドウの Import ボタンクリック時に開くウィンドウ)		×	V02-03
8	開くボタン	選択した HVM 設定ファイルを読み込む	×	V02-03
9	キャンセルボタン	HVM 設定ファイルの読み込みを取り止める	×	V02-03
10	Delete ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-03
11	Confirm ウィンドウ		×	V02-03
12	リスト	削除対象の HVM を表示	×	V02-03
13	OK ボタン	削除対象の HVM をリストより削除	×	V02-03
14	Cancel ボタン	HVM の削除を取り止める	×	V02-03
15	リスト		×	V02-03
16	チェックボックス	設定対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 設定対象の HVM に選択する 【チェックなし】 設定対象の HVM に選択しない	×	V02-03
17	リスト(設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示する	×	V02-03
18	Next ボタン	Load HVM Setting File を開く	×	V02-03
19	Load HVM Setting File ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
20	YES ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step2 : Connection to SVP ウィザード)に進む	×	V02-03
21	NO ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
22	Close ボタン	Close ウィンドウを開く	×	V02-03
23	Close ウィンドウ (Close ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
24	OK ボタン	Easy Start ウィンドウを閉じる	×	V02-03
25	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03

26	Easy Start ウィンドウ (Step2 : Connection to SVP ウィザード)		×	V02-03
27	HVM List フレーム		×	V02-03
28	リスト		×	V02-03
29	チェックボックス	設定対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 設定対象の HVM に選択する 【チェックなし】 設定対象の HVM に選択しない	×	V02-03
30	リスト (設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示、SVP ログイン用に SVP IP アドレス、SVP ログインユーザ ID、および SVP ログインパスワードを入力する	×	V02-03
31	Back ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-03
32	Confirm ウィンドウ (Back ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
33	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)に戻る	×	V02-03
34	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
35	Next ボタン	【実行対象の HVM がある場合】 Confirm ウィンドウを開く 【実行対象の HVM がない場合】 Easy Start ウィンドウ (Step3 : Initial Setting ウィザード)に進む	×	V02-03
36	Confirm ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
37	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step3 : Initial Setting ウィザード)に進む	×	V02-03
38	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
39	Close ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-03
40	Easy Start ウィンドウ (Step3 : Initial Setting ウィザード)		×	V02-03
41	HVM List フレーム		×	V02-03
42	リスト		×	V02-03
43	チェックボックス	設定対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 設定対象の HVM に選択する 【チェックなし】 設定対象の HVM に選択しない	×	V02-03
44	リスト (設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示する	×	V02-03
45	Stop ボタン (実行中の HVM の Step が HVM Powering ON になっている時のみ表示)	Stop HVM ウィンドウを開く	×	V02-03

46	Stop HVM ウィンドウ (Stop ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
47	Powering HVM List フレーム		×	V02-03
48	リスト		×	V02-03
49	チェックボックス	処理停止対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 処置停止対象の HVM に選択する 【チェックなし】 処理停止対象の HVM に選択しない	×	V02-03
50	リスト (処理停止対象 HVM 情報)	処理停止対象 HVM の情報を表示する	×	V02-03
51	OK ボタン	処理停止対象 HVM の実行を停止する	×	V02-03
52	Cancel ボタン	処理停止対象 HVM の実行の停止を取り止める	×	V02-03
53	Back ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-03
54	Confirm ウィンドウ (Back ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
55	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step2 : Connection to SVP ウィザード) に戻る	×	V02-03
56	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
57	Next ボタン	【実行対象の HVM がある場合】 Confirm ウィンドウを開く 【実行対象の HVM がない場合】 Easy Start ウィンドウ (Step4 : LPAR Setting ウィザード)に進む	×	V02-03
58	Confirm ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
59	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step4 : LPAR Setting ウィザード)に進む	×	V02-03
60	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
61	Close ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-03

62	Easy Start ウィンドウ (Step4 : LPAR Setting ウィザード)		×	V02-03
63	HVM List フレーム		×	V02-03
64	リスト		×	V02-03
65	チェックボックス	設定対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 設定対象の HVM に選択する 【チェックなし】 設定対象の HVM に選択しない	×	V02-03
66	アイコン	エラーや警告がある時にダブルクリック するとエラーや警告の詳細ウィンドウを 表示する	×	V02-03
67	コンボボックス	設定完了後の HVM 搭載ブレードの 電源状態を選択する	×	V02-03
68	リスト (設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示する	×	V02-03
69	View ボタン	Configuration Comparison ウィンドウを 開く	×	V02-03
70	Configuration Comparison ウィンドウ (View ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
71	Report ボタン	サブウィンドウ (フォルダの参照ウイン ドウ) を開く	×	V02-03
72	フォルダの参照ウィンドウ		×	V02-03
73	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		×	V02-03
74	Configuration Comparison List フレーム		×	V02-03
75	リスト	HVM 設定ファイルと設定対象 HVM (設定前 のみ) の差分情報を表示する	×	V02-03
76	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
77	Back ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-03
78	Confirm ウィンドウ (Back ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
79	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step3 : Initial Setting ウィザード) に戻る	×	V02-03
80	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
81	Next ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-03
82	Confirm ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
83	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step5 : Setting Result ウィザード) に 進む	×	V02-03
84	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
85	Close ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザ ード) の「Close ボタン」の説明をご参照 ください	×	V02-03

86	Easy Start ウィンドウ (Step5 : Setting Result ウィザード)		×	V02-03
87	HVM List フレーム		×	V02-03
88	リスト		×	V02-03
89	リスト (設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示する	×	V02-03
90	View ボタン	Configuration Comparison ウィンドウを開く	×	V02-03
91	Configuration Comparison ウィンドウ		×	V02-03
92	Report ボタン	サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	×	V02-03
93	フォルダの参照ウィンドウ		×	V02-03
94	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		×	V02-03
95	Configuration Comparison List フレーム		×	V02-03
96	リスト	HVM 設定ファイルと設定対象 HVM (設定前と設定後) の差分情報を表示する	×	V02-03
97	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
98	Finish ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-03
99	Confirm ウィンドウ (Finish ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
100	OK ボタン	本ウィンドウ、Easy Start ウィンドウを閉じる	×	V02-03
101	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
102	Easy Start History ウィンドウ		○	V02-03
103	Easy Start History List フレーム		○	V02-03
104	アイコン	エラーや警告がある時にダブルクリックするとエラーや警告の詳細ウィンドウを表示する	○	V02-03
105	リスト	Easy Start の実行履歴を表示する	○	V02-03
106	Delete ボタン	Easy Start History ウィンドウを開く	×	V02-03
107	Easy Start History ウィンドウ (Delete ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
108	Yes ボタン	選択中の実行履歴を削除する	×	V02-03
109	No ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
110	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V02-03

11 メッセージ一覧

本章では、Virtage Navigator が出力するメッセージを紹介します。

メッセージについては、メッセージコードの先頭の 4 桁をご確認いただくことにより、Virtage Navigator のどの機能のメッセージに相当するのか判断することができます。

表 11-1 メッセージコードの分類

メッセージコード 先頭 4 桁	Virtage Navigator 機能
0000	共通(※)
1000	共通(※)
2000	LPAR 設定
2002	共通(※)
2003	LPAR 設定
2004	共通(※)
3000	LPAR 設定
3001	LPAR 設定
3002	LPAR 設定
3005	共通(※)
3006	ソリューション
4000	モニタリング
5000	ファームウェア更新
6xxx	LPAR マイグレーション
7xxx	Remote LPAR Control

※メッセージが Virtage Navigator の複数の機能で使われていることを意味する

11.1 共通メッセージ

Virtage Navigator の複数の機能で使用するメッセージは表 11-2 のとおりです。

表 11-2 複数機能で使用するメッセージ

メッセージ内に記載されている {x} については補足内容をご参照ください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
00000000	Success.	—	—
10000001	HVM 情報の更新に失敗しました。 HVM IP Address: {0} HVM の電源状態やネットワーク状況を確認してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000002	HVM の起動が完了しているにもかかわらず、HVM 情報が取得できない場合は以下を確認してください。 1. HVM に登録されている IP アドレスの設定値が正しいこと。 2. このコンピュータの IP アドレスが BSM IP アドレスまたは CLI IP アドレスとして登録されていること。 3. このコンピュータと HVM 間のネットワークに問題がないこと。 4. このコンピュータに複数の IP アドレスが登録されている場合、Option 画面 - HVM Connection - Communicate IP Address に、HVM との通信に使用する IP アドレスが登録してあること。 確認後、本メッセージウィンドウを閉じてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000003	HVM 情報が最新ではない可能性があります。 HVM の電源状態やネットワーク状況を確認し、Update 操作を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000010	使用可能ライセンス時の上限 {0} を超えたため、HVM 情報の登録に失敗しました。 HVM IP Address : {1} Profile から、不要な HVM 登録を削除してください。	{0}:使用可能 HVM 数 {1}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000011	HVM 情報の保存に失敗しました。 HVM IP Address : {0} ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000012	HVM 情報の保存に失敗しました。 HVM IP Address : {0} 利用可能メモリが不足しています。 下記を実施しても改善されない場合は、Virtage Navigator を再起動してください。 ・他のアプリケーションを終了させてください。 ・Virtage Navigator の他のウィンドウを閉じてください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000013	HVM 情報の保存に失敗しました。 HVM IP Address : {0} ----- Internal error occurred. Status : {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:内部ステータス	弊社サポートサービスへお問い合わせください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
10000014	複数の操作が実行されているため、処理がタイムアウトしました。 HVM IP Address : {0} しばらく経ってから、再度実行してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000020	HVM の構成情報の保存中にアプリケーションの内部障害が発生しました。	—	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
10000021	情報の保存に失敗しました。 ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000022	履歴ログの保存に失敗しました。 ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。 もう一度、履歴ログの保存を行う場合は OK をクリックしてください。履歴ログの保存をあきらめる場合は Cancel をクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000030	Get Technical Information is completed.	—	—
10000031	Stop the Get Technical Information. Are you sure? Retry if stopped.	—	処理を中断した場合は、再度実行してください。
10000032	Failed to Get Technical Information. Detail: {0} Check the folder and computer, and retry.	{0}:VirtGetLogs のエラーメッセージ	情報の出力先状態を確認後、再度実行してください。
10000033	Failed to Get Technical Information. Check the folder and computer, and retry.	—	情報の出力先状態を確認後、再度実行してください。
10000034	Trouble Menu has completed.	—	—
10000035	Trouble Menu has failed. detail: {0} Check output destination folder and status of computer running Virtage Navigator, and then retry the failed operation.	{0}: HvmSh のエラーメッセージ	メッセージに従い、対処してください。
10000036	Trouble Menu has failed. Check output destination folder and status of computer running Virtage Navigator, and then retry the failed operation.	—	メッセージに従い、対処してください。
10000037	“Trouble Menu” has been canceled.	—	—
1000003F	Internal error occurred. Reboot the program and retry.	—	Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。
10000040	Virtage Navigator will be set to Reference. You cannot operate all operating controls. Are you sure?	—	メッセージに従い、対処してください。
10000041	Virtage Navigator will be set to Normal. You can operate all operating controls. Are you sure?	—	メッセージに従い、対処してください。
10000042	参照モードのため、設定の変更はできません。 反映する場合、通常モードにしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
1000010x	R-KVM Application(ReClient)が検出できませんでした。 R-KVM Application(ReClient)のインストール状況を確認してください。	X:0,1(内部ステータス)	メッセージに従い、対処してください。
1000011x	Internet Explorer の起動時にエラーが発生しました。 Internet Explorer のインストール状況を確認してください。	X:内部ステータス	メッセージに従い、対処してください。
10000200	Terminal Application のパスが設定されていません。 Option 画面 - Other - Terminal Application Setting - Path に、Application の実行ファイルを設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000201	Terminal Application のパスにファイルが存在していません。 Option 画面 - Other - Terminal Application Setting - Path の設定を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
1000020F	Terminal Application の起動時にエラーが発生しました。 画面を閉じてから、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000210	必要なマクロファイルが存在しません。 ファイル名 : {0} ユーザズガイドに従って、マクロファイルを作成してください。	{0}:マクロファイル 名称	メッセージに従い、対処してください。
10000211	指定された HVM に対して、本機能はサポートされていません。 HVM IP Address : {0} サポート状況を確認してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000300	"Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5" might not be installed. Check if the software is correctly installed.	—	メッセージに従い、対処してください。
10001000	実行中の処理は中断され、未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10001001	画面を閉じてよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10001002	エラー終了した HVM があります。 リトライを行わずに画面を閉じます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10001003	終了処理を行っています。 しばらくお待ちください。	—	—
10001004	実行中の処理を中断して、画面を閉じます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10001005	{0} Are you sure?	{0}: WVN 設定関連文	メッセージに従い、対処してください。
10002000	未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10002001	前回指定したフォルダパスの読み込み中に内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10002002	指定したフォルダパスの保存中に内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10002003	前回指定したフォルダパスの読み込みに失敗しました。 フォルダ指定画面ではデスクトップが初期表示されます。 前回指定したフォルダを初期表示するにはVirtage Navigator を再起動してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
10002004	指定したフォルダパスの保存に失敗しました。 指定したフォルダパスは Virtage Navigator の再起動時に読み込まれません。 指定したフォルダパスを保存するには、 Virtage Navigator を再起動し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10002005	前回指定したフォルダパスの読み込みに失敗しました。 Virtage Navigator インストールフォルダ ¥VirNavi¥FWUpdateFiles¥HVM¥ {0} が初期表示されます。	{0} : フォルダ名 BS320 BS2000MP BS2000DP	—
10002006	設定情報の保存に失敗しました。(SaveOperationFile.xml) V-Navi を再起動し Get Technical Information を実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10002007	設定情報の読み込みに失敗しました。 (SaveOperationFile.xml) Get Technical Information を実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10003000	HVM へのログインに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	ログインユーザ名とログインパスワードを見直し、HvmSh エラーメッセージに従い、対処してください。
10003001	HVM からのログアウトに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージに従い、対処してください。
10003002	Invalid {0}. Reason : {1} Input valid {0}.	{0} : ログインユーザ名 {1} : 詳細エラー内容	メッセージを確認し、対処してください。
10003003	Invalid {0}. Reason : {1} Input valid {0}.	{0} : ログインパスワード {1} : 詳細エラー内容	メッセージを確認し、対処してください。
10003004	セキュリティ設定の保存を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10003005	入力値に不正な値があります。 正しい値を入力後、保存してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10003006	セキュリティ設定の保存に失敗しました。 : {0} ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。	{0} : パラメータ値	メッセージに従い、対処してください。
10003007	入力値の読み込みに失敗しました。 : {0} Virtage Navigator を再起動してください。	{0} : パラメータ値	メッセージに従い、対処してください。
10003008	ユーザアカウントのデータが設定されていません。	—	セキュリティ設定をしてください。
10003009	HVM との通信テストでエラーが発生しました。 詳細 : {0} 設定値を確認後、再実行してください。	{0} : パラメータ値	メッセージに従い、対処してください。
1000300A	変更内容を保存していません。変更内容はクリアされます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
1000300B	Invalid {0}. Reason : {1} Input valid {0}.	{0} : ログインユーザ名 {1} : 詳細エラー内容	メッセージを確認し、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
1000300C	{0} が空文字です.	{0} : ログインユーザ名	設定を確認してください.
1000300D	{0} が空文字です.	{0} : ログインパスワード	設定を確認してください.
1000300E	入力値に以下の警告があります. {0} このまま保存してもよろしいですか?	{0} : 詳細エラー内容	メッセージに従い, 対処してください.
1000300F	Invalid {0}. Reason : {1} Input valid {0}.	{0} : ログインユーザ名 {1} : 詳細エラー内容	メッセージを確認し, 対処してください.
10003FFF	内部エラーが発生しました. {0}	{0} : 詳細エラー内容	V-Navi を再起動して, 再度実施してください.
10004001	HVM ダンプの採取に失敗しました. cmd : {0} {1}	{0} : 採取に失敗した HvmSh のコマンド {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージに従い, 対処してください.
10004002	HVM が選択されていません.	—	対象 HVM を選択してください.
20020001	シャーシの種類が識別できませんでした. シャーシの種類がサポート対象か確認してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
20020002	マネジメントモジュールのファームウェアのバージョンが識別できませんでした. マネジメントモジュールのファームウェアバージョンがサポート対象か確認してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
20020003	未サポートの OS モードが設定されました.	—	OS モードの設定を確認してください.
20020004	VNIC System No の設定が正しくありません. VNIC System No の設定を確認してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
2002FFFF	マネジメントモジュールとの通信中に障害が発生しました. マネジメントモジュールのファームウェアバージョンと, ネットワークの接続を確認し, 再度操作を実行してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
20040001	シャーシ情報が見つかりませんでした. IP アドレスの設定を確認してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
20040002	操作対象の BMC の IP アドレスが見つかりませんでした.	—	—
20040003	SVP の情報が見つかりませんでした. SVP の情報を登録してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
20040004	操作対象のブレードの BMC 情報が見つかりませんでした. ブレードの BMC 情報を登録してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30050101	SVP にログインできませんでした. SVP の IP アドレス, または SVP の F/W Version を確認後, 再度実行してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30050102	接続タイムアウトしました. 通信状態を確認後, 再度実行してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30050103	SVP との接続に失敗しました. 対象コマンド : {0} 通信状態を確認後, 再度実行してください.	{0} : 内部使用コマンド名称	メッセージに従い, 対処してください.

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30050105	{0} で SVP から失敗応答がありました。 Command : {1} SlotNo : {2} Code : {3} Message : {4} 状態確認後、再度実行してください。	{0}: 内部使用コマンド説明 {1}: 内部使用コマンド名称 {2}: 対象 Partition 番号 {3}: 内部使用コマンド種別 {4}: 内部使用コマンドのエラーメッセージ	メッセージに従い、対処してください。
30050106	コマンド({0})の解析に失敗しました。 {1} コマンドの条件を確認してください。	{0}: 内部コマンド名称 {1}: 内部コマンド名称	メッセージに従い、対処してください。
30050107	既にログイン中です。 ログアウト後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050108	SVP とのセッションが切れました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050109	実行に必要なパラメータが設定されていません。 設定値を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050110	接続数の限界を超えています。 接続数を減らしてから再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050111	SVP にログインできませんでした。 SVP のユーザ ID, またはパスワードを確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
300501FF	内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050201	SVP の FTP サーバにログインできませんでした。 IP アドレス, ユーザ名, パスワードを確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050202	接続タイムアウトしました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050203	ファイルの転送に失敗しました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050204	転送タイムアウトしました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050205	ファイルが存在しません。 転送元のファイルを確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050206	保存用ディレクトリが存在しません。 作成しますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30050207	ファイルの転送に失敗しました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050208	ファイルの削除に失敗しました。 ファイルが存在するか確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
300502FF	内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
FFFFF101	Internal error. : Invalid Parameter. {0} : {1}	{0}:パラメータ名称 {1}:パラメータ値	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
FFFFF102	Timeout error occurred. (Lock) しばらく経ってから、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
FFFFF1FB	{0} の処理中に内部障害が発生しました。	{0}:処理内容	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
FFFFF1FC	ユーザ操作により、キャンセルされました。	—	—
FFFFF1FD	{0} 画面の操作で内部障害が発生しました。 一度画面を閉じてから、もう一度操作を行ってください。	{0}:画面名称	メッセージに従い、対処してください。
FFFFF1FE	Unknown internal error.	—	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
FFFFF1FF	Unknown internal error. : Internal Code : {0}	{0}:内部ステータス	弊社サポートサービスへお問い合わせください。

11.2 LPAR 設定用メッセージ

LPAR 設定で使用するメッセージは表 11-3 のとおりです。

表 11-3 LPAR 設定で使用するメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000101	共有 NIC が存在しません。 NIC のスケジュールモードを共有にしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000102	設定された数の LPAR を作成できません。 {0} LPAR 以下の値を設定してください。	{0} : 作成可能 LPAR 数	メッセージに従い、対処してください。
20000103	内部エラーが発生しました。HVM IP Address : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	{0} : HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000104	割り当て可能な共有 NIC が不足しています。 共有 NIC のセグメント状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000105	割り当て可能な共有 FC が不足しています。 共有 FC のポート状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000107	最大 LPAR 数まで定義されているため、LPAR を作成できません。 LPAR 定義されている LPAR 数を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000108	割り当てプロセッサ数が不正です。 {0} プロセッサから {1} プロセッサの値を設定してください。	{0} : 割り当て共有プロセッサ数の最小値 {1} : 割り当て共有プロセッサ数の最大値	メッセージに従い、対処してください。
20000109	割り当てメモリ容量が不正です。 {0} MB から {1} MB の値を設定してください。	{0} : 割り当てメモリ容量の最小値 {1} : 割り当てメモリ容量の最大値	メッセージに従い、対処してください。
20000110	共有 FC が存在しません。 FC のスケジュールモードを共有に設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000111	割り当てメモリ容量の単位が不正です。 {0} MB 単位で設定してください。	{0} : 割り当てメモリ容量の単位	メッセージに従い、対処してください。
20000401	他の端末から構成情報が変更されました。LPAR 番号 : {0} Update を実行後、再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000402	LPAR No. {0} の設定変更が失敗しました。 {1} 再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0} : LPAR 番号 {1} : 詳細エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
20000501	LPAR の削除に失敗しました。LPAR 番号 : {0} 再度、処理を実行してください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000601	構成情報の保存に失敗しました。HVM IP Address : {0} 再度構成情報の保存を実行してください。	{0} : HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000701	本機能がサポートする最大 LPAR 数まで定義されています。 LPAR 定義されている LPAR 数を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000801	LPAR の削除が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000802	LPAR の追加が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000803	LPAR 名の設定が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000804	メモリの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000805	プロセッサの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000806	共有 NIC の変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000807	PCI デバイスの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000808	論理プロセッサアイドル検出機能の更新が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000809	自動 Activate の変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000810	論理 SEL の自動クリアの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000811	プロセッサキャッピング機能の変更が失敗しました。 LPAR 番 号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000812	仮想 COM の変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000813	Pre-boot ファームウェアの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000814	LPAR の論理プロセッサの割り当て変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0}, プロセッサ番号 : {1} {2}	{0} : LPAR 番号 {1} : プロセッサ番号 {2} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000815	プロセッサグループ名の設定が失敗しました。 プロセッサグ ループ番号 : {0} {1}	{0} : プロセッサグル ープ番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000816	物理プロセッサコアのグループ変更が失敗しました。 プロセ ッサグループ番号 : {0}, プロセッサ番号 : {1} {2}	{0} : プロセッサグル ープ番号 {1} : プロセッサ番号 {2} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000817	物理プロセッサの縮退が失敗しました。プロセッサ番号 : {0} {1}	{0}:プロセッサ番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000818	パケットフィルタの設定が失敗しました。セグメント番号 : {0} {1}	{0}:セグメント番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000819	パケットフィルタの設定が失敗しました。セグメント番号 : {0} Update を実行し、再度実行してください。	{0}:セグメント番号	メッセージに従い、対処してください。
20000820	システム情報の設定が失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000821	他の端末より LPAR 情報が更新されています。LPAR 番号 : {0} Update を実行し、再度実行してください。	{0}:LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000822	LPAR の更新情報の取得に失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000823	USB デバイスの更新が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000824	LPAR の追加が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000825	LPAR の削除が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000826	プロセッサグループの追加が失敗しました。Group 番号 : {0} {1}	{0}:プロセッサグループ 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000827	プロセッサグループの削除が失敗しました。Group 番号 : {0} {1}	{0}:プロセッサグループ 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000828	LPAR のゲスト NUMA の更新が失敗しました。	LPAR 番号 : {0}	—
20000829	LPAR の NUMA ノードのメモリ割り当てが失敗しました。	LPAR 番号 : {0}	—
20000830	LPAR のゲストアイドルモードの更新が失敗しました。	LPAR 番号 : {0}	—
20000901	共有 FC の割り当て更新に失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000A01	PCI スケジュールモードの変更は失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アド レス {1}:メッセージ	メッセージに従い、対処してください。
20000B01	ユーザ要求処理が失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アド レス {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000B02	ユーザ要求処理がタイムアウトしました。HVM IP Address : {0} 再度、処理を実行してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000C01	LPAR の追加に失敗しました。LPAR 番号 : {0} 再度、処理を実行してください。	{0}:LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000E01	共有 NIC のデバイス数設定が不正です。HVM IP Address : {0} {1} デバイス以下の共有 NIC を設定してください。	{0}:HVM の IP アドレス {1}:共有 NIC デバイスの最大数	メッセージに従い、対処してください。
20000E02	共有 HBA のデバイス数設定が不正です。HVM IP Address : {0} {1} デバイス以下の共有 HBA を設定してください。	{0}:HVM の IP アドレス {1}:共有 HBA デバイスの最大数	メッセージに従い、対処してください。
20000F01	他の端末から構成情報が変更されたため、{0} 個目の LPAR 作成に失敗しました。 Update を実行し、再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0}: LPAR 作成に失敗した LPAR の作成順	メッセージに従い、対処してください。
20000F02	{0} 個目の LPAR 作成に失敗しました。 Update を実行し、再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0}: LPAR 作成に失敗した LPAR の作成順	メッセージに従い、対処してください。
20000xFF	内部エラーが発生しました。HVM IP Address : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	X=4-6, A-F (内部ステータス) {0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000xFF	内部エラーが発生しました。LPAR 番号 : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	X=8, 9 (内部ステータス) {0}:LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20001001	HVM オプションの設定が失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001101	システム時刻の変更は失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001102	LPAR の SEL 時刻の変更は失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001103	LPAR の時刻合わせに失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001201	HVM のタイムゾーンの変更に失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20001202	HVM のタイムゾーンの変更に失敗しました。 HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
200012FF	内部エラーが発生しました。 HVM IP Address : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
2000FF01	ユーザ要求により処理を中断しました。	—	—
2000FFFF	内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030001	情報の更新は成功しましたが、内部エラーが発生しました。	—	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
20030003	IP アドレスの形式に違反しています。 数値とドットで構成される Ipv4 アドレスを設定してください。 (XXX. XXX. XXX. XXX)	—	メッセージに従い、対処してください。
20030004	使用しているコンピュータの IP アドレスが、 管理サーバとして SVP に登録されていません。 管理サーバとして SVP に IP アドレスを登録しない場合、 HVM 起動後の操作ができません。 続行しますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20030005	使用しているコンピュータの IP アドレスが、 管理サーバとして SVP に登録されてなく CLI IP Address にも登録されていません。 IP アドレスを登録しない場合、 HVM 起動後の操作ができません。 続行しますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20030200	以下のシャーシを検出しました。 ----- {0}	{0}:シャーシ情報	—
20030201	設定された IP アドレスの SVP は既に登録されているため、設定を上書きします。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20030202	未サポートのシャーシが検出されました。 Detected Chassis Type: {0} サポート状況を確認してください。	{0}:シャーシ種別	メッセージに従い、対処してください。
20030203	シャーシが選択されていません。	—	—
20030204	以下のシャーシの登録を削除します。 ----- {0} よろしいですか？	{0}:シャーシ情報	メッセージに従い、対処してください。
20030300	Partition が選択されていません。 Partition を選択してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030301	設定された Partition は搭載されていません。 Partition の状態を確認し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030302	設定された Partition は初期化中です。 Partition の状態を確認し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20030303	設定された Partition でエラーが発生しています。 Partition のエラー状態を回復し、 Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030304	設定された Partition の状態が取得できません。 Partition の状態を確認し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030310	設定された Partition の電源が ON、または OFF ではありません。 電源状態を確認し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030311	設定された Partition の電源が OFF ではありません。 電源状態を確認し、Refresh を実施してください。 なお、電源状態が OFF 以外の Partition を操作するには、 HVM 情報を Profile に登録しておく必要があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030312	設定された Partition の電源が OFF ではありません。 電源状態を確認し、Refresh を実施してください。 OS モードが HVM 以外の Partition を操作するには、 電源状態が OFF である必要があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030320	設定された Partition に対応する HVM 情報が Profile に登録 されています。 前回の HVM 情報の Update から、以下の操作が行われていない ことを確認してください。 ・ HVM スクリーン等による HVM IP アドレスの変更。 ・ HVM 構成情報のリストア、クリア。 ・ ブレード搭載位置の変更。 これらの操作が行われた場合、以降の操作が正常に行えなく なりますので、Cancel をクリックして、Main ウィンドウの Profile タブから HVM を削除してください。 構成が一致している場合は OK をクリックしてください。	—	メッセージに従い、 対処してください。
20030350	ファームウェアのバージョン組み合わせはよろしいですか？ 未サポートのファームウェアに本機能を適用すると、 設定が適用されない場合があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030402	HVM ID に設定できる最大文字数は 16 文字です。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030404	設定された IP アドレスは既に使用されています。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030405	VNIC System No に設定できる値は 1-128 です。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030406	設定された VNIC System No は既に使用されています。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030407	必要項目が設定されていません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030409	サブネットマスクの形式に違反しています。 数値とドットで構成される IPv4 アドレスのサブネットマスク を設定してください。 (XXX.XXX.XXX.XXX)	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20030410	設定されたブレードの HVM 情報が Profile から検出できないためこの操作は実行できません。 Profile に HVM を登録してから、再度実行してください。 既に登録されている場合は、HVM 情報の Update を実施してから再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030480	VNIC System No は、仮想 NIC の MAC アドレス (デフォルト値) の重複を防ぐため、MAC アドレス生成に使用されます。 VNIC System No は、BS1000、BS2000、BS320 などを含むすべてのシステム装置でユニークな値としてください。 他の HVM と重複した場合、LPAR の仮想 NIC の MAC アドレスが重複し、LPAR 上でのネットワーク通信ができなくなります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030481	HVM ID は、複数の HVM システムが存在する場合、それぞれを識別するため設定します。 HVM ID は、BS1000、BS2000、BS320 などを含むすべてのシステム装置でユニークな値としてください。設定しない場合は、HVM IP アドレスから自動生成されます。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030500	設定されたブレードの電源が OFF ではありません。 電源状態を確認し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030501	OS モードを識別できませんでした。 Partition の状態を確認し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030502	電源 ON 監視をしています。 {0} 秒間経ちましたが、電源が ON になりませんでした。 継続して監視を続ける場合は、OK を選択してください。 監視をやめて、手動で電源を ON にする場合は Cancel を選択してください。 Cancel を選択すると、HVM の起動監視が開始されます。 なお、メモリの搭載量や Pre-configure の設定によっては時間がかかる場合があります。	{0} : 電源 ON 監視時間	メッセージに従い、対処してください。
20030503	電源 ON 監視をスキップしますがよろしいですか？ OK を選択する場合は、必ず手動で電源を ON にしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030504	HVM の起動に必要な BIOS 設定は、設定済みですか？	—	BIOS 設定が未設定の場合は、設定してください。
20030505	電源 ON の確認後、R-KVM Console (ReClient) が自動的に起動されるのでログインに必要なユーザ ID、パスワード等の情報を用意してください。 R-KVM Console の起動後、サーバブレードにログインし、ユーザズガイドに従い、BIOS セットアップメニューから設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030506	対象の Partition で Pre-configure が未実行のため、処理を続行できません。 Pre-configure を実行後、再実行してください。 Pre-configure の実行方法については、ブレード装置のユーザズガイドを参照してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20030507	HVM のシステムタイムゾーンの設定に失敗しました。 Time Zone : {0} リトライしますか？ リトライを行う場合は、Yes を選択してください。 No を選択すると、タイムゾーンの設定を行わないで次の画面に進みます。 その場合は、後ほど手動でタイムゾーンの設定を行ってください。 設定方法はユーザーズガイドを参照してください。	{0} : Time Zone	メッセージに従い、対処してください。
20030508	HVM の時刻設定に失敗しました。 リトライしますか？ リトライを行う場合は、Yes を選択してください。 No を選択すると、時刻設定を行わないで次の画面に進みます。 その場合は、後ほど手動で時刻設定を行ってください。 設定方法はユーザーズガイドを参照してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030600	LPAR ({0}) に Virtual Console が設定されていません。 LPAR に Virtual Console を割り当て、Update を実施してください。	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
20030601	LPAR が選択されていません。	—	—
20030602	LPAR が Activate されていません。	—	—
20030603	LPAR ({0}) に、R-KVM に使用する USB デバイスが割り当てられていません。 R-KVM に使用する USB デバイスを割り当て、Update を実施してください。	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
20030604	LPAR ({0}) に、USB デバイスが割り当てられていません。 USB デバイスの割り当てを確認してください。	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
20030605	LPAR {0} の USB デバイスを {1} します。 よろしいですか？	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称 {1} : “Attach” or “Detach”	メッセージに従い、対処してください。
20030606	LPAR {0} の USB デバイスを Detach 後、 LPAR {1} の USB デバイスを Attach します。 よろしいですか？	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称 {1} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
20030607	R-KVM に使用する USB デバイスの識別ができませんでした。	—	—
20030620	継続して HVM Console による操作を行いますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30000101	メモリの設定値が正しくありません。 256MB (0.25GB) 単位で設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30000102	メモリの設定値が使用可能メモリ量を超えています。 使用可能メモリ量の範囲内で設定してください。 使用可能メモリ量 : {0} GB [{1} MB]	{0} : 利用可能メモリ (単位 GB) {1} : 利用可能メモリ (単位 MB)	メッセージに従い、対処してください。
3000A001	SVP 情報が見つからないため、処理を続行できません。 SVP 情報を登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
3000A002	設定された IP アドレスは 既に他の HVM として登録されています。 登録済み HVM ID: {0} 設定値を確認してください。	{0}: 登録済み HVM ID	メッセージに従い, 対処してください。
3000A003	設定された IP アドレスは 既に他の BMC として登録されています。 登録済み シャーシ ID: {0} パーティション: {1} 変更を行いますか?	{0}: 登録済み シャーシ ID {1}: パーティション番号	メッセージに従い, 対処してください。
3000A004	設定された IP アドレスは 既に他の SVP として登録されています。 登録済み シャーシ ID: {0} 設定値を確認してください。 登録済みシャーシの情報は Initial Setup 機能を使用して確認してください。	{0}: 登録済み シャーシ ID	メッセージに従い, 対処してください。
3000A00A	指定された操作は, 対象ブレードではサポートされていません。 サポート状況を確認してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30010101	対象の LPAR 情報の検索に失敗しました。 編集画面をいったん閉じて, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30010102	対象のデバイスの動作モードが {0} ではありません。 対象のデバイスの動作モードを確認してください。	{0}: “Dedicate” or “Share”	メッセージに従い, 対処してください。
30010103	割り当て可能な VNIC 番号がありません。 対象 LPAR の共有 NIC を減らすか, VNIC 番号の割り当てを確認してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30010104	割り当て対象の物理 NIC の検索に失敗しました。 HVM 情報の Update を実施し, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30010105	割り当て可能な共有 NIC がありません。 デバイスの動作モードを変更して 共有デバイスを増やしてください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30010110	割り当て対象の物理 HBA の検索に失敗しました。 HVM 情報の Update を実施し, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30010111	対象の共有 HBA に vfcID の空きがありません。 不要な割り当てを解除するか, 他の HBA を設定してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30020100	不正なデータが登録されているため, 更新処理を実行できません。 Update ボタンをクリックし, 再度設定を行ってください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30020101	LPAR 名に不正な文字が登録されています。 LPAR 名に使用できる文字は, '0' ~ '9', 'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z', '-', '_', ' ' です。 LPAR 名の先頭に使える文字は, 'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z' となります。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30020102	LPAR 名が重複しています。重複 LPAR No : {0} LPAR 名を変更してください。	{0}: LPAR 番号	メッセージに従い, 対処してください。
30020103	割り当てプロセッサ数が適切ではありません。 {0} 以下の値を設定してください。	{0}: 割り当て可能プロセッサ数の最大値	メッセージに従い, 対処してください。
30020104	Activate 中の変更はできません。 Deactivate 後, 変更を行ってください。	—	メッセージに従い, 対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020105	占有プロセッサの場合、変更はできません。 共有プロセッサへ変更後、設定の変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020106	サービス率が適切ではありません。 1以上の値を設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020107	サービス率変更時、スケジュールモードを変更できません。	—	—
30020108	Activate 中の占有プロセッサに対し、変更はできません。 Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020109	Activate 中の LPAR に対し、 スケジュールモードと、プロセッサグループを 同時に変更できません。 一旦コミット処理を実行するか、または Deactivate 後、 設定変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020110	プロセッサキャッピング変更時、スケジュールモードを「S」 から「D」へ変更できません。	—	—
30020111	変更内容がコミットされるまで、変更前の LPAR 名と重複する 値を設定する事はできません。重複 LPAR No: {0} 一旦コミット処理を実行後、LPAR 名の変更を行ってください。	{0} : LPAR No.	メッセージに従い、対処してください。
30020112	共有プロセッサの場合、変更はできません。 占有プロセッサへ変更後、設定の変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020113	ゲスト NUMA の有効/無効の設定変更時、スケジュールモード を「D」から「S」へ変更できません。	—	—
30020114	論理プロセッサのアイドル状態を検出する機能が有効の場合、 変更はできません。 無効に変更後、設定の変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020115	ゲストアイドルモードの設定変更時、スケジュールモードを 「D」から「S」へ変更できません。	—	—
30020116	ゲストアイドルモードの設定変更時、論理プロセッサのアイ ドル状態を検出する機能は有効には変更できません。	—	—
30020117	ゲスト NUMA が有効の場合、変更はできません。 無効に変更後、設定の変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020118	メモリの NUMA ノード番号の設定変更時、ゲスト NUMA の設定 を変更できません。 一旦コミット処理を実行後、ゲスト NUMA の設定の変更してく ださい。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020200	不正なデータが登録されているため、 更新処理を実行できません。 Update ボタンをクリックし、再度設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020201	割り当てプロセッサ番号が重複しています。重複割り当て Processor No : {0} LPAR 内で重複しないプロセッサ番号に変更してください。	{0} : プロセッサ番号	メッセージに従い、対処してください。
30020202	割り当てプロセッサ番号が適切ではありません。 0～{0}のプロセッサ番号、または “A” (Auto) を設定してく ださい。	{0} : 割り当て可能プ ロセッサ数の最大値	メッセージに従い、対処してください。
30020203	プロセッサを占有で割り当てている場合、 Activate 中の変更はできません。 Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020204	割り当てプロセッサ範囲外のため、変更はできません。 割り当てプロセッサ数変更後、設定を変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020205	ゲスト NUMA が有効の場合, ""A"" (Auto) に変更できません. 無効に変更後, 設定の変更を行ってください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020300	不正なデータが登録されているため, 更新処理を実行できません. Update ボタンをクリックし, 再度設定を行ってください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020301	プロセッサグループ名に不正な文字が登録されています. プロセッサグループ名に使用できる文字は, ' 0' ~ ' 9' , ' a' ~ ' z' , ' A' ~ ' Z' , ' - ' , ' _ ' です. プロセッサグループ名の先頭に使える文字は, ' a' ~ ' z' , ' A' ~ ' Z' となります.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020302	プロセッサグループ名が重複しています. 重複 Group No : {0} 重複しない名称に変更してください.	{0}: プロセッサグループ番号	メッセージに従い, 対処してください.
30020303	割り当て LPAR が起動中のため変更はできません. 対象 LPAR を Deactivate 後, 変更を行ってください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020304	ライセンスコア不足数を超える予備コアの指定はできません. 不足数: {0} 不足数を超えない範囲で設定してください.	{0}: ライセンスコア不足数	メッセージに従い, 対処してください.
30020305	変更内容がコミットされるまで, 変更前のプロセッサグループ名と重複する値を設定することはできません. 重複 Group No : {0} 一旦コミット処理を実行後, プロセッサグループ名の変更を行ってください.	{0}: プロセッサグループ番号	メッセージに従い, 対処してください.
30020500	不正なデータが登録されているため, 更新処理を実行できません. 設定値を確認してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020501	{0} が変更されています. Commit を行ってから変更してください.	{0}: "Scheduling Mode (Schedule)" or "Device Assignment"	メッセージに従い, 対処してください.
30020502	Attach/Detach は, 選択した PCI Device が USB で LPAR が Activate 中の時しか実行できません. 選択を変更してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020503	Attach/Detach は, PCI Device (USB) が未割り当ての時は実行できません. 選択を変更してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020504	選択対象が不正なため, Attach/Detach を実行できません. Attach/Detach は以下の条件を満たす場合に実行する事ができます. ・ LPAR に USB が割り当てられている場合. ・ PCI Device が USB の場合. ・ LPAR が Activate 中の場合. ・ USB が排他共有の場合. "	—	メッセージに従い, 対処してください.

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020505	選択対象が不正なため、Set/Reset を実行できません。 Set/Reset は以下の条件を満たす場合に実行する事ができます。 ・ LPAR に USB が割り当てられている場合。 ・ PCI Device が USB の場合。 ・ USB が排他共有の場合。 ”	—	メッセージに従い、対処してください。
30020506	この NIC は Migration Path に設定されているため、スケジュールモードを占有に変更することはできません。 Migration Path から削除後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020600	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020601	不正な MAC アドレスです。 正しい MAC アドレスを設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020602	MAC アドレスが重複しています。 重複しない MAC アドレスに変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020610	不正な VLAN ID です。 VLAN ID は 1～4094 の範囲内で最大 {0} 個 {1} 設定できます。	{0} : 設定可能な VLAN ID 数 {1} : VLAN Mode	メッセージに従い、対処してください。
30020611	VLAN Mode (Tag) が {0} の時は、 VLAN ID の最大設定可能数は {1} 個です。 設定数を {2} 個までにしてください。	{0} : VLAN Mode {1} : VLAN ID の最大設定可能数 {2} : VLAN ID の最大設定可能数	メッセージに従い、対処してください。
30020612	VLAN ID が設定されていません。 VLAN ID を設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020613	VLAN Mode (Tag) が {0} の時は、VLAN ID を設定できません。 VLAN Mode (Tag) を {1} に変更してください。	{0} : VLAN Mode {1} : VLAN Mode	メッセージに従い、対処してください。
300206F0	本設定はネットワークセグメント識別子毎の設定です。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
300206F1	変更内容がコミットされるまで、変更前の MAC アドレスと重複する値を設定する事はできません。重複 LPAR No : {0} 重複 VNIC No : {1} 一旦コミット処理を実行後、MAC アドレスの変更を行ってください。	{0} : LPAR No. {1} : VNIC No.	メッセージに従い、対処してください。
30020700	不正なデータが登録されているため、更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020900	設定範囲が不正です。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020901	設定された IP アドレスは既に使用されています。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020902	HVM の IP アドレスが変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020903	HVM の IP アドレスが変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。 変更してもよろしいですか？ 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020904	{0} の IP アドレスが変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。 設定値を確認してください。	{0} : “BSMx” (x=1-4)	メッセージに従い、対処してください。
30020905	管理サーバの IP アドレスが未登録のため、 Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30020906	HVM の Subnet Mask が変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなる可能性があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020907	HVM の Default Gateway が変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなる可能性があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020908	HVM の動作モードが変更されると、 コミットと同時に構成情報の保存と HVM のリブートを実行します。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020909	HVM の動作モードが変更されると、 コミットと同時に構成情報の保存を実行します。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090A	HVM の動作モードが変更されると、 コミットと同時に構成情報の保存と HVM のリブートを実行します。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090B	HVM の動作モードが変更されると、 コミットと同時に構成情報の保存を実行します。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090C	HVM のリブートが必要となるため、 Activate 中の LPAR が存在する場合、変更する事ができません。 すべての LPAR を Deactivate 後、 HVM の動作モードを変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090D	HVM ID が不正です。 設定値を入力してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020B00	Date And Time の取得に失敗しました。	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020B01	SVP から NTP の設定をインポートします。 よろしいですか？	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020B02	BMC から NTP の設定をインポートします。 よろしいですか？	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020B03	選択した LPAR の時刻をシステム時刻に合わせます。 よろしいですか？	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020B04	選択した LPAR の時刻を {0} に合わせます。 よろしいですか？	{0}: "HVM System Time", "Specified Zone", or "UTC"	メッセージに従い、対処してください。
30020B05	Date And Time の設定を変更します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30020C00	HVM オプションの取得に失敗しました。 {0}	{0}: HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020C01	HVM オプションの取得を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30020C02	HVM のリブートが必要となるため、Activate 中の LPAR が存在する場合、変更する事ができません。 全ての LPAR を Deactivate 後、HVM の動作モードを変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020C03	HVM のタイマカウンタ算出ベースが変更されると、コミットと同時に構成情報の保存と HVM のリブートを実行します。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30020C04	HVM のタイマカウンタ算出ベースが変更されると、コミットと同時に構成情報の保存を実行します。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30020F00	システムログの取得に失敗しました。 {0}	{0}: HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020F01	システムログの取得を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021200	未コミット状態です。変更内容はクリアされます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021201	{0} を {1} します。 よろしいですか？	{0}: "LPAR 番号 : LPAR 名称" or "プロセッサグループ番号 : プロセッサグループ名称" {1}: "Activate", "Deactivate", "Reactivate", "Add", or "Remove"	メッセージに従い、対処してください。
30021202	コミット処理を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021203	Force Recovery 処理を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021204	HVM システムのシャットダウンを行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021205	構成情報の保存を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021206	{0} の NVRAM を消去 (初期化) します。 よろしいですか？	{0}: LPAR 番号: LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021207	LPAR {0} から LPAR {1} へ NVRAM のコピーを行います。 よろしいですか？	0: LPAR 番号 1: LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
30021208	HVM のダンプを SVP へ出力します。 過去に作成したダンプファイルがある場合、上書きされます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021209	未コミット状態のため、 処理を継続する事ができません。 コミット処理、または Update 処理を行った後、 再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021210	{0} の USB デバイスを {1} します。 よろしいですか？	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称 {1}: “Attach” or “Detach”	メッセージに従い、対処してください。
30021211	HVM System Logs へ移動します。 SysLog Update ボタンをクリックし、ダンプの出力結果を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021212	{0} の USB デバイスを Detach 後、 {1} の USB デバイスを Attach します。 よろしいですか？	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称 {1}: LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
30021213	選択した機能は、現在未サポートとなっております。	—	—
30021214	設定が変更されていないため、 コミット処理を行う事ができません。	—	—
30021215	{0} に、R-KVM で使用する USB デバイスが割り当てられていません。 対象 LPAR を Deactivate 後、PCI Device Assignment で R-KVM に使用する USB デバイスの割り当てを行ってください。	{0}: LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
30021216	{0} に、R-KVM で使用する USB デバイスが割り当てられていません。 PCI Device Assignment で R-KVM に使用する USB デバイスの割り当てを行ってください。	{0}: LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
30021217	{0} の R-KVM を実行します。 よろしいですか？ また、 以降に Activate、または Reactivate を実行した LPAR に、 R-KVM は Attach されます。	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
30021218	{0} の USB デバイスを Detach 後、 {1} の R-KVM を実行します。 よろしいですか？ また、 以降に Activate、または Reactivate を実行した LPAR に、 R-KVM は Attach されます。	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称 {1}: LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
3002121F	未コミットの内容は保存されません。 構成情報の保存を行ってよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021222	選択した機能は、対象の HVM で未サポートとなっております。 ファームウェアの更新を実施し、 最新のファームウェアを使用してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021223	HVM システムのリブートを行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021224	HVM システムのシャットダウンを行います。 未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021225	HVM システムのリブートを行います。 未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021226	VF NIC が割り当たっている Activate 中の LPAR があります。 Force Recovery 処理を行うと、VF NIC の利用ができなくなります。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021300	メモリ割り当て情報の取得に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021301	LPAR No. {0} の Add に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021302	プロセッサグループ (Group No. {0}) の Add に失敗しました。 {1}	{0} : プロセッサグル ープ番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021303	HVM システム状態の取得に失敗しました。 {0}	0 : HvmSh のエラーメ ッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021304	HVM システム状態の更新に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021305	HVM システムのシャットダウンに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021306	Force Recovery に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021307	HVM システムのシャットダウン要求を実行しました。	—	—
30021308	Force Recovery が正常終了しました。	—	—
30021309	構成情報の保存に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
3002130A	構成情報の保存は正常終了しました。	—	—
3002130B	NVRAM のクリアに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
3002130C	NVRAM のクリアは正常終了しました。	—	—
3002130D	NVRAM のコピーに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
3002130E	NVRAM のコピーは正常終了しました。	—	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
3002130F	HVM ダンプの出力に失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
30021310	HVM ダンプを SVP に出力しました。	—	—
30021311	論理 NIC の情報取得が失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021312	USB デバイス (LPAR No. {0}) の Attach に失敗しました。 {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
30021313	Update を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021314	Cancel を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021315	Force Recovery を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021316	構成情報保存処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update 処理を実行し、 再度構成情報保存処理を実行してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021317	HVM システムのシャットダウンを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、ブレードの電源を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021318	LPAR の Activate を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021319	LPAR の Deactivate を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
3002131A	LPAR の Reactivate を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
3002131B	LPAR の追加処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
3002131C	LPAR の削除を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
3002131D	プロセッサグループの追加処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131E	プロセッサグループの削除処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131F	PCI デバイスの Attach を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021320	PCI デバイスの Detach を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021321	NVRAM のクリアを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update 処理を実行し、再度 NVRAM のクリアを実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021322	NVRAM のコピーを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update 処理を実行し、再度 NVRAM のコピーを実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021323	HVM ダンプの出力を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、HVM System Logs で実行結果を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021324	コミット処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021325	メモリ割り当て情報の取得を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021326	LPAR No. {0} の Remove に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021327	LPAR No. {0} の Activate に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021328	LPAR No. {0} の Deactivate に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021329	LPAR No. {0} の Reactivate に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021330	プロセッサグループ (Group No. {0}) の Remove に失敗しました。 {1}	{0} : プロセッサグループ番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021331	USB デバイス (LPAR No. {0}) の Detach に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021332	Boot Order (LPAR No. {0}) の取得に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021333	Boot Order の取得に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021335	Boot Order (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021336	Boot Order (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 対象 LPAR を Deactivate 後、 EFI ブートデバイスの設定を行ってください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
30021338	FC (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021339	Boot Order (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
3002133A	HVM システムのリブートに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	メッセージに従い、対処してください。
3002133B	構成情報を更新後、 HVM システムのリブート要求を実行しました。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。 (リブートに要する時間は、HVM システムの構成によって異なります。)
3002133C	HVM システムのリブートを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、ブレードの電源を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。 (リブートに要する時間は、HVM システムの構成によって異なります。)
3002133D	HVM システムのリブート要求を実行しました。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。 (リブートに要する時間は、HVM システムの構成によって異なります。)
3002133E	Adjust LPAR Time を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
3002133F	USB デバイス自動 Attach 設定 (LPAR No. {0}) の Set/Reset に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021340	USB デバイス自動 Attach 設定の Set/Reset を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021341	{0} の USB デバイス自動 Attach 設定を {1} します。 よろしいですか？	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称 {1} : “Set” or “Reset”	メッセージに従い、対処してください。
30021342	Guest OS Dump の採取に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	
30021343	Guest OS Dump を採取しました。	—	—
30021344	Guest OS Dump の出力を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021345	LPAR が Deact の場合は実行できません	—	メッセージに従い、対処してください。
30021346	本操作により、NMI 割り込みを LPAR に対して発行して、 ゲスト OS のメモリダンプを採取します。 ダンプの採取はゲスト OS にダメージを与える可能性もあるため、この操作を行う場合は注意が必要です。 実行してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021347	Adjust LPAR (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021400	WWPN は 16 桁で設定を行わないとエラーになります。 設定値を確認してください。 -----	—	メッセージに従い、対処してください。
30021401	不正なデータが登録されているため、 更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021402	不正な {0} です。 {1} は先頭を iqn. xxxx にして、 xxxx の部分を 4 文字以上で設定してください。	{0} : 不正な項目名 {1} : 不正な項目名	メッセージに従い、対処してください。
30021403	不正な {0} です。 正しい {1} を設定してください。	{0} : 不正な項目名 {1} : 不正な項目名	メッセージに従い、対処してください。
30021404	不正な {0} です。 {1} は 12 文字以上、16 文字以下で設定してください。	{0} : 不正な項目名 {1} : 不正な項目名	メッセージに従い、対処してください。
30021405	デフォルトの値を設定します。 よろしいですか？	—	—
30021406	不正な {0} です。 CHAP Secret と Reverse CHAP Secret は 違う値を設定してください。	{0} : 不正な項目名	メッセージに従い、対処してください。

11.3 モニタリング用メッセージ

モニタリングで使用するメッセージは表 11-4 のとおりです。

表 11-4 モニタリングで使用するメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
40000101	対象の HVM が見つかりませんでした. HVM の Update を実施して、再度実行してください.	—	メッセージに従い、対処してください.

11.4 ファームウェア更新用メッセージ

ファームウェア更新で使用されるメッセージは表 11-5 のとおりです。

表 11-5 ファームウェア更新で使用されるメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
50000101	ファームウェアの更新処理を開始します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
50000102	HVM F/W Version が未指定の場合、 次のステップに進むことができません。 HVM F/W Version を指定するか、対象から外してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000103	{0} 用の HVM F/W が見つかりませんでした。 HVM F/W があるフォルダを選択してください。	{0} : サーバブレード 種別	メッセージに従い、対処してください。
50000104	HVM F/W の更新処理が正常終了後、 HVM 構成情報の取得が失敗しました。 Virtage Navigator の情報が最新ではないため Update ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000105	HVM F/W の更新処理が正常終了後、 HVM 構成情報の取得がキャンセルされました。 Virtage Navigator の情報が最新ではないため Update ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000106	有効なバージョンアップキーが見つかりませんでした。 バージョンアップキーの入力を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000107	対象となる HVM F/W Version が存在しないため、 次のステップに進むことができません。 該当する機種を対象から外してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000108	キャンセルしました。 接続失敗の詳細を確認するには、 Information ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000109	接続可能な HVM が見つかりませんでした。 接続失敗の詳細を確認するには、 Information ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
5000010A	ファイル出力が正常終了しました。	—	—
5000010B	ファイル出力に失敗しました。 詳細 : {0} 出力先フォルダの状態を確認後、再度実行してください。	{0} : 詳細エラー情報	メッセージに従い、対処してください。
5000010C	HVM ファームウェア更新を終了します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。

11.5 ソリューション用メッセージ

ソリューションで使用されるメッセージは表 11-6 のとおりです。

表 11-6 ソリューションで使用されるメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30060000	前の Step へ戻ると本 Step で実行した内容は失われます。 実行内容 : {0} よろしいですか？	{0} : 本 Step での実行内容	メッセージに従い、対処してください。
30060001	{0} を終了します。 よろしいですか？	{0} : “Easy Start”	メッセージに従い、対処してください。
30060002	警告が複数あります！ アイコンをダブルクリックすると 警告の内容を別画面で表示します。 アイコンをダブルクリックして 内容を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060003	正常に終了しました。 対象 : {0}	{0} : 格納フォルダ名称	—
30060004	エラーが複数あります！ アイコンをダブルクリックすると エラーの内容を別画面で表示します。 アイコンをダブルクリックして 内容を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060200	指定フォルダにファイルがありません。 指定したフォルダを確認してください。 指定フォルダ名 : {0}	{0} : 指定フォルダ名称	メッセージに従い、対処してください。
30060201	同じ発注時番号のエントリがあります。 発注時番号 : {0} 指定したフォルダ及びファイルを確認してください。 指定ファイル名 : {1}	{0} : 発注時番号 {1} : 指定ファイル名称	メッセージに従い、対処してください。
30060202	同じ HVM のエントリがあります。 HVM IP Address : {0} 指定したファイルを確認してください。 指定ファイル名 : {1}	{0} : 発注時番号 {1} : 指定ファイル名称	メッセージに従い、対処してください。
30060203	指定されたブレードは HVM 初期設定をサポートしていません。 Blade Type : {0} HVM 初期設定をあらかじめ行ってください。	{0} : HVM の IP アドレス {1} : 指定ファイル名称	メッセージに従い、対処してください。
30060204	HVM の登録台数制限 ({0} 台) を越えます。 登録必要台数 : {1} Profile から、不要な HVM 登録を削除してください。 または、登録が必要な HVM の選択を外してください。	{0} : HVM の登録制限台数 {1} : HVM の登録台数	メッセージに従い、対処してください。
30060205	HVM の登録に失敗しました。 HVM IP Address : {0} HVM の電源状態やネットワーク状況を 確認してください。 内部エラーメッセージ : {1}	{0} : HVM の IP アドレス {1} : 内部エラーメッセージ	メッセージに従い、対処してください。
30060206	{0} の対象 HVM がないため、Step4 ヘスキップします。	{0} : “Initial Setting”	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30060207	HVM が登録されていません。 次に進むには HVM の登録が必要です。 HVM を Profile に登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060208	HVM の登録処理がユーザ要求により キャンセルされました。	—	—
30060209	更新対象 HVM 構成情報のバックアップは 事前実施しましたか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30060300	指定の SVP IP Address が IP アドレスの形式に違反しています。 数値とドットで構成される Ipv4 アドレスを 設定してください。 (XXX. XXX. XXX. XXX)	—	メッセージに従い、対処してください。
30060301	SVP の IP Address が同じなのに User ID や Password が違っています。 指定した User ID と Password を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060302	SVP の IP Address が同じなのに HVM の Location が重複しています。 指定した SVP IP Address と指定ファイル内の Location 設定 (<HvmConf>-<Location>) を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060399	{0} の実行を開始します。 よろしいですか？	{0}: "Connection to SVP"	メッセージに従い、対処してください。
30060400	ブレードの電源が OFF ではありません。 Partition No : {0} 警告を無視して実行した場合は、 Initial Setting をスキップします。 ブレードの電源を OFF にしてから、 再度実行してください。	{0}: 対象 Partition 番号	メッセージに従い、対処してください。
30060401	指定の搭載位置にブレードが挿入されていない、 またはブレード初期化中です。 Partition No : {0} ブレードの状態を確認してから、再度実行してください。	{0}: 対象 Partition 番号	メッセージに従い、対処してください。
30060499	{0} の実行を開始します。 よろしいですか？	{0}: "Initial Setting"	メッセージに従い、対処してください。
30060500	HVM が登録されていません。 次に進むには HVM の登録が必要です。 HVM を Profile に登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060599	{0} の実行を開始します。 よろしいですか？	{0}: "LPAR Setting"	メッセージに従い、対処してください。
30060600	実行対象から外されました。 Step : {0}	{0}: "Load HVM Setting File"	—
30060601	エビデンスファイルを出力して {0} を終了します。 よろしいですか？	{0}: "Easy Start"	メッセージに従い、対処してください。
30060602	エビデンスファイルを出力していません！ 画面を閉じて、{0} を終了してもよろしいですか？	{0}: "Easy Start"	メッセージに従い、対処してください。
30060603	エビデンスファイルの出力は正常に終了しました。 格納フォルダ : {0}	{0}: エビデンスファイル の格納フォルダ	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30068001	XML ファイルの解析に失敗しました。 detail : {0} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 詳細内容	メッセージに従い、対処してください。
30068002	設定値が正しくありません。 対象 : {0} 設定値 : {1} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 設定項目名称 {1}: 設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068003	設定値が重複しています。 対象 : {0} 設定値 : {1} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 設定項目名称 {1}: 設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068004	{0} の指定がないため、 HVM IP アドレス情報のみで接続対象を認識します。	{0}: “ Chassis Serial Number” or “Blade Serial Number”	—
30068005	設定に必要な物理リソース情報がありません。 対象 : {0} 設定値 : {1} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 設定項目名称 {1}: 設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068006	物理と仮想のスケジュールが一致しません。 対象 : {0} 設定値 : {1} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 設定項目名称 {1}: 設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068007	ファイルのバージョンがサポート範囲外です。 ファイルバージョン : {0} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 指示書のファイル	メッセージに従い、対処してください。
30068008	必要な設定値がありません。 対象 : {0} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 設定項目名称	メッセージに従い、対処してください。
30068009	XML の解析に失敗しました。 detail : {0} 指定したファイルの内容が 変更されていないか確認してください。	{0}: 詳細内容	メッセージに従い、対処してください。
30068101	ブレードの電源が OFF ではありません。 ブレードの電源を OFF にしてから、 再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30068102	必要な値が設定されていません。 対象 : {0} 内容を確認し、再度実行してください。	{0}: 設定項目名称	メッセージに従い、対処してください。
30068103	接続対象のサーバブレードは Virtage Navigator からの BIOS 設定を サポートしていません。 SVP Ver. : {0} BIOS Ver. : {1} ファームウェアのバージョンがサポート対象か確認してください。	{0}: SVP バージョン {1}: BIOS バージョン	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30068104	接続対象のサーバブレードは Virtage Navigator からの HyperThreading 設定を サポートしていません。 SVP Ver. : {0} BIOS Ver. : {1} ファームウェアのバージョン, または搭載プロセッサがサポート対象か 確認してください。	{0}:SVP バージョン {1}:BIOS バージョン	メッセージに従い, 対 処してください。
30068105	ブレードの電源が OFF ではありません。 OS モードが HVM 以外に設定されているため, スキップできません。 ブレードの電源を OFF にしてから, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対 処してください。
30068106	接続したサーバブレードと Partition 位置が異なりま す。 設定値 : {0} 取得値 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:指示書の設定値 {1}:既設定値	メッセージに従い, 対 処してください。
30068107	接続対象のサーバブレードに HVM がインストールされていません。 サーバブレードの構成を確認してください。	—	メッセージに従い, 対 処してください。
30068108	選択されている HVM の HVM 起動待ちを中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い, 対 処してください。
30068109	HVM IP Address : {0} HVM 起動待ち状態になってから, 約 {1} 分経過しました。 HVM の起動が確認出来ません。以下を確認してください。 1. 管理サーバと HVM 間のネットワーク接続に問題は無 いか, 疎通確認を行ってください。 2. HVM コンソール(シリアル接続)で, HVM が起動中にな っているか確認してください。 3. メンテナンスツールを使用して起動していないかを 確認してください。 4. BSM 連携設定でこのコンピュータの IP アドレスが, BSM IP アドレスに登録されているか確認してください。 上記の確認後, 必要であれば STOP ボタンから処理を中断 し, 再度実行を行ってください。	{0}:HVM の IP アドレス {1}:経過時間(分)	メッセージに従い, 対 処してください。
30068201	対象のサーバブレードと指示書のシリアル番号が異なり ます。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:指示書の設定値 {2}:既設定値	メッセージに従い, 対 処してください。
30068202	対象のサーバブレードの HyperThread 設定が 指示書の設定と異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:指示書の設定値 {2}:既設定値	メッセージに従い, 対 処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30068203	対象のサーバブレードと指示書の情報が異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:指示書の設定値 {2}:既設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068204	対象のサーバブレードのリソースが指示書の情報と異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:指示書の設定値 {2}:既設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068205	対象のサーバブレードと指示書の情報が異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:指示書の設定値 {2}:既設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068206	対象のサーバブレードに指定の物理 PCI デバイスが存在しません。 対象 : {0} 設定値 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068207	対象のサーバブレードには設定対象の LPAR が既に存在しています。 対象 : {0} 設定値 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068208	対象のサーバブレードと設定値が重複しています。 対象 : {0} 設定値 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068209	LPAR AutoAct 設定の合計数が Act できる上限数を超えています。 対象 : {0} 設定数 : {1} 上限数 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:設定値 {2}:設定可能上限値	メッセージに従い、対処してください。
3006820B	共有 NIC の設定数が上限を超えています。 設定数 : {0} 上限数 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定値 {1}:設定可能上限値	メッセージに従い、対処してください。
3006820C	LPAR に割当てできるプロセッサ数の上限を超えています。 対象 : {0} 設定数 : {1} 上限数 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:設定値 {2}:設定可能上限値	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
3006820D	対象のサーバブレードの HVM は HvmRestart をサポートしていないため、 Reboot を実施できません。 HVM Ver. : {0} 対象 HVM がサポート対象か確認してください。	{0}:HVM バージョン	メッセージに従い、対 処してください。
3006820E	設定番号が上限数を超えています。 対象 : {0} 設定番号 : {1} 上限数 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:設定値 {2}:設定可能上限値	メッセージに従い、対 処してください。
3006820F	対象のサーバブレードと指示書の HVM 動作モードの値が 違います。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:設定値 {2}:取得値	メッセージに従い、対 処してください。
30068210	構成情報の設定に失敗しました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30068301	選択中の実行履歴を削除します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。
30068302	削除対象が選択されていません。	—	—

Virtage Navigator 操作において、表示されるメッセージの一部に使用する HvmSh エラーメッセージの一覧を以下に示します。

表 11-7 HvmSh エラーメッセージ一覧

メッセージ コード	メッセージ	説明	対処方法
10020001	Response Timeout.	対象のホストからの応答 がありませんでした。	指定した対象ホスト(操作先 HVM)が正常に動作し ていることを確認してください。正常に動作して いる場合は再実行してください。
10030001	Failed to bind.	Bind に失敗しました。	通信構成を確認してください。
上記以外	HVM 管理コマンド(HvmSh)ユーザズガイドを参照してください。		

11.6 LPAR マイグレーション用メッセージ

LPAR マイグレーションで使用されるメッセージは表 11-8 のとおりです。

表 11-8 LPAR マイグレーションで使用されるメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60000201	Concurrent Maintenance can not be performed on HVM with this license. {0} Check the HVM license level.	{0}:HVM IP アドレス	HVM ライセンスを確認してください。
60000301	Migration version on HVM is different between source and destination. Specify HVM that has the same major version of migration version.	–	マイグレーションバージョンのメジャーバージョンが同じ HVM を選択してください。
60000401	Some features will be limited because of migration from HVM set to Expansion mode to HVM set to Standard mode. Check HVM operating mode setting.	–	HVM の動作モードを確認してください。
60000501	The maximum activatable numbers of LPARs are activated on destination. Check the number of activated LPARs.	–	移動先 HVM で Activate している LPAR の数を確認してください。
60000601	Source HVM does not support LPAR Number Extension. MAC address may be duplicated. Specify LPAR that LPAR number is within the range from 1 to 16 at destination HVM.	–	移動元と先で LPAR 最大定義可能数を合わせてください。
60000602	Destination HVM does not support LPAR Number Extension. MAC address may be duplicated. Specify LPAR that LPAR number is within the range from 1 to 16 at source HVM.	–	移動元と先で LPAR 最大定義可能数を合わせてください。
60000701	The definable number of LPARs is different on a source and a destination HVM. Specify HVMs on which the same number of LPARs can be defined.	–	移動元と先で LPAR 最大定義可能数を合わせてください。
60001001	Chassis type is different between source and destination. Specify HVMs on blades inserted in the same type of Chassis.	–	移動先と元のシャーシタイプを合わせてください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60001101	Blade type is different between source and destination. Specify HVMs on the same type of blade.	–	移動先と元のサーバブレードタイプを合わせてください。
60001201	Numbers of configured blades are different between source and destination due to SMP configuration. Specify HVMs on blades composed of same number of SMP configuration.	–	移動元と先でブレード間 SMP 構成を同一にしてください。
60001301	CPU frequency is different between source and destination. Specify HVMs on which processors with the same frequency are installed.	–	移動元 HVM の CPU 周波数と同じ CPU が搭載された HVM を選択してください。
60001401	The number of physical CPUs is different between source and destination. Match the installed number of physical CPUs on source and destination.	–	移動元と先で HVM の物理 CPU 数を合わせてください。
60002001	EFI version is different between source and destination. Specify HVMs on blades which same version of EFI is installed on.	–	移動先と元でブレードの EFI/BIOS のバージョンを合わせてください。
60002002	EFI version is not compatible between source and destination. Specify HVMs on blades which compatible version of EFI is installed on.	–	移動先と元でブレードの EFI/BIOS のバージョンを合わせてください。
60002101	SMT (Hyper Threading) setting is different between source and destination. Specify HVMs which SMT (Hyper Threading) setting is same.	–	移動元と先で SMT の設定を合わせてください。
60003001	The NIC port set as Migration Path does not exist. Set Migration Path in Path Setting window. HVM IP Address : {0}	{0}:HVM IP アドレス	マイグレーションパスには搭載されている NIC を指定してください。
60003002	The NIC port set as Migration Path is not set to Shared Mode. HVM IP Address : {0} Change scheduling mode of NIC or specify another Migration Path.	{0}:HVM IP アドレス	マイグレーションパスにはスケジューリングモードが共有の NIC を指定してください。
60003003	It is not recommended that management path is set as Migration Path. HVM IP Address : {0} Specify Migration Path which management path is not set as.	{0}:HVM IP アドレス	管理パスでないパスをマイグレーションパスに指定してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60003101	The IP address is already set to another Migration Path. Set another IP address to Migration Path.	-	移動元と先でマイグレーションパスの IP アドレスを違うアドレスにしてください。
60003102	Invalid value. Unsuitable for IP address format. Specify IP address in IPv4 dotted-decimal notation (XXX.XXX.XXX.XXX).	-	マイグレーションパスの IP アドレスを確認してください。
60003201	Migration Path for destination is not belonging to the network which Migration Path for source is belonging to. Check IP Address and Subnet Mask of Migration Path.	-	移動元と先のマイグレーションパスのサブネットマスクを確認してください。
60003202	Invalid value. Unsuitable for Subnet Mask format. Specify IP address and Subnet Mask in IPv4 dotted-decimal notation (XXX.XXX.XXX.XXX).	-	マイグレーションパスのサブネットマスクを確認してください。
60003301	VLAN ID for Migration Path is different between source and destination. Check VLAN ID of Migration Path.	-	移動元と先のマイグレーションパスの VLANID を確認してください。
60003302	Invalid value. Unsuitable for VLAN ID. Specify a VLAN ID value within the range from 1 to 4000.	-	マイグレーションパスの VLANID を確認してください。
60004101	LPAR which has same name exists on destination. Change the LPAR Name to name except NO_NAME.	-	移動先の LPAR 名称を移動元の名称と違う名称に変更してください。
60004102	LPAR Name is NO_NAME. Change the LPAR Name to name except NO_NAME.	-	移動先の LPAR 名称を「NO_NAME」から変更してください。
60004201	The defined LPAR is specified as destination. Specify undefined LPAR.	-	移動先の LPAR は未定義のものを指定してください。
60004202	The undefined LPAR is specified as source. Specify defined LPAR.	-	移動元の LPAR は定義済みのものを指定してください。
60004203	The LPAR specified as source has troubles. Check the LPAR state.	-	移動元 LPAR の状態を確認してください。
60004204	The LPAR specified as source is deactivated. Specify activated LPAR.	-	移動元 LPAR を Activate するか、状態が Activated の LPAR を指定してください。
60004205	The LPAR specified as source is activated. Enable remote shutdown option or Specify deactivated LPAR.	-	移動元 LPAR を Deactivate するか、状態が Deactivated の LPAR を指定してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60004251	The LPAR specified as source is “ACT” . Enable remote shutdown option or Specify deactivated LPAR.	–	移動元 LPAR を Deactivate するか、状態が Deactivated の LPAR を指定してください。
60004252	The LPAR specified as source is “DEACT” . Specify activated LPAR.	–	移動元 LPAR を Activate するか、状態が Activated の LPAR を指定してください。
60004253	The LPAR specified as source is “FAILURE” . Check the LPAR state.	–	移動元 LPAR の状態を確認してください。
60004254	The LPAR specified as source is “Impossible” . Confirm version of HVM firmware.	–	移動元 HVM のバージョンを確認してください。
60004255	The LPAR specified as source is “Recovery” . Execute Recovery for the LPAR.	–	移動元 LPAR を Recovery してください。
60004256	The LPAR specified as source is “Migration in progress” . Wait until the end of the migration.	–	実行中のマイグレーションの終了をお待ちください。
60004257	The LPAR specified as source is “Migration Failure” . Check the LPAR configuration.	–	移動元 LPAR の状態を確認してください。
60004258	The LPAR specified as source is “Migration WWN” . Execute Rollback for the LPAR.	–	移動元 LPAR の WWN を Rollback してください。
60004259	The LPAR specified as source is “Unknown WWN Status” . Execute Rollback for the LPAR.	–	移動元 LPAR の WWN を Rollback してください。
6000425A	The LPAR specified as source is “Rollback” . Wait until the end of the Rollback.	–	実行中の Rollback の終了をお待ちください。
6000425B	The LPAR specified as source is “Rollforward” . Wait until the end of the Rollforward.	–	実行中の Rollforward の終了をお待ちください。
6000425C	The LPAR specified as source is “ACT (Other WWNs for a HBA port are abnormal)” . Execute Rollback for LPARs with HBA ports to which abnormal WWNs are assigned.	–	移動元 HVM で WWN が異常な状態の LPAR を Rollback してください。
6000425D	The LPAR specified as source is “Undefined” . Specify defined LPAR.	–	移動元の LPAR は定義済みのものを指定してください。
6000425E	The LPAR specified as source is “Unknown” . Check the LPAR state.	–	移動元 LPAR の状態を再取得してください。
60004301	Processor resources are insufficient on destination. {0} Specify another HVM or remove unnecessary LPARs.	–	移動先 HVM で移動元 LPAR に割り当てられている数の占有 CPU を確保してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60004401	Memory resources are insufficient on destination. {0} Specify another HVM or remove unnecessary LPARs.	-	移動先 HVM で移動元 LPAR に割り当てられているメモリサイズを確保してください。
60004501	Virtual COM console will be detached from LPAR on destination because Virtual COM port can not be secured on destination. Check the state Virtual COM is assigned on destination.	-	移動先 HVM の仮想 COM の割当て状態を確認してください。
60004601	Migration cannot be performed with this VNIC Device Type. Change VNIC Device Type.	-	移動元と先の VNIC のデバイスタイプを合わせてください。
60004701	The USB device is attached. Detach the USB device and then migrate an LPAR.	-	移動元の USB デバイスの割当てを解除 (Detach) してください。
60004801	Logical CPU IDs are different between source and destination. Specify HVMs on blades which processors of the same CPUID are installed on.	-	移動元 HVM の論理 CPUID と同じ CPU が搭載された HVM を選択してください。
60004802	Internal error occurred. Restart Virtage Navigator and retry.	-	移動先 LPAR の状態を再取得してください。
60005001	Dedicated HBA is assigned to the LPAR. Change scheduling mode of HBA.	-	HBA のスケジューリングモードを共有に変更してください。
60005101	HBA configuration is different between source and destination. Specify HVMs which HBA is configured in the same way.	-	移動元と先の HBA の I/O 構成を一致させてください。
60005102	Internal error occurred. Restart Virtage Navigator and retry.	-	Virtage Navigator を再起動してください。
60005201	Hardware ID for HBA is different between source and destination. Check Hardware ID in HBA Configuration in Migration Config Viewer and specify HVMs which Hardware IDs are same.	-	移動先に移動元と同じ HBA カードが搭載された HVM を選択してください。
60005301	HBA ports have troubles on destination. Specify HVMs which HBA state is normal.	-	移動先の HBA の状態を確認してください。
60005302	HBA will be disconnected after Migration because HBA ports are linked down on destination. Specify HVMs which HBA state is normal.	-	移動先の HBA の状態を確認してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60005303	HBA ports have troubles or Hot-plug is being operated. When operating Hot-plug, wait until the completion. Otherwise, check if HBA ports have troubles.	-	移動元または先のHBAのホットプラグ操作が終了するのをお待ちください。ホットプラグ操作を行っていない場合はHBAの状態を確認してください。
60005304	The LPAR may fail to be migrated because HBA ports have troubles. Check HBA status.	-	移動元または先のHBAの状態を確認してください。
60005305	Failed to retrieve information about HBA configuration. Perform update action after a while.	-	移動元または先のHBAの状態を再取得してください。
60005306	The LPAR may fail to be migrated because HBA ports have troubles. Check HBA status.	-	移動元または先のHBAの状態を確認してください。
60005401	HBA firmware does not support Concurrent Maintenance. Upgrade HBA firmware version or update HBA firmware revision.	-	移動元または先のHBAのファームウェアをコンカレントメンテナンスがサポートしているバージョンにバージョンアップしてください。
60005501	Some features will be limited because of migration to HBA that has older version of firmware. Check the HBA firmware version.	-	移動先のHBAのファームウェアバージョンを確認してください。
60005601	HBA driver does not support Concurrent Maintenance. Update HBA driver.	-	移動元のHBAのドライバをコンカレントメンテナンスがサポートしているバージョンにバージョンアップしてください。
60005701	There is no available vfcID on destination. Specify another HVM or remove unnecessary LPARs.	-	移動先 HVM で 1 つ以上の vfcID を空けてください。
60005801	HBA devices of Destination are not available. Check HBA status.	-	HBA の状態を確認してください。
60005901	NIC devices of Destination are not available. Check NIC status.	-	NIC の状態を確認してください。
60006001	Dedicated NIC is assigned to the LPAR. Change scheduling mode of NIC.	-	NIC のスケジューリングモードを共有に変更してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60006101	Virtual NIC segment setting is different between source and destination. Specify HVMs which Virtual NIC segment is configured in the same way.	-	移動元と先の NIC の I/O 構成を一致させてください。
60006102	Internal error occurred. Restart Virtage Navigator and retry.	-	Virtage Navigator を再起動してください。
60006103	Inter-LPAR Communication virtual NIC is configured. Inter-LPAR Communication virtual NIC will be disconnected from this network and be connected to another network after migration. Check Virtual NIC setting.	-	仮想NICの設定を確認してください。
60006201	Hardware ID for NIC is different between source and destination. Check Hardware ID in NIC Configuration in Migration Config Viewer and specify HVMs which Hardware IDs are same.	-	移動先に移動元と同じNICが搭載されたHVMを選択してください。
60006301	NIC ports have troubles on destination. Specify HVMs which NIC state is normal.	-	移動先のNICの状態を確認してください。
60006302	NIC will be disconnected after migration because NIC ports are linked down on destination. Specify HVMs which NIC state is normal.	-	移動先のNICの状態を確認してください。
60006303	NIC ports have troubles or Hot-plug is being operated. When operating Hot-plug, wait until the completion. Otherwise, check if NIC ports have troubles.	-	移動元または先のNICのホットプラグ操作が終了するのを待ちください。ホットプラグ操作を行っていない場合はNICの状態を確認してください。
60006304	The LPAR may fail to be migrated because NIC ports have troubles. Check NIC status.	-	移動元または先のNICの状態を確認してください。
60006305	Failed to retrieve information about NIC configuration. Perform update action after a while.	-	移動元または先のNICの状態を再取得してください。
60006306	The LPAR may fail to be migrated because NIC ports have troubles. Check NIC status.	-	移動元または先のNICの状態を確認してください。
60006401	More than {0} virtual NIC segments can not be defined on destination. Check HVM operating mode setting.	{0}:最大数	移動先HVMの動作モードを確認してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60006501	Inter-LPAR packet filtering setting is different between source and destination. Check Inter-LPAR packet filtering setting.	–	移動元と先の NIC の LPAR 間通信 パケットフィルタの設定を合わせてください。
60006601	Shared NIC ports cannot be duplicated to any LPARs on the destination server blade. {0} Check Inter-LPAR packet filtering setting.	–	移動先 HVM の動作モードを確認してください。
60006701	Shared NIC port can not be assigned to each physical NIC per controller on destination. Check shared NIC setting.	–	移動先 HVM の動作モードを確認してください。
60006801	The VNIC System No. for the destination HVM is greater than the available it's on the source HVM. VNIC System No. (Destination) : {0} Max VNIC System No. (Source) : {1} Select the destination HVM with the VNIC System No. available on the source HVM.	{0} : VNIC System No {1} : Max VNIC System No	仮想 NIC システム番号が移動元 HVM の最大値より小さい HVM を移動先を選択してください。
60006802	The VNIC System No. for the source HVM is greater than the available it's on the destination HVM. VNIC System No. (Source) : {0} Max VNIC System No. (Destination) : {1} Select the destination HVM on which the VNIC System No. for the source HVM is available.	{0} : VNIC System No {1} : Max VNIC System No	移動元の仮想 NIC システム番号より大きい最大値の HVM を移動先を選択してください。
60006901	VF NICs are assigned. Unassign the VF NICs and then execute LPAR migration.	–	VF NIC の割り当てを解除し、再度 LPAR マイグレーションを実行してください。
60006A01	One or more USBs in dedicated mode are assigned to the LPAR. Release the dedicated USBs from the LPAR.	–	LPAR から占有 USB の割り当てを解除してください。
60006B01	The Migration security strength on the source and the destination server blades isn't matched. Match the Migration security strength on the source and the destination server blades.	–	移動元と移動先サーバブレードのセキュリティ強度設定を一致させてください。
60006C01	The source or destination HVM is in Safe mode. Release the HVM from Safe mode.	–	移動元と移動先サーバブレード上の管理パスの構成を確認の上、セーフモードを解除してください。

60006D01	<p>Ports on 16Gb FC adapters are assigned to the source LPAR.</p> <p>Unassign the ports from the source LPAR, and then execute the LPAR migration, or apply LPAR migration in Shutdown mode to the LPAR.</p>	–	<p>移動元 LPAR から 16Gb FC アダプタのポートの割り当てを解除し、LPAR マイグレーションを実施してください。もしくは、その LPAR にシャットダウンモードの LPAR マイグレーションを適用してください。</p>
60006D02	<p>16Gb FC adapters aren't supported on the destination HVM.</p> <p>Update the HVM firmware on the destination server blade to a version supporting 16Gb FC adapters, or apply LPAR migration in Shutdown mode to the LPAR.</p>	–	<p>移動先サーバブレード上の HVM ファームウェアを 16Gb FC アダプタをサポートしているバージョンに更新してください。もしくは、その LPAR にシャットダウンモードの LPAR マイグレーションを適用してください。</p>
60006D03	<p>Ports on 16Gb FC adapters are assigned to the source LPAR and 16Gb FC ports aren't supported on the destination HVM.</p> <p>Unassign the ports from the source LPAR, and then execute the LPAR migration. Finally, update the HVM firmware on the destination server blade to a version supporting 16Gb FC adapters, or apply LPAR migration in Shutdown mode to the LPAR.</p>	–	<p>移動元 LPAR から 16Gb FC アダプタのポートの割り当てを解除し、LPAR マイグレーションを実施してください。さらに、移動先サーバブレード上の HVM ファームウェアを 16Gb FC アダプタをサポートしているバージョンに更新し、その LPAR にシャットダウンモードの LPAR マイグレーションを適用してください。</p>
6000FF01	<p>Internal error occurred.</p> <p>Restart Virtage Navigator and retry.</p>	–	<p>Virtage Navigator を再起動してください。</p>
6000FF02	<p>Internal error occurred.</p> <p>Restart Virtage Navigator and retry.</p>	–	<p>Virtage Navigator を再起動してください。</p>
6000FF03	<p>Internal error occurred.</p> <p>Restart Virtage Navigator and retry.</p>	–	<p>Virtage Navigator を再起動してください。</p>

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
6000FF04	Failed to retrieve information about HVM configuration. Check the following: 1. Confirm no problems about performing update action. 2. Confirm version of HVM firmware. 3. Confirm version of Virtage Navigator.	—	移動元と先のHVMの情報を再取得してください。 移動元と先のHVMのファームウェアバージョンを確認してください。 Virtage Navigator を再起動してください。
6000FF05	Retrieve undefined value. Check the following: 1. Confirm no problems about performing update action. 2. Confirm version of HVM firmware. 3. Confirm version of Virtage Navigator.	—	移動元と先のHVMの情報を再取得してください。 移動元と先のHVMのファームウェアバージョンを確認してください。 Virtage Navigator を再起動してください。
65000000	Save setting of Migration Paths. Are you sure?	—	—
65000001	Invalid {0} Select valid {0}	{0}:PCI アドレス	有効なPCI アドレスを選択してください。
65000002	Invalid {0} Input valid {0}	{0}: IP アドレス	有効な IP アドレスを入力してください。
65000003	Invalid {0} Input valid {0}	{0}:サブネットマスク	有効なサブネットマスクを入力してください。
65000004	Invalid {0} Input valid {0}	{0}:VLAN ID	有効な VLAN ID を入力してください。
65000005	Invalid {0} Input valid {0}	{0}:名称	有効なマイグレーションパスの名称を入力してください。
65000006	No Migration Path is selected.HVM IP Address : {0} Select Migration Path.	{0}:HVM IP アドレス	マイグレーションパスを選択してください。
65000007	Some input values are invalid. Input and save valid values.	—	有効な値を入力、保存してください。
65000008	Failed to save Migration Paths. Detail : {0} Check disk space and disk access status.	{0}:詳細内容	ディスクの空き容量とディスクのアクセス状態を確認してください。
65000009	There are no removable rows. Management Path can not be removed. Reselect removed rows.	—	削除する行を再度選択してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
6500000A	{0} already exists for this HVM. Don't set same names for Migration Paths on an HVM. HVM IP Address : {1} {0} : {2} Input another {0}.	{0}:マイグレーションパス名称 {1}:HVM IP アドレス {2}:設定名称	ほかの名称を入力してください.
6500000B	More Migration Paths can not be added. The maximum number of registerable Migration Paths for a HVM is {0}	{0}:最大値	—
6500000C	Changed setting of Migration Paths is not saved. Are you sure?	—	メッセージに従い, 対処してください.
6500000D	Same as HVM IP Address. Input another {0}.	{0}:IP アドレス	メッセージに従い, 対処してください.
6500000E	Migration in progress will be canceled. Are you sure?	—	メッセージに従い, 対処してください.
6500000F	An error occurred while canceling. Detail : {0}	{0}:詳細内容	メッセージに従い, 対処してください.
65000010	A timeout period for migration will be changed. Timeout Value : {0} Are you sure?	{0}:タイムアウト値	メッセージに従い, 対処してください.
65000011	An error occurred while changing a timeout period. Detail : {0}	{0}:詳細内容	—
65000012	Rolling back a WWPN and a WWNN for a selected LPAR will start. LPAR No. : {0} Are you sure?	{0}:LPAR 番号	メッセージに従い, 対処してください.
65000013	An error occurred while rolling back a WWN for a source LPAR. Detail : {0}	{0}:詳細内容	—
65000014	An error occurred while setting HBA Support Check. Detail : {0}	{0}:詳細内容	—
65000015	An error occurred while changing a Storage Login timeout. Detail : {0}	{0}:詳細内容	—
65000016	An error occurred while changing a Migration Options. Detail : {0}	{0}:詳細内容	—
65000017	An error occurred while changing a VRAM transfer setting. Detail : {0}	{0}:詳細内容	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000001	The path storing Storage Navigator Modular2 CLI is not set. Set the path in Path textbox in Storage Navigator Setting in Migration Option menu in Option window.	—	Storage Navigator Modular 2 CLI が格納されているパスを設定してください。
66000002	Virtage Navigator cannot access to Storage Navigator Modular2 CLI. Check a set path in Path textbox in Storage Navigator Setting in Migration Option menu in Option window.	—	Option ウィンドウの Migration Option メニューの Storage Navigator setting にある Path テキストボックスに設定されたパスを確認してください。
66000003	The migration WWN with the error icon is already registered. Check if the migration WWN is registered or not in the WWN List.	—	WWN List でそのマイグレーション WWN が登録されているか確認してください。
66000004	The migration WWN with the error icon isn't registered. Check if the migration WWN is registered or not in the WWN List.	—	WWN List でそのマイグレーション WWN が登録されているか確認してください。
66000006	The configuration data after the execution cannot be retrieved from the storage machine. Check the connection between the storage machine and Storage Navigator Modular2 and then retry.	—	ストレージマシンと Storage Navigator Modular 2 の接続を確認し、再実施してください。
66000007	The data of storage machine registered to the Storage Navigator failed to be gotten. The following error occurred on Storage Navigator. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail: {2} Check the following error code and message.	{0}: ユニット名 {1}: 応答結果 {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000008	The configuration data retrieved from the storage machine is invalid. Array Unit Name: {0} Result: {1} Check the version and the state of the Storage Navigator.	{0}: ユニット名 {1}: 応答結果	Storage Navigator Modular 2 のバージョンと状態を確認してください。
6600000A	The number of characters for the nickname is invalid. Length: {0} Please input within {0} characters.	{0}: 文字数	文字数制限に従い、ニックネームを再設定してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
6600000B	One or more unsuitable characters are used for the nickname. Invalid Character: {0}	{0}:設定値	適切な文字のみを使用してニックネームを設定してください。
6600000C	The data of all storage machines registered to the Storage Navigator failed to be gotten. Result: {0} Detail: {1} Check the following error code and message.	{0}:応答結果 {1}:詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
6600000D	The data of one or more storage machines registered to the Storage Navigator failed to be gotten. Error Count: {0} Take any of the following measures. 1. Check the connection between the storage machines which failed to be updated and then retry. 2. Uncheck the checkboxes for the storage machines not to update in Storage Selection group box and then retry.	{0}:エラー数	以下のいずれかの対処をしてください。 1. Update に失敗したストレージマシンの接続を確認し、再実施してください。 2. Storage Selection グループボックスで Update しないストレージマシンのチェックボックスからチェックを外し、再実施してください。
6600000E	The data of storage machine registered to the Storage Navigator failed to be gotten. The following error occurred. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail: {2} Check the following error code and message.	{0}:ユニット名 {1}:応答結果 {2}:詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
6600000F	The data for registering the migration WWN cannot be written on the configuration data on the storage machine. The following error occurred on Virtage Navigator. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail: {2} Check the following error code and message.	{0}:ユニット名 {1}:応答結果 {2}:詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000010	<p>The configuration of storage on the storage machine cannot be backed up.</p> <p>The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result: {1}</p> <p>Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: 応答結果</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000011	<p>The configuration of storage on the storage machine cannot be backed up.</p> <p>The following error occurred.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result: {1}</p> <p>Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: 応答結果</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000013	<p>The migration WWN with the error icon isn't registered.</p> <p>Check if the storage data is updated from another terminal or not.</p>	—	ほかの端末からストレージデータが更新されていないか確認してください。
66000014	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed.</p> <p>Check if the storage data is updated from another terminal or not.</p>	—	ほかの端末からストレージデータが更新されていないか確認してください。
66000015	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>Check if the storage data is updated from another terminal or not.</p>	—	ほかの端末からストレージデータが更新されていないか確認してください。
66000016	<p>The migration WWN with the error icon isn't registered.</p> <p>Because the configuration data cannot be retrieved from the storage machine. The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result: {1}</p> <p>Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000017	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed. Because the configuration data cannot be retrieved from the storage machine. The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000018	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed. Because the configuration data cannot be retrieved from the storage machine. The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000019	<p>The migration WWN with the error icon isn't registered. Because the configuration data retrieved from the storage machine is invalid.</p> <p>Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2}</p> <p>Check the version and the state of the Storage Navigator.</p>	<p>{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容</p>	Storage Navigator Modular2のバージョンまたは状態を確認してください。
6600001A	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed. Because the configuration data retrieved from the storage machine is invalid.</p> <p>Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2}</p> <p>Check the version and the state of the Storage Navigator.</p>	<p>{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容</p>	Storage Navigator Modular2のバージョンまたは状態を確認してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
6600001B	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>Because the configuration data retrieved from the storage machine is invalid.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>Check the version and the state of the Storage Navigator.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	Storage Navigator Modular2 のバージョンまたは状態を確認してください。
6600001C	<p>The migration WWN with the error icon isn't registered.</p> <p>Because the data for registering the migration WWN cannot be written on the configuration data on the storage machine.</p> <p>The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result: {1}</p> <p>Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
6600001D	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed.</p> <p>Because the data for unregistering the migration WWN cannot be written on the configuration data on the storage machine.</p> <p>The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result: {1}</p> <p>Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
6600001E	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>Because the data for changing the migration WWN nickname cannot be written on the configuration data on the storage machine.</p> <p>The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result: {1}</p> <p>Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
6600001F	File output process has normally ended.	—	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000020	Failed to execute file output process. Detail : {0} Check output destination folder and status of computer running Virtage Navigator, and then retry the failed operation.	{0}: 詳細内容	出力先フォルダと Virtage Navigator が動作しているマシンの状態を確認し、失敗した操作を再度実施してください。
66000021	Failed to log in to the Storage Navigator. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail : {2} Check the following error code and message.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000022	Failed to log out of the Storage Navigator. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail : {2} Check the following error code and message.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000023	Failed to log in to the Storage Navigator. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail : {2} Check the following error code and message.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000024	Failed to log out of the Storage Navigator. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail : {2} Check the following error code and message.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000025	Failed to import the file. Detail : {0}	{0}: 詳細内容	ファイルの状態を確認し、再度実施してください。
66000026	The migration WWN with the error icon isn't registered. 1. It's possible that the password set for the Administration Mode is wrong. Check if you have set the correct password (for the Administration Mode) or not. 2. It's possible that an error occurred while registering the migration WWN/removing the migration WWN/changing the nickname. Check the state of the Storage Navigator or the storage machine and then retry.	—	1. 設定した Administration Mode 用のパスワードを確認してください。 2. Storage Navigator Modular 2 とストレージマシンの状態を確認し、再度実施してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000027	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed.</p> <p>1.It's possible that the password set for the Administration Mode is wrong.</p> <p>Check if you have set the correct password (for the Administration Mode) or not.</p> <p>2.It's possible that an error occurred while registering the migration WWN/removing the migration WWN/changing the nickname.</p> <p>Check the state of the Storage Navigator or the storage machine and then retry.</p>	—	<p>1. 設定した Administration Mode 用のパスワードを確認してください。</p> <p>2. Storage Navigator Modular 2 とストレージマシンの状態を確認し、再度実施してください。</p>
66000028	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>1.It's possible that the password set for the Administration Mode is wrong.</p> <p>Check if you have set the correct password (for the Administration Mode) or not.</p> <p>2.It's possible that an error occurred while registering the migration WWN/removing the migration WWN/changing the nickname.</p> <p>Check the state of the Storage Navigator or the storage machine and then retry.</p>	—	<p>1. 設定した Administration Mode 用のパスワードを確認してください。</p> <p>2. Storage Navigator Modular 2 とストレージマシンの状態を確認し、再度実施してください。</p>
66000029	<p>The Password Protection is disabled in the storage machine.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p>	<p>{0}:ユニット名</p> <p>{1}:ステータス</p> <p>{2}:詳細内容</p>	—
6600002A	<p>Failed to load the password data for the storage machines.</p> <p>The file might be broken.</p> <p>Input the password data in {0} window.</p>	—	<p>ストレージマシンのパスワードを直接入力してください。</p>
6600002B	<p>Failed to save the password data for the storage machines.</p> <p>Return : {0}</p> <p>Retry the failed operation.</p>	{0}: 応答結果	<p>失敗した操作を再度実施してください。</p>

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
6600002C	Failed to input a password for the Administration Mode. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2} Check if you have set the password for the Administration Mode or not.	{0}:ユニット名 {1}:ステータス {2}:詳細内容	Administration Mode 用のパスワードを設定したか確認してください。
6600002D	The Account Authentication is disabled in the storage machine. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2}	{0}:ユニット名 {1}:ステータス {2}:詳細内容	—
6600002E	The configuration data after the execution cannot be retrieved from the storage machine. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2} Check the connection between the storage machine and Storage Navigator Modular2 and then retry.	{0}:ユニット名 {1}:ステータス {2}:詳細内容	ストレージマシンと Storage Navigator Modular 2 の接続を確認し、再実施してください。
6600002F	The process has been cancelled by your operation.	—	—
66000030	Are you sure you proceed with this cancellation?	—	—
66000031	The data of storage machine registered to the Storage Navigator failed to be gotten. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2} Check if the storage machine is being logged into with another application tool, and then retry.	{0}:ユニット名 {1}:ステータス {2}:詳細内容	ほかのアプリケーションツールでストレージマシンにログインしていないか確認し、再度実施してください。
66000032	The migration WWN with the error icon isn't registered. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2} Check if the storage machine is being logged into with another application tool, and then retry.	{0}:ユニット名 {1}:ステータス {2}:詳細内容	ほかのアプリケーションツールでストレージマシンにログインしていないか確認し、再度実施してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000033	The migration WWN with the error icon isn't removed. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2} Check if the storage machine is being logged into with another application tool, and then retry.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	ほかのアプリケーションツールでストレージマシンにログインしていないか確認し、再度実施してください。
66000034	The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2} Check if the storage machine is being logged into with another application tool, and then retry.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	ほかのアプリケーションツールでストレージマシンにログインしていないか確認し、再度実施してください。
66000035	The migration WWN with the error icon isn't registered. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2} It's possible that any/both of the following items are fulfilled. 1. Input an incorrect user ID and password. 2. Type any keys or click in the window to register/change/remove a user ID and a password for Password Protection or Account Authentication. Retry without taking the above actions.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	メッセージに従い、対処してください。
66000036	The migration WWN with the error icon isn't removed. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2} It's possible that any/both of the following items are fulfilled. 1. Input an incorrect user ID and password. 2. Type any keys or click in the window to register/change/remove a user ID and a password for Password Protection or Account Authentication. Retry without taking the above actions.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000037	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>It's possible that any/both of the following items are fulfilled.</p> <p>1. Input an incorrect user ID and password.</p> <p>2. Type any keys or click in the window to register/change/remove a user ID and a password for Password Protection or Account Authentication.</p> <p>Retry without taking the above actions.</p>	<p>{0}:ユニット名</p> <p>{1}:ステータス</p> <p>{2}:詳細内容</p>	<p>メッセージに従い、対処してください。</p>
66000038	<p>The data of storage machine registered to the Storage Navigator failed to be gotten.</p> <p>Array Unit Name : {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>Check the setting for Account Authentication / Password Protection</p>	<p>{0}:ユニット名</p> <p>{1}:ステータス</p> <p>{2}:詳細内容</p>	<p>Account Authentication、または Password protection の設定を確認してください。</p>
66000039	<p>The migration WWN with the error icon isn't registered.</p> <p>Array Unit Name : {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>Check the setting for Account Authentication / Password Protection</p>	<p>{0}:ユニット名</p> <p>{1}:ステータス</p> <p>{2}:詳細内容</p>	<p>Account Authentication、または Password protection の設定を確認してください。</p>
66000040	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed.</p> <p>Array Unit Name : {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>Check the setting for Account Authentication / Password Protection</p>	<p>{0}:ユニット名</p> <p>{1}:ステータス</p> <p>{2}:詳細内容</p>	<p>Account Authentication、または Password protection の設定を確認してください。</p>
66000041	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>Array Unit Name : {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>Check the setting for Account Authentication / Password Protection</p>	<p>{0}:ユニット名</p> <p>{1}:ステータス</p> <p>{2}:詳細内容</p>	<p>Account Authentication、または Password protection の設定を確認してください。</p>

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000042	All processes have completed. The number of WWNs: {0}	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	—
66000043	Failed to input a password for the Administration Mode. Array Unit Name : {0} Result : {1} Detail : {2} Check if you have set the password for the Administration Mode or not. Also, check if the maximum registerable number of WWPNS and migration WWPNS are already registered or not.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	Administration Mode のパスワードを設定しているか確認してください。 また、最大登録可能数分の WWPNS とマイグレーション WWPNS が既に登録されていないか確認してください。
66000046	Processing timed out because multiple processes were running. Retry the failed operation after a while.	—	しばらくしてから失敗した操作を再度実施してください。
66000047	Failed to retrieve the data for WWNs. Result : {0} Click Update button and then retry:	{0}: 結果	Update ボタンをクリックし、再度実施してください。
66000048	The data of storage machine registered to the Storage Navigator failed to be gotten. Array Unit Name : {0} Result : {1} Detail : {2} It's possible that any/both of the following items are fulfilled. 1. Input an incorrect user ID and password. 2. Type any keys or click in the window to register/change/remove a user ID and a password for Password Protection or Account Authentication. Retry without taking the above actions.	{0}: ユニット名 {1}: 結果 {2}: 詳細内容	メッセージに従い、対処してください。
66000049	The data of storage machine registered to the Storage Navigator failed to be gotten. Array Unit Name : {0} Result : {1} Detail : {2} Set the parameters for Account Authentication for the storage machine in the Password Setting window.	{0}: ユニット名 {1}: 結果 {2}: 詳細内容	Password Setting ウィンドウで、ストレージマシンに対し、Account Authentication 用のパラメータを設定してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
6600004A	The migration WWN with the error icon isn't registered, because Password Protection for the storage machine is enabled. Set the parameters for Password Protection for the storage machine in the Password Setting window.	{0}: ユニット名 {1}: 結果 {2}: 詳細内容	Password Setting ウィンドウで、ストレージマシンに対し、Password Protection 用のパラメータを設定してください。
6600004B	The migration WWN with the error icon isn't removed, because Password Protection for the storage machine is enabled. Array Unit Name : {0} Result : {1} Detail : {2} Set the parameters for Password Protection for the storage machine in the Password Setting window.	{0}: ユニット名 {1}: 結果 {2}: 詳細内容	Password Setting ウィンドウで、ストレージマシンに対し、Password Protection 用のパラメータを設定してください。
6600004C	The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed, because Password Protection for the storage machine is enabled. Array Unit Name : {0} Result : {1} Detail : {2} Set the parameters for Password Protection for the storage machine in the Password Setting window.	{0}: ユニット名 {1}: 結果 {2}: 詳細内容	Password Setting ウィンドウで、ストレージマシンに対し、Password Protection 用のパラメータを設定してください。
66000551	An error occurred while renewing the data for the registered storage machines in the Storage Navigator. Result Code: {0} Detail: {1} Check the following error code and message.	{0}: 応答結果 {1}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000552	An error occurred while renewing the data for the registered storage machines in the Storage Navigator. Result Code: {0} Detail: {1} Check the following error code and message.	{0}: 応答結果 {1}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000553	No storage machines will be registered and this procedure to register WWNs will be also quit.	—	—
66000554	Could not add Storage. ({0}) The following error occurred on Storage Navigator. Result : {1} Detail : {2} Check the following error code and message.	{0}: 設定値 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66001000	Are you sure?	—	—
66001001	Unsuitable values are set. Check the input characters.	—	入力値を確認してください。
66001002	{0} isn't set.	{0}:Administration Mode/Security Type	—
66001003	Invalid {0}. reason : {1} Input valid {0}	{0}:パスワード {1}:詳細内容	有効なパスワードを入力してください。
66001004	Invalid {0}. reason : {1} Input valid {0}	{0}:ユーザ ID {1}:詳細内容	有効なユーザ ID を入力してください。
66001005	Invalid {0}. reason : {1} Input valid {0}	{0}:パスワード {1}:詳細内容	有効なパスワードを入力してください。
66001006	There are some storage machines for which {0} isn't set. You cannot operate storage machines for which {0} isn't set. If there are no problems, click OK button.	{0}:設定値	OK ボタンをクリックしてください。
66001007	Invalid file. Filename : {0} Select a valid file.	{0}:ファイル名称	有効なファイルを選択してください。
66001008	Export Success. Filename : {0}	{0}:ファイル名称	—
66001009	Import Success. Filename : {0}	{0}:ファイル名称	—
6600100A	No values will be set. You cannot register Migration WWNs without the settings for Administration Mode, Password Protection, and Account Authentication. Are you sure?	—	—

11.7 Remote LPAR Control 用メッセージ

Remote LPAR Control で使用されるメッセージは表 11-9 のとおりです。

表 11-9 Remote LPAR Control で使用されるメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
71000000	サービスを起動しました。	—	—
71000001	サービスを停止しました。	—	—
71000002	サービスの起動で内部障害が発生しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000003	サービスの停止で内部障害が発生しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000004	サービス処理で内部障害が発生しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000005	ユーザ処理の停止で内部障害が発生しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000006	許可しない Web サーバからの接続がありました。 IP address : {0} 接続可能 IP アドレスの設定を確認してください。	{0} : IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
71000007	不正なデータを受信しました。	—	—
71000008	ユーザの要求処理で内部障害が発生しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000009	ユーザの取得に失敗しました。 ユーザ情報を確認して下さい。	—	メッセージに従い、対処してください。
7100000A	許可しない LPAR の操作要求がありました。 LparName : {0} Operation : {1} ユーザ情報を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称 {1} : 操作内容	メッセージに従い、対処してください。
7100000B	操作要求の LPAR が登録されていません。 LparName : {0} Operation : {1} HVM 情報の Update を実施してから、 ユーザの LPAR 情報を確認してください。	{0} : LPAR 名称 {1} : 操作内容	メッセージに従い、対処してください。
7100000C	Login が完了しました。	—	—
7100000D	Login が失敗しました。 {0}	{0} : エラー内容	問い合わせがあった場合は、ユーザ ID とパスワードを確認してください。
7100000E	Logout が完了しました。	—	—
7100000F	Logout が失敗しました。 {0}	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000011	Update が完了しました。	—	—
71000012	Update が失敗しました。 {0}	{0} : エラー内容	問い合わせがあった場合は、管理サーバと Web サーバ間のネットワーク状況を確認してください。
71000013	{0} の Act が完了しました。	{0} : LPAR 名称	—
71000014	{0} の Act が失敗しました。 {1} LPAR の状態を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称 {1} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
71000015	{0} の Deact が完了しました。	{0} : LPAR 名称	—
71000016	{0} の Deact が失敗しました。 {1} LPAR の状態を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称 {1} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000017	{0} の Dump が完了しました。	{0} : LPAR 名称	—
71000018	{0} の Dump が失敗しました。 {1} LPAR の状態を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称 {1} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
7100001B	{0} の Snapshot が完了しました。	{0} : LPAR 名称	—
7100001C	{0} の Snapshot が失敗しました。 {1} HVM の状態を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称 {1} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
7100001D	不正な要求を受信しました。 Command ID : {0} Web サーバーからの受信データを確認して下さい。	{0} : コマンド ID	メッセージに従い、対処してください。
7100001E	ユーザの要求処理で内部障害が発生しました。 LparName : {0} Operation : {1} {2} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称 {1} : コマンド ID {2} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
7100001F	サービス処理で内部障害が発生しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000020	接続タイムアウトにより、切断しました。	—	—
71000021	接続タイムアウトによる切断に失敗しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000022	ユーザ認証により、Login が失敗しました。 ユーザ情報を確認して下さい。	—	メッセージに従い、対処してください。
71000023	接続最大ユーザ数を超えたため、Login が失敗しました。	—	問い合わせがあった場合は、接続最大ユーザ数を大きくしてください。
71000024	{0} の Snapshot が失敗しました。 HVM Web システムの User ID, Password を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
71000025	Act 状態のため、{0} の Act に失敗しました。	{0} : LPAR 名称	—
71000026	Deact 状態のため、{0} の Deact に失敗しました。	{0} : LPAR 名称	—
71000027	Disconnect が完了しました。	—	—
71000028	Disconnect が失敗しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000029	{0} の Snapshot が失敗しました。 しばらく経ってから、再度実行してください。	{0} : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
7100002B	同一ユーザがログイン中のため、Login が失敗しました。	—	—
75000000	選択した User ID を削除します。 よろしいですか？	—	—
75000001	ユーザ情報を登録します。 よろしいですか？	—	—
75000002	ユーザ情報を変更します。 よろしいですか？	—	—
75000003	この User ID はすでに登録されています。 User ID を変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
75000004	ユーザ情報の登録に失敗しました。 設定値を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
75000005	サービスの起動に失敗しました。 Option ウィンドウで設定したポート番号を確認後、 再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
75000006	サービスの停止に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
75000007	接続しているユーザが選択されていません。 接続しているユーザを選択し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
75000008	Disconnect に失敗しました。 再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
75000009	選択したユーザのアクセスを停止します。 よろしいですか？	—	—
7500000A	HVM Web システムの User ID と Password を変更します。 よろしいですか？	—	—
7500000B	HVM Web システムの User ID と Password を変更せずに 終了します。 よろしいですか？	—	—
7500000C	接続中のユーザが存在します。 サービスを停止しますがよろしいですか？	—	—
7500000D	{0} の削除に失敗しました。 ユーザの接続状態などを確認してから 再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
7500000E	ファイル出力が正常終了しました。	—	—
7500000F	ファイル出力に失敗しました。 詳細： {0} 出力先フォルダの状態を確認後、再度実行してください。	{0} : エラー詳細	メッセージに従い、対処してください。
75000010	重複している Host Name があります。 重複しないように Host Name を変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
75000011	{0} の登録に失敗しました。 ユーザの接続状態などを確認してから 再度実行してください。	{0} : ユーザ名	メッセージに従い、対処してください。
75000012	登録可能な LPAR 数を超えたため、登録に失敗しました。 登録 LPAR 数を {0} 以下にしてください。	{0} : LPAR 数	メッセージに従い、対処してください。
75000013	{0} に不正な文字が登録されています。 {1} に使用できる文字は、'0' ~ '9', 'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z', '-', '_' です。 {2} の先頭に使える文字は、'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z' となります。	{0} : ユーザ名/ホスト名 {1} : ユーザ名/ホスト名 {2} : ユーザ名/ホスト名	メッセージに従い、対処してください。
75000014	サービスを停止します。 よろしいですか？	—	—

12 変更来歴

Virtage Navigator ユーザーズガイド 操作リファレンス編の変更来歴を以下に示します。

表 12-1 Virtage Navigator ユーザーズガイド 操作リファレンス編 変更来歴

Version	Revision	章	変更内容
V01-00	1.01	—	初版
V01-01	1.10	全 般	新規ウインドウ・表示項目・操作などの項目に、“導入/変更 Ver.” 欄を追加し、導入バージョンまたは更新バージョンを記載しました。
		5	Virtage Navigator V01-01 機能追加に合わせ、内容の変更を行いました。
		6	
		7	
		5	【名称変更】 (1)No. 7 RT View 列 View ボタン→Realtime View 列 View ボタン (2)No. 8 Hist View 列 View ボタン→History View 列 View ボタン (3)No. 11 Setting 列 Setting ボタン→Threshold 列 Threshold ボタン (4)No. 15 Setting ボタン→Threshold ボタン (5)No. 28 RealTime ボタン→Realtime ボタン (6)No. 44 HVM Monitor RT Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ →HVM Monitor Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ (7)No. 45 メニューリスト(Line Mode)→メニューリスト(Graph Style) (8)No. 53 メニューリスト(Graph Mode)→メニューリスト(Usage Rate) (9)No. 54 Service Rate→Service Rate Base (10)No. 55 System→System Base (11)No. 59 メニューリスト(Graph Change) →メニューリスト(Data Change) (12)No. 73 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (13)No. 105 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (14)No. 112 メニューリスト(Graph Mode) →メニューリスト(Usage Rate) (15)No. 113 Service Rate→Service Rate Base (16)No. 114 System→System Base (17)No. 129 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (18)No. 136 メニューリスト(Graph Mode) →メニューリスト(Usage Rate) (19)No. 137 Service Rate→Service Rate Base (20)No. 138 System→System Base (21)No. 165 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (22)No. 183 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (23)No. 190 メニューリスト(Graph Mode) →メニューリスト(Usage Rate) (24)No. 191 Service Rate→Service Rate Base (25)No. 192 System→System Base (26)No. 263 Monitor Setting Management ウインドウ

		<p>→Monitor Threshold Management ウィンドウ</p> <p>(27)No. 273 Threshold Check Count テキストボックス</p> <p>→Threshold Count(1-100)テキストボックス</p> <p>(28)No. 277 Caution テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>→Caution(1-100)テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>(29)No. 278 Error テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>→Error(1-100)テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>(30)No. 280 Caution テキストボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>→Caution(1-999)テキストボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>(31)No. 281 Error テキストボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>→Error(1-999)テキストボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>(32)No. 288 LPAR チェックボックス nn(nn=01~16)</p> <p>→LPAR チェックボックス nn(nn=01~60)</p> <p>(33)No. 289 Service Rate ON チェックボックス</p> <p>→Service Rate Base ON チェックボックス</p> <p>(34)No. 290 System ON チェックボックス</p> <p>→System Base ON チェックボックス</p> <p>(35)No. 295 Service Caution テキストボックス</p> <p>→Service Caution(1-999)列テキストボックス</p> <p>(36)No. 296 Service Error テキストボックス</p> <p>→Service Error(1-999)列テキストボックス</p> <p>(37)No. 297 System Caution テキストボックス</p> <p>→System Caution(1-100)列テキストボックス</p> <p>(38)No. 298 System Error テキストボックス</p> <p>→System Error(1-100)列テキストボックス</p> <p>(39)No. 299 Insuff Caution テキストボックス</p> <p>→Insuff Caution(1-100)列テキストボックス</p> <p>(40)No. 300 Insuff Error テキストボックス</p> <p>→Insuff Error(1-100)列テキストボックス</p> <p>(41)No. 321 Threshold Monitoring Mail Report フレーム</p> <p>→Mail Report フレーム</p> <p>(42)No. 338 Operation フレーム (Mode Setting タブ)</p> <p>→Operation フレーム (Monitoring Mode タブ)</p> <p>(43)No. 344 HVM Monitor RT Viewer[Multi]ウィンドウ</p> <p>→HVM Monitor Realtime Viewer[Multi]ウィンドウ</p> <p>(44)No. 346 メニューリスト (Line Mode)</p> <p>→メニューリスト (Graph Style)</p> <p>【位置変更】</p> <p>(2) No. 62 メニューリスト (Data Change) の Insuff</p> <p>→メニューリスト (Insuff)</p> <p>(2) No. 118 メニューリスト (Data Change) の Insuff</p> <p>→メニューリスト (Insuff)</p> <p>(3) No. 145 メニューリスト (Data Change) の Insuff</p> <p>→メニューリスト (Insuff)</p> <p>(4) No. 171 メニューリスト (Data Change) の Insuff</p> <p>→メニューリスト (Insuff)</p> <p>(5) No. 196 メニューリスト (Data Change) の Insuff</p> <p>→メニューリスト (Insuff)</p> <p>(6) No. 234 Enable Auto Average History Log チェックボックス</p>
--	--	---

		<p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Auto Average History Log フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Log Setting タブ)</p> <p>(7) No. 235 Setting Time For Average コンボボックス</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Auto Average History Log フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Log Setting タブ)</p> <p>(8) No. 236 Save ボタン</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Auto Average History Log フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Log Setting タブ)</p> <p>(9) No. 271 One Threshold Mode ラジオボタン</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(10) No. 272 Two Threshold Mode ラジオボタン</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(11) No. 273 Threshold Count (1-100) テキストボックス</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(12) No. 274 Save ボタン</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(13) No. 277 Caution (1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(14) No. 278 Error (1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(15) No. 279 ON チェックボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(16) No. 280 Caution (1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(17) No. 281 Error (1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(18) No. 282 ON チェックボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(19) No. 283 Save ボタン</p>
--	--	---

		<p>Monitor Setting Management ウインドウ</p> <p>→Operation フレーム(Physical CPU Threshold タブ)の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(20)No. 287 ALL チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(21)No. 288 LPAR チェックボックス nn(nn=01~60)</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(22)No. 289 Service Rate Base ON チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ)の LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(23)No. 290 System Rate Base ON チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(24)No. 291 Insuff ON チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(25)No. 292 All Setting Mode チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(26)No. 293 リスト</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(27)No. 294 ON 列チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(28)No. 295 Service Caution(1-999)列テキストボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(29)No. 296 Service Error(1-999)列テキストボックス</p>
--	--	---

		<p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(30)No. 297 System Caution(1-999)列テキストボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(31)No. 298 System Error(1-999)列テキストボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(32)No. 299 Insuff Caution(1-999)列テキストボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(33)No. 300 Insuff Caution(1-999)列テキストボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(34)No. 301 Save ボタン</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(35)No. 321 Mail Report フレーム</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ)</p> <p>→Operation フレーム(Mail タブ)</p> <p>(36)No. 322 Enable Mail Report チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ)</p> <p>→Operation フレーム(Mail タブ)</p> <p>(37)No. 322 Save ボタン</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ)</p> <p>→Operation フレーム(Mail タブ)</p>
	7	<p>【名称変更】</p> <p>(1)No. 51 Migration ボタン→Migration Execute ボタン</p> <p>(2)No. 51 Recovery ボタン→Recovery Execute ボタン</p> <p>【位置移動】</p> <p>(2) No. 50 Show Config ボタン</p> <p>Target Selection フレーム→Migration ウィンドウ右下</p> <p>(2)No. 148 Show Config ボタン</p> <p>Target Selection フレーム→Add Migration ウィンドウ右下</p>

Version	Revision	章	変更内容
V02-00	2.00	5	【名称変更】 (1)No. 7 HVM Monitor Realtime Viewer ウィンドウ→CPU Realtime Viewer ウィンドウ (2)No. 8 HVM Monitor History Viewer ウィンドウ→CPU History Viewer ウィンドウ (3)No. 28 HVM Monitor Realtime Viewer ウィンドウ→CPU Realtime Viewer ウィンドウ (4)No. 29 HVM Monitor History Viewer ウィンドウ→CPU History Viewer ウィンドウ (5)No. 44 HVM Monitor Realtime Viewer ウィンドウ→CPU Realtime Viewer ウィンドウ 【機能追加】 (1)No. 72 NIC View フレーム (2)No. 73 View ボタン (3)No. 128～No. 193 NIC Realtime Viewer ウィンドウ (4)No. 272～No. 335 NIC History Viewer ウィンドウ 【位置移動】 (1)No. 365 Save ボタン
		4	LPAR 設定機能を追加しました。
V02-01	2.10	4	【名称変更】 (1)No. 220 「HBA card count」 → 「HBA count」 (2)No. 512 「Shared Virtual FC Port WWN Information メニュー」 → 「Shared Virtual FC Port WWN Information / Boot Function Setting メニュー」 【機能追加】 (1)No. 79～No. 80 「CLI IP アドレスメニュー」 (2)No. 221～No. 222 「Port ラジオボタン」、「card ラジオボタン」 (2)No. 519 「Boot Function」 (3)No. 548～No. 549 「HVM CLI メニュー」 (4)No. 606～No. 607 「MultiSort チェックボックス」 (5)No. 633～No. 645 「Boot Setting スクリーン」 (6)No. 259 「<< Prev. ボタン」
		8	ファームウェア更新機能を追加しました。
		11	V02-01 対応のメッセージに更新しました。

Version	Revision	章	変更内容
V02-02	2. 20	4	【機能追加】 (1) No. 399 「View Data メニュー」 (2) No. 458 「Mapping Info ボタン」 (3) No. 459～No. 472 「PCI Device Mapping Information ウィンドウ」 (4) No. 500 「Assign Mode メニュー」 (5) No. 563 「HVM Operating Mode」 (6) No. 578 「NTP」 (7) No. 584 「Split Style メニュー」 (8) No. 585 「View Style メニュー」 (9) No. 604 「HVM Reboot ボタン」 (10) No. 605～607 「HVM Reboot ウィンドウ」
		5	【機能追加・機能変更】 (1) No. 2 「HVM List フレーム」 (2) No. 78 「System Base」 (3) No. 79 「Resource Base」 (4) No. 94 「All」 (5) No. 95 「50」 (6) No. 96 「20」 (7) No. 97 「10」 (8) No. 99 「All」 (9) No. 100 「50」 (10) No. 101 「20」 (11) No. 102 「10」 (12) No. 103～106 「Top」 (13) No. 115 「Each CPU」 (14) No. 116～152 「Each CPU Realtime Viewer ウィンドウ」 (15) No. 153 「Reset Color」 (16) No. 154～No. 156 「レジェンド」 (17) No. 164 「Bar」 (18) No. 170 「Resource Base」 (19) No. 179～No. 183 「Scale」 (20) No. 184～No. 186 「Value」 (21) No. 192 「Reset Color」 (22) No. 193～No. 195 「レジェンド」 (23) No. 328～No. 329 「Usage Rate」 (24) No. 341 「Reset Color」 (25) No. 342～No. 344 「レジェンド」 (26) No. 357 「Resource Base」 (27) No. 371 「Reset Color」 (28) No. 372～No. 374 「レジェンド」 (29) No. 487 「コンボボックス」 (30) No. 529 「Resource Base ON チェックボックス」 (31) No. 535 「Resource Caution(1-100) 列テキストボックス」 (32) No. 536 「Resource Error(1-100) 列テキストボックス」
		11	V02-02 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 20000824, 20000825, 20000826, 20000827, 20001101, 20001102, 20001103, 30020111,

		30020305, 300206F1, 30020908, 30020909, 3002090A, 3002090B, 3002090C, 3002090D, 30021208, 30021222, 30021223, 30021224, 30021225, 3002133A, 3002133B, 3002133C, 3002133D
--	--	--

Version	Revision	章	変更内容
V02-02	2. 21	5	Each CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウの表示条件を追加しました。
		11	20000827 のメッセージを修正しました。
V02-03	2. 30	5	【機能追加・機能変更】 (1)No. 60 「CPU」 (2)No. 87 「メニューリスト (Scale)」 (3)No. 92～99 「メニューリスト (Scale)」 (4)No. 124 「View Snap Graph」 (5)No. 188 「メニューリスト (Scale)」 (6)No. 193～198 「メニューリスト (Scale)」 (7)No. 208 「View Snap Graph」 (8)No. 211～310 「CPU Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ」 (9)No. 344～357 「メニューリスト (Scale)」 (10)No. 358 「メニューリスト (Scale)」 (11)No. 395～408 「メニューリスト (Scale)」 (12)No. 409 「メニューリスト (Scale)」 (13)No. 421～512 「NIC Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ」 (14)No. 526 「CPU」 (15)No. 563～567 「メニューリスト (Scale)」 (16)No. 568～575 「メニューリスト (Scale)」 (17)No. 582 「View Bar Graph」 (18)No. 607～611 「メニューリスト (Scale)」 (19)No. 612～617 「メニューリスト (Scale)」 (20)No. 623 「View Bar Graph」 (21)No. 628～750 「CPU History Bar Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ」 (22)No. 796～809 「メニューリスト (Scale)」 (23)No. 810～815 「メニューリスト (Scale)」 (24)No. 822 「View Bar Graph」 (25)No. 840～853 「メニューリスト (Scale)」 (26)No. 854～859 「メニューリスト (Scale)」 (27)No. 866 「View Bar Graph」 (28)No. 867～983 「NIC History Bar Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ」
		10	ソリューションタブの説明を追加しました。
		11	V02-03 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 10000002, 10000300, 20001201, 200012FF, 20030507, 30060000, 30060001, 30060002, 30060003, 30060004, 30060200, 30060201, 30060202, 30060203, 30060204, 30060205, 30060206, 30060207, 30060208, 30060209, 30060300, 30060301, 30060302, 30060399, 30060400, 30060401, 30060499, 30060500, 30060599, 30060600, 30060601, 30060602, 30060603, 30068001, 30068002, 30068003, 30068004, 30068005, 30068006, 30068007, 30068008, 30068009, 30068101, 30068102, 30068103, 30068104, 30068105, 30068106, 30068107, 30068108, 30068109, 30068201, 30068202, 30068203, 30068204, 30068205, 30068206, 30068207, 30068208, 30068209, 3006820B, 3006820C, 3006820D, 3006820E, 30068210, 30068301, 30068302

Version	Revision	章	変更内容
V02-04/A	2.40	2	【機能追加】 (1) No. 8 「Trouble(D)Alt+D メニュー」 (2) No. 55～74 「Trouble ウィンドウ」
		4	【機能追加】 (1) No. 274 「Date And Time」 (2) No. 496～499 「Set/Reset ボタン」 (3) No. 509 「Device Type」 (4) No. 565 「SVP IP Address」 (5) No. 616～639 「Date And Time スクリーン」 (6) No. 646 「PhyCPU C-State (>=C3)」 (7) No. 647 「USB Auto Allocation to USB」 (8) No. 648 「Save Changed Config Format」
		6	【機能追加】 (1) No. 144 「Show Deactivated チェックボックス」
		7	【機能変更】 (1) No. 7 「Show LPAR History ボタン」
		11	メッセージ一覧の表を機能ごとに分割しました。 V02-04/A 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 10002001, 10002002, 10002003, 10002004, 10002005, 30020505, 30020B00, 30020B01, 30020B02, 30020B03, 3002133E, 3002133F, 30021340, 30021341, 3006820F

Version	Revision	章	変更内容
V03-00/A	3.01	4	【機能追加】 (1) No. 726 「R-KVM Application コンボボックス」 (2) No. 742 「R-KVM Application」
		5	【機能追加】 (1) No. 73、235、742 「HBA ボタン」 (2) No. 515～716、1186～1415 「HBA モニタリング」 (3) No. 1432 「ALL」 (4) No. 1433 「Interval」 (5) No. 1441～1471 「Auto Backup」 (6) No. 1477～1495 「Manual Backup」 【機能変更】 (1) No. 58～60、No. 224～226、No. 728～730、No. 841～843 「Data Change」 (2) No. 1437～1439 「Monitoring Mode」 (3) No. 1472 「Manual Backup」 (4) No. 1497 「Export CSV」 (5) No. 1513 「History Clear」
V03-00/B	3.02	–	Revision を 3.02 にしました。
V03-00/D	3.04	4	【機能追加】 (1) No. 363 「Processor Node」 (2) No. 364 「Memory Node」
V03-00/E	3.05	7	【機能追加】 (1) No. 3～5 「Mode Selection フレーム」 (2) No. 6 「Migration Menu フレーム」 (3) No. 9 「Path Setting ボタン」 (4) No. 15 「Change Mode ボタン」 (5) No. 79～167 「Migration[Concurrent Maintenance] ウィンドウ」 (6) No. 262～274 「Migration Path Setting ウィンドウ」 【機能変更】 (1) No. 7 「Migration ボタン」 (2) No. 14 「Migration[Shutdown] ウィンドウ」
		11	表 10-1 を修正しました。
	3.05/A	–	Revision を 3.05/A にしました。
V03-01	3.10	2	【機能追加】 (1) No. 29～30 「Storage Login Setting」
		7	【機能追加】 (1) No. 10 「WWN Setting ボタン」 (2) No. 276～359 「WWN Setting」
		11	マイグレーション用メッセージを追加しました。

Version	Revision	章	変更内容
V03-02	3. 20	-	「重要なお知らせ」に他社ソフトウェアのインストールについての記載を追加しました。
		2	【機能追加】 (1) No. 6-8 「Operation Mode」 (2) No. 34-37 「Storage Login Setting メニュー」 (3) No. 38-40 「Memory Transfer メニュー」
		4	【機能追加】 (1) No. 724-727 「Attach/Detach ボタン」 (2) No. 728-731 「Set/Reset ボタン」
		5	【機能追加】 (1) No. 61 「Group (Core/Thread)」 (2) No. 228 「Group (Core/Thread)」 (3) No. 733 「Group (Core/Thread)」 (4) No. 847 「Group (Core/Thread)」
		9	Remote LPAR Control タブの説明を追加しました。
		11	メッセージ一覧の表を機能ごとに分割しました。 V03-02 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 10000034, 10000035, 10000036, 10002006, 10002007, 30021343, 30021344, 30021345, 30021346, 30021402, 30021403, 30021404, 30021405, 30021406, 30068109, 60000201, 60000301, 60000401, 60000501, 60000601, 60000602, 60000701, 60001001, 60001101, 60001201, 60001301, 60001401, 60002001, 60002002, 60002101, 60003001, 60003002, 60003003, 60003101, 60003102, 60003201, 60003202, 60003301, 60003302, 60004101, 60004102, 60004201, 60004202, 60004203, 60004204, 60004205, 60004251, 60004252, 60004253, 60004254, 60004255, 60004256, 60004257, 60004258, 60004259, 6000425A, 6000425B, 6000425C, 6000425D, 6000425E, 60004301, 60004401, 60004501, 60004601, 60004701, 60004801, 60004802, 60005001, 60005101, 60005102, 60005201, 60005301, 60005302, 60005303, 60005304, 60005305, 60005306, 60005401, 60005501, 60005601, 60005701, 60005801, 60005901, 60006001, 60006101, 60006102, 60006103, 60006201, 60006301, 60006302, 60006303, 60006304, 60006305, 60006306, 60006401, 60006501, 60006601, 60006701, 60006801, 60006802, 6000FF01, 6000FF02, 6000FF03, 6000FF04, 6000FF05, 65000001, 65000002, 65000003, 65000004, 65000005, 65000006, 65000007, 65000008, 65000009, 6500000A, 6600000B, 6500000C, 6500000D, 6500000E, 6500000F, 65000010, 65000011, 65000012, 65000013, 65000014, 65000015, 65000016, 65000017, 66000001, 66000002, 66000003, 66000004, 66000006, 66000007, 66000008, 6600000A, 6600000C, 6600000D, 6600000E, 6600000F, 66000010, 66000011, 66000013, 66000014, 66000015, 66000016, 66000017, 66000018, 66000019, 6600001A, 6600001B, 6600001C, 6600001D, 6600001E, 66000020, 66000021, 66000022, 66000023, 66000024, 66000025, 66000026, 66000027, 66000028, 6600002A, 6600002B, 6600002C, 6600002E, 6600002F, 66000030, 66000030, 66000031, 66000032, 66000033, 66000034, 66000038, 66000039, 66000040, 66000041, 66000042, 66000043, 66000046, 66000047, 66000049, 6600004A, 6600004B, 6600004C, 66000551, 66000552, 66000554, 66001001, 66001002, 66001003, 66001004, 66001005, 66001006, 66001007, 66001008, 66001009, 71000000, 71000001, 71000002, 71000003, 71000004, 71000005, 71000006, 71000007, 71000008, 71000009, 7100000A, 7100000B, 7100000C, 7100000D, 7100000E, 7100000F, 71000011, 71000012, 71000013, 71000014, 71000015, 71000016, 71000017, 71000018, 7100001B, 7100001C, 7100001D, 7100000E, 7100001F, 71000020, 71000021, 71000022, 71000023, 71000024, 71000025, 71000026, 71000027, 71000028, 71000029, 7100002B, 75000000, 75000001,

			75000002, 75000003, 75000004, 75000005, 75000006, 75000007, 75000008, 75000009, 7500000A, 7500000B, 7500000C, 7500000D, 7500000E, 7500000F, 75000010, 75000011, 75000012, 75000013, 75000014
	3. 20/A	–	Revision を 3. 20/A にしました。

Version	Revision	章	変更内容
V03-02/A	3. 20/B	4	【誤記修正】 No. 412 「Save Config ボタン」
		5	【誤記修正】 No. 223 「View Snap Graph」 No. 313 「メニューリスト (Scale)」 No. 325 「View Snap Graph」 No. 617～619 「メニューリスト (Value)」 No. 798 「メニューリスト (Scale)」 No. 1624 「CPU Realtime Viewer [Multi] ウィンドウ」
		11	V03-02/A 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 60001301
V03-03	3. 30	4	【機能追加】 No. 531 「TXRATE」 No. 664～665 「Select Source time フレーム」 No. 666～667 「Zone フレーム」 No. 668 「Select LPAR フレーム」
		11	V03-03 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 30020B04, 60001301, 60006901
V03-04	3. 40	2	【機能追加】 No. 11～13 「Trouble メニュー」 No. 75 「Trouble ウィンドウ (単独 HVM 用)」 No. 78 「Different file each date」 No. 79 「All data to One File」 No. 98～128 「Trouble ウィンドウ (複数 HVM 用)」
		4	【機能追加】 No. 802 「HTTP/HTTPS ラジオボタン」
		5	【機能追加】 No. 282 「View Each CPU」 No. 283 「View Bar Graph」 No. 284～298 「Each CPU History Viewer ウィンドウ」 No. 341 「View Bar Graph」
		11	V03-04 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 10000037, 20000828, 20000829, 20000830, 30020112, 30020113, 30020114, 30020115, 30020116, 30020117, 30020118, 30020205, 30020504, 30020505, 30021226, 60006A01
V03-04/A	3. 41	5	【機能追加】 No. 214～228 「メニューリスト (CPU Sort)」
		11	V03-04/A 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 60006601

Version	Revision	章	変更内容
V03-05	3. 50	4	【機能追加】 No. 347～357 「NUMA Memory Allocation ウィンドウ」 No. 382 「Guest NUMA」 【機能変更】 No. 346 「Memory」 No. 619 「BSM Access/Mgmt I/F」 【説明変更】 No. 374 「Processor Node」 No. 375 「Memory Node」 No. 529 「Device Type」 No. 601 「SVP IP Address」 No. 602 「Alert Language」 No. 608 「BSMx IP Address」 No. 609 「BSMx Alert Port」
		5	「表 5-1 モニタリング条件」に示す条件を変更しました。
V03-06	3. 60	2	【機能追加】 No. 6 「Security Alt+S メニュー」 No. 15 「Packet (L) Alt+L メニュー」 No. 74～78 「Authentication Information File Setting メニュー」 No. 82～96 「Security Setting ウィンドウ」 No. 151～175 「Trouble (Packet) ウィンドウ」 【機能変更】 No. 12 「Trouble メニュー」
		3	【機能追加】 No. 18～31 「Target Information フレーム」
		11	V03-06 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 10003000, 10003001, 10003002, 10003003, 10003004, 10003005, 10003006, 10003007, 10003008, 10003009, 1000300A, 1000300B, 1000300C, 1000300D, 1000300E, 1000300F, 10003FFF, 30021226, 60006B01

Version	Revision	章	変更内容
V03-07	3.70	4	No. 760 「Detail Setting」
		5	【機能追加】 No. 379～383 「Input」 No. 390～394 「Input」 No. 450～454 「Input」 No. 460～464 「Input」 No. 514～518 「Input」 No. 525～529 「Input」 No. 574～578 「Input」 No. 584～588 「Input」 No. 629～633 「Input」 No. 640～644 「Input」 No. 695～699 「Input」 No. 705～709 「Input」 No. 762～766 「Input」 No. 773～777 「Input」 No. 822～826 「Input」 No. 832～836 「Input」 No. 875～879 「Input」 No. 886～890 「Input」 No. 953～957 「Input」 No. 966～970 「Input」 No. 1007～1011 「Input」 No. 1018～1022 「Input」 No. 1076～1080 「Input」 No. 1089～1093 「Input」 No. 1149～1153 「Input」 No. 1160～1164 「Input」 No. 1236～1240 「Input」 No. 1247～1251 「Input」 No. 1290～1294 「Input」 No. 1301～1305 「Input」 No. 1357～1361 「Input」 No. 1368～1372 「Input」 No. 1422～1426 「Input」 No. 1433～1437 「Input」 No. 1506～1510 「Input」 No. 1517～1521 「Input」 No. 1560～1564 「Input」 No. 1571～1575 「Input」 No. 1627～1631 「Input」 No. 1638～1642 「Input」 No. 1692～1696 「Input」 No. 1703～1707 「Input」 No. 1926～1930 「Input」
		7	No. 16～27 「ブランディングバー」 No. 79～90 「ブランディングバー」

			No. 98～109「ブランディングバー」 No. 116～127「ブランディングバー」 No. 178～189「ブランディングバー」 No. 214～225「ブランディングバー」 No. 275～286「ブランディングバー」 No. 328～339「ブランディングバー」
		11	V03-07 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 10000040, 10000041, 10000042, 10001005, 10004001, 10004002, 30020506, 30020B05, 30021347, 60006B01, 60006C01, 60006D01, 60006D02, 60006D03
V03-07	3. 71	全 般	BS520X サーバブレード B2 モデルの 4 ブレード SMP 構成と、BS2500 高性能サーバブレード A2/E2 モデルの 4 ブレード SMP 構成では、いずれの機能も非サポートであることを記載しました。
	3. 72	–	Revision を 3. 72 にしました。
	3. 73	–	Revision を 3. 73 にしました。
V03-07/A	3. 74	全 般	V03-07 の Virtage Navigator をご使用の場合は、BS520X サーバブレード B2 モデルの 4 ブレード SMP 構成と、BS2500 高性能サーバブレード A2/E2 モデルの 4 ブレード SMP 構成では、いずれの機能も非サポートであることを記載しました。なお、V03-07/A 以降の Virtage Navigator では、サポートしています。
		4	No. 698「HVM Timer Counter Base」の説明欄の記載を変更しました。
	3. 75	–	Revision を 3. 75 にしました。